

令和 2 年度

履修の手引

日本大学工学部

目 次

履修の手引きの見方

A 履 修 手 続	1
B 各学科共通科目	
I 1年次生（29年度カリキュラム）	
1年次生の履修上の注意	8
II 2～4年次生（29年度カリキュラム）	
A 教 養 科 目	17
B 外 国 語 科 目	17
C 体 育 科 目	18
D 自然科学科目	19
E そ の 他	20
III 5～8年次生（25年度カリキュラム）	
A 教 養 科 目	23
B 外 国 語 科 目	23
C 体 育 科 目	24
D 基 礎 科 目	24
E 自然科学科目	25
F そ の 他	26
◆ 付表 教養科目時間割（1～3年次生）	28
C 各学科専門科目	
1 土 木 工 学 科	30
2 建 築 学 科	38
3 機 械 工 学 科	44
4 電 気 電 子 工 学 科	54
5 生 命 応 用 化 学 科	60
6 情 報 工 学 科	73
【付録】学部要覧抜粋版	81
29年度カリキュラム	
25年度カリキュラム	
D 単位認定制度	
I 日本大学相互履修制度	132
II 単位互換制度	134
III 英語検定試験を利用した単位認定制度	136
IV 科目等履修生として修得した大学院工学研究科における単位の認定制度	137
◆ 令和2年度クラス担任	138
◆ 令和2年度教務日程	139

履修の手引の見方

この冊子は、全学科、全学年次生のための履修の手引です。この手引を見る際には、入学年度の学部要覧とシラバス（Web上）を併せて参照してください。

履修の手引は、次のように構成されています。

履修の手引の見方

A 履修手続

B 各学科共通科目

I 1年次生（29年度カリキュラム）

II 2～4年次生（29年度カリキュラム）

III 5～8年次生（25年度カリキュラム）

C 各学科専門科目

D 単位認定制度

以上の項目とカリキュラム変更年度の関係は下表のとおりです。

カリキュラムの変更年度	カリキュラムの呼称	対象学年	履修の手引対象項目			
平成 29 年 度	29年度カリキュラム	1年次生	A	B I	C	D
平成 29 年 度	29年度カリキュラム	2～4年次生	A	B II	C	D
平成 25 年 度	25年度カリキュラム	5～8年次生	A	B III	C	D

例えば、5～8年次生については、Aの項目、B IIIの項目、Cの所属学科項目、Dの項目を読めばよいことになります。

A 履修手続

1 履修登録・授業の出席に必要なもの

番号	書 類 等	部 数	1 年次生	2 年次生以上	備 考
1	履修の手引	1	○	○	
2	合格表（各自の成績表）	1		○	
3	授業時間割表	1	○	○	
4	I D パスワード票	1	○		
5	Web履修登録下書き用紙	1	○	○	
6	I C カード ※	1	○	○	自動出欠管理に使用します

※1～7年次生は「学生証」、8年次生は「キャンパスカード」

2 履 修 条 件

29年度カリキュラム（1～4年次生）

受講条件

- ① 1年間に、前学期及び後学期を通じ、最大48単位まで履修登録することができる。
ただし、前年度の学業成績において、年間（年度）G P Aが2.0以上の者は、本年度は48単位を越えて60単位まで履修登録することができる。
- ② 自主創造の基礎1・2、教職課程科目（専門教育科目を除く）、臨床工学技士課程科目（専門教育科目を除く）及び再履修科目は最大履修登録単位数には含まれない。

25年度カリキュラム（5～8年次生）

受講条件

- ① 1年間に、前学期及び後学期を通じ、最大49単位まで履修登録することができる。
ただし、前年度の学業成績において、年間（年度）G P Aが2.0以上の者は、次年度は49単位を越えて60単位まで履修登録することができる。
- ② 教職課程科目（専門教育科目を除く）、臨床工学技士課程科目（専門教育科目を除く）及びグローバルエンジニア関連科目は最大履修登録単位数には含まれない。

29・25年度カリキュラム共通

卒業研究履修条件

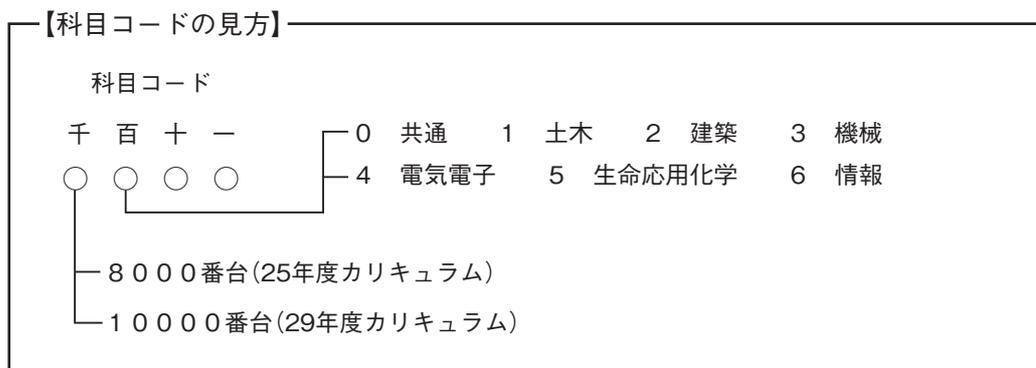
卒業研究を履修するためには、4年次生以上の学年始めに100単位以上を修得していなければならない。また、その学年で卒業に必要な授業科目をすべて履修できることが必要となる。

3 履修上の注意

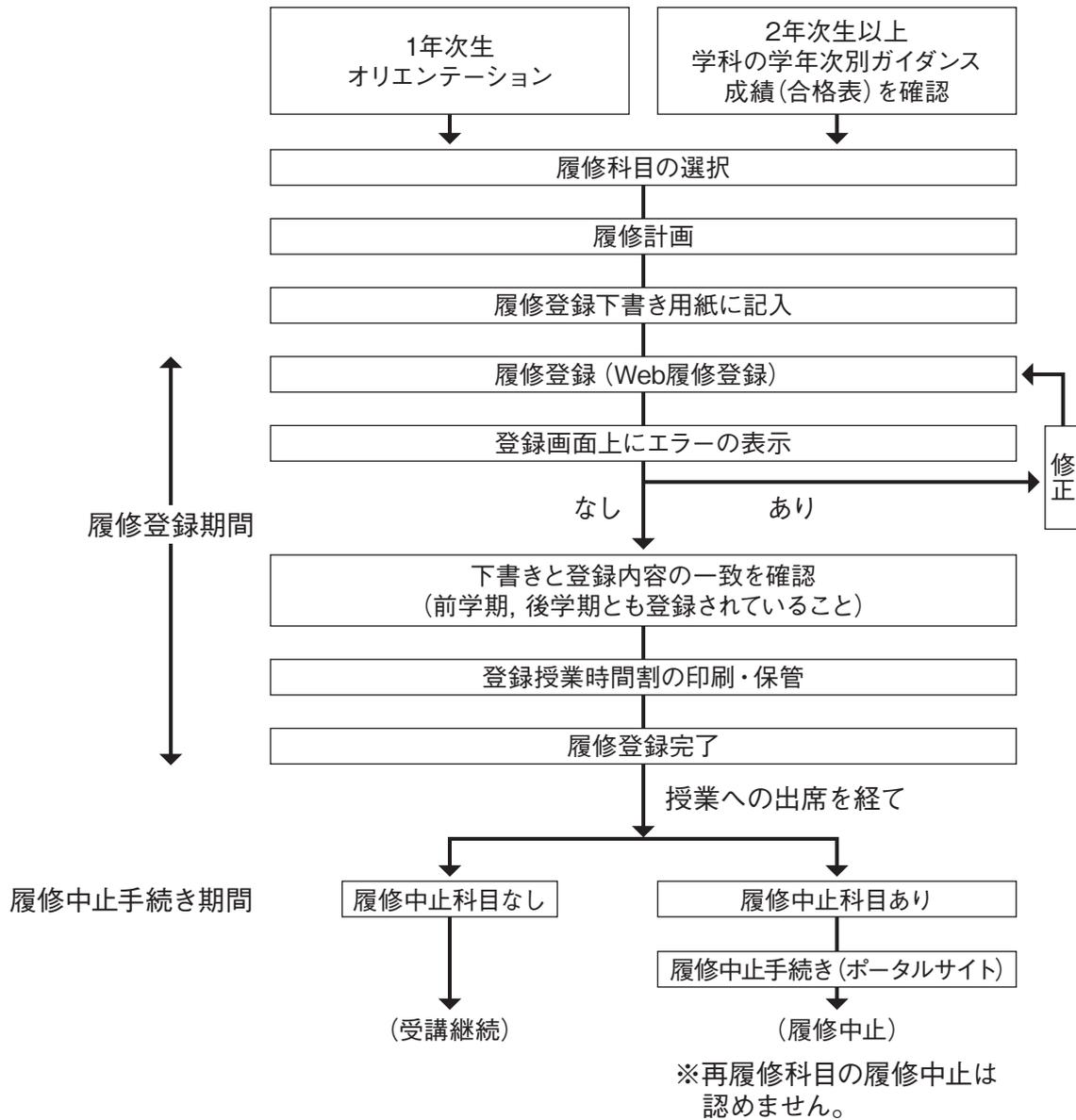
- ① 履修に当たっては、「学部要覧」、「履修の手引」、「シラバス（Web上）」等を熟読し、履修計画を立ててください。
- ② 履修登録していない授業は、原則として、授業を受けることも、定期試験を受験することもできませんので注意してください。
- ③ 学科によって履修の順序と方法が定められている授業科目がありますので、それに従って履修するようにしてください。また、必ずクラス割に従って履修してください。
- ④ 上級学年次に設置されている授業科目は履修できません。
- ⑤ 入学年度のカリキュラムによって履修できる授業科目が定められていますので、該当する年度のカリキュラムに従って履修してください。
- ⑥ 履修登録時には、「下書き」をしっかりと作成し、この「下書き」により履修登録を行ってください。必ず前学期と後学期の両学期の登録を行ってください。
- ⑦ 履修を中止又は変更する場合には、定められた期間内に行ってください。

4 履修登録（Web履修登録）までの流れ

- ① 1年次生はオリエンテーション，2年次生以上は学科の学年次別ガイダンスに必ず出席して，「学部要覧」，「履修の手引」，「授業時間割表」，「シラバス（Web上）」，学科教員の指導等により，履修計画を立ててください。
- ② 本年度履修計画した授業科目を「履修登録用下書き用紙」に記入し，これを基に履修登録期間内に履修登録（Web履修登録）を行ってください。
- ③ Web履修上で，履修申告した科目はコンピュータによりその場で処理されます。この際，登録画面上にエラーが表示されている科目がある場合は，このエラー表示がなくなるまで履修登録作業を繰り返し行ってください。
- ④ 登録画面上にエラー表示がなく，正しく登録されたら下書き内容と登録内容が正しいか確認してください。この際に，前学期と後学期に登録されていることを再度確認してください。なお，確認後は必ず各自の登録授業時間割を印刷（プリントアウト）して保管してください。
- ⑤ 履修登録が完了すると出欠管理システムにデータ連動され，各自が授業に出席する際にリーダー機（出席自動読み取り機）に認識されます（履修登録されていない場合は認識されません）。なお，履修登録されていない授業科目は，休講・補講等のお知らせや講義連絡等の情報がポータルサイトで取得できませんので，履修登録，確認は注意して行ってください。



履修登録の流れ



5 履修登録日程

履修の登録, 変更, 中止はポータルサイトから各自のPCで学内外から期間内は登録可能です。ただし, 深夜3:00~5:00はシステムのメンテナンスが入りますので登録できません。

① 履修登録期間

2年次生以上 : 4月4日(土)5:00~4月6日(月)

1年次生 : 4月7日(火)クラス別に登録

② 履修変更期間

前学期 : 4月8日(水)~4月26日(日)

後学期 : 9月18日(金)5:00~9月30日(水)

③ 履修中止手続期間

一定期間の授業後, 履修を中止したい授業科目については履修中止手続を行うことができます。希望者は下記期間内にポータルサイトから履修中止手続を行ってください。

注意: 履修中止科目は登録単位数に含まれます。

前学期 : 5月18日(月)~5月24日(日)

後学期 : 10月19日(月)~10月25日(日)

6 その他

① Web履修登録できない科目について

登録画面上で履修登録できない科目がある場合は, 教務課窓口にご相談してください。

② 9月卒業について(5年次生以上)

前学期で卒業要件を充足し, 卒業資格を得た学生は, 9月30日付けで学位記の交付を受けることができます。前学期で卒業要件を充足する見込みがあり, 学位記の交付を希望する学生は下記期間内に教務課窓口申請してください。

申請期間 : 7月13日(月)~7月20日(月)

B 各学科共通科目

I 1年次生（29年度カリキュラム）

1 年次生の履修上の注意

1 履修条件について

1 年次の履修登録単位数の上限は48単位です。ただし、「自主創造の基礎1・2」、教職課程科目、再履修科目は除きます。

2 履修について

① 教養科目の履修について

(1) 教養科目の履修については、受講を希望する科目の最初の授業に出席して、授業科目担当者の指示を受けてください。

(2) 教職課程（教員免許状取得）を希望する学生は、「日本国憲法」が1年次に設置されている場合、必ず履修してください。また、理科の免許状取得のためには、1年次で履修できる「物理学実験及び演習」、「物理学Ⅰ」及び「物理学Ⅱ」を必ず履修してください。その他の物理、化学科目もできるだけ多く履修してください。数学の免許状取得のためには、1年次で履修できる場合は「工科系数学Ⅰ及び演習」、「工科系数学Ⅱ」及び「工科系数学Ⅲ」を必ず履修してください。

詳細は4月に実施する教職課程ガイダンスで確認してください。

② 体育科目の履修について

(1) 「体育・スポーツⅠ」、「体育・スポーツⅡ」は必修科目です。履修登録は、「体育・スポーツⅠ」の指定曜日・校時の第1回授業（運動用の衣服・靴は不要）において、スポーツ種目の選択を行い、種目が確定してからWeb履修登録をしてください。

第1回授業は、50号館（武道館の柔道場）で行います。

(2) 身体的理由で実技ができない場合は、第1回授業で教員に相談してください。

3 プレースメントテストによる習熟度別のクラス編成について

①

科目分野	授 業 科 目 名	ク ラ ス 表 記
英 語	英語読解Ⅰ， 英語読解Ⅱ 英語表現法Ⅰ， 英語表現法Ⅱ 基礎英語	E 1， E 2， E 3
数 学	工科系数学Ⅰ及び演習 工科系数学Ⅲ	M 1， M 2， M 3
化 学	化学Ⅰ， 化学Ⅱ	担当者名のクラスで受講

② 履修手続き

オリエンテーション期間中にプレースメントテストを行います。クラス編成はプレースメントテストの結果に配慮した上で行います。

(1) 英語

クラス編成は下表のとおりです。

	アドバンスト・コース	スタンダード・コース
土 木 工 学 科	E 1	E 2, E 3
建 築 学 科	E 1	E 2, E 3
機 械 工 学 科	E 1	E 2, E 3
電 気 電 子 工 学 科	E 1	E 2, E 3
生 命 応 用 化 学 科	E 1	E 2
情 報 工 学 科	E 1	E 2, E 3

(2) 数学

(ア) 「工科系数学Ⅰ及び演習（前学期）」, 「工科系数学Ⅲ（後学期）」のクラス編成はM1, M2（生命応用化学科）の2クラス, もしくはM1～M3（土木工学科, 建築学科, 機械工学科, 電気電子工学科, 情報工学科）の3クラスとします。「工科系数学Ⅲ（後学期）」は「工科系数学Ⅰ及び演習（前学期）」で指定されたクラスと同じクラス（M1～M3）を登録してください。

生命応用化学科

M1：標準クラス, M2：基礎クラス

土木工学科, 建築学科, 機械工学科, 電気電子工学科, 情報工学科

M1：発展クラス, M2：標準クラス, M3：基礎クラス

(3) 化学

【生命応用化学科以外】

プレースメントテストの成績及び高校での化学Ⅰ履修歴調査を基にクラスを編成します。指定された教員のクラスで履修登録をしてください。

【生命応用化学科】

プレースメントテストの成績により2クラス編成で, 前学期において「化学Ⅰ」及び「化学Ⅱ」を履修してください。

③ 結果について

オリエンテーションⅢ（4月7日）で, 各自に「受講クラス通知表」を配布します。

時間割表と各科目担当者の指示に従い, 受講科目・クラス・教室をそれぞれ確認の上, Web履修登録をしてください。

4 英語科目再履修について

「基礎英語」, 「英語読解Ⅰ（前学期）」, 「英語表現法Ⅰ（前学期）」に合格せず, 後学期に再履修する場合には, 後学期の再履修科目登録ガイダンスの際に各自の所属学科に設置されている「基礎英語（後学期）」, 「英語読解Ⅰ（後学期）」, 「英語表現法Ⅰ（後学期）」を履修登録してください。（p. 11を参照のこと）

5 専門学科科目の履修について

① 1年次設置の専門教育科目の中で, 他学科の学生が履修できない科目は次のとおりです。

土 木 工 学 科：「測量実習Ⅰ」

建 築 学 科：「建築設計製図Ⅰ」, 「建築設計製図Ⅱ」

機 械 工 学 科：「基礎製図」, 「数値計算リテラシー」

電 気 電 子 工 学 科：「情報リテラシー」, 「Cプログラミング及び演習」, 「電気電子製作実習」

情報工学科：「プログラミング入門及び演習」，「プログラミングの基礎及び演習」
 上記の他にも履修できない場合がありますので，事前に授業科目担当者に相談してください。

- ② 専門教育科目の履修については，下表の担当者に相談してください。

学 科	土木工学科	建築学科	機械工学科	電気電子工学科	生命応用化学科	情報工学科
担 当 者	朝 岡 16号館3階 (306)	廣 田 9号館3階 (308)	西 本 10号館1階 (106) 小 熊 10号館1階 (109)	道 山 15号館2階 (202)	小 林 (以) 14号館1階 (110)	大 山 61号館3階 (303) 金 子 61号館4階 (405)

- ③ 専門教育科目の履修方法，クラス分け等については，**C 各学科専門科目の各学科1年次生の欄又は各学年共通事項欄**を確認してください。
- ④ 各自の所属学科に設置されている専門教育科目，工科系数学Ⅳ～Ⅶ及び技術英語で，同一名称の科目が他学科の科目として設置されている場合，その科目を履修しても，各自の所属学科に設置されている科目としては扱われませんので注意してください（所属学科の科目として履修したい場合は，必ず所属学科に設置されている科目を履修してください）。なお，他学科の科目を修得した場合は，総合選択単位として取り扱われます。

英語科目の履修について

〈前学期〉

英語科目は、各自の「プレースメントテスト成績・受講クラス」の表を見て、Web履修登録をしてください。

〈後学期〉

以下の表で合格科目を確認した上で、履修変更が必要な場合は、後学期の履修変更期間に必要なWeb履修登録をしてください。

なお、再履修科目の履修登録については、再履修科目登録ガイダンスの際にWeb履修登録を行ってください。

○：合格，×：不合格

前学期の科目合格状況	基礎英語	○	○	○	○	×	×	×	×
	英語読解Ⅰ	○	○	×	×	○	○	×	×
	英語表現法Ⅰ	○	×	○	×	○	×	○	×
後学期に受講すべき科目	英語読解Ⅱ 英語表現法Ⅱ	英語読解Ⅱ 英語表現法Ⅰ・Ⅱ	英語読解Ⅰ・Ⅱ 英語表現法Ⅱ	英語読解Ⅰ・Ⅱ 英語表現法Ⅰ・Ⅱ	基礎英語 英語読解Ⅱ 英語表現法Ⅱ	基礎英語 英語読解Ⅱ 英語表現法Ⅰ・Ⅱ	基礎英語 英語読解Ⅰ・Ⅱ 英語表現法Ⅱ	基礎英語 英語読解Ⅰ・Ⅱ 英語表現法Ⅰ・Ⅱ	基礎英語 英語読解Ⅰ・Ⅱ 英語表現法Ⅰ・Ⅱ

数学科目の履修について

土木工学科，建築学科，電気電子工学科，生命応用化学科

〈前学期〉

「工科系数学Ⅰ及び演習」及び「工科系数学Ⅲ」を履修登録する場合，各自の「プレースメントテスト成績・受講クラス」の表に従ってWeb履修登録をしてください。

また，「工科系数学Ⅱ」については，1組であれば(1)，2組であれば(2)のクラスでWeb履修登録してください。

〈後学期〉

前学期に不合格になった「工科系数学Ⅰ及び演習」は，後学期に再履修してください。なお，後学期に再履修する場合，再履修科目登録ガイダンスの際にWeb履修登録を行ってください。

機械工学科，情報工学科

〈前学期〉

「工科系数学Ⅰ及び演習」及び「工科系数学Ⅲ」を履修登録する場合，各自の「プレースメントテスト成績・受講クラス」の表に従ってWeb履修登録をしてください。

また，「工科系数学Ⅱ」については，学生番号によるA，B，Cのクラス割（別紙資料参照）でWeb履修登録してください。

〈後学期〉

前学期に不合格になった「工科系数学Ⅰ及び演習」，「工科系数学Ⅱ」は，後学期に再履修してください。なお，後学期に再履修する場合，再履修科目登録ガイダンスの際にWeb履修登録を行ってください。

物理学科目の履修について

〈前学期〉

1年次に開講されている科目を『授業時間割表』のクラス分けに従って履修登録を行ってください。『授業時間割表』では、2つのクラスで開講している場合は(1), (2)でそれぞれ1組, 2組を表します。また、3つのクラスで開講している場合はA, B, Cで各クラス（前学期ガイダンス時に配付される別表参照）を表します。

なお、物理学科目は「物理学実験及び演習」（必修）、「物理学Ⅰ」（必修）、「物理学Ⅱ」（選択）、「物理学Ⅲ」（選択）、「物理学Ⅳ」（選択）の5科目ですが、学科によっては1年次では開講されず、2年次に開講される科目があります。

土木工学科，電気電子工学科，情報工学科 の場合

「物理学実験及び演習」（必修）、「物理学Ⅰ」（必修）、「物理学Ⅱ」（選択）、「物理学Ⅲ」（選択）を履修登録してください。

建築学科，生命応用化学科 の場合

「物理学実験及び演習」（必修）、「物理学Ⅰ」（必修）、「物理学Ⅱ」（選択）、「物理学Ⅳ」（選択）を履修登録してください。

機械工学科 の場合

「物理学実験及び演習」（必修）、「物理学Ⅰ」（必修）、「物理学Ⅱ」（選択）、「物理学Ⅲ」（選択）、「物理学Ⅳ」（選択）を履修登録してください。

〈後学期〉

全学科共通

前学期で「物理学Ⅰ」が不合格になった場合、後学期に開講される「物理学Ⅰ」を再履修してください。

なお、再履修する場合、再履修科目ガイダンスに出席し、履修変更及び登録を行ってください。

化学科目の履修について

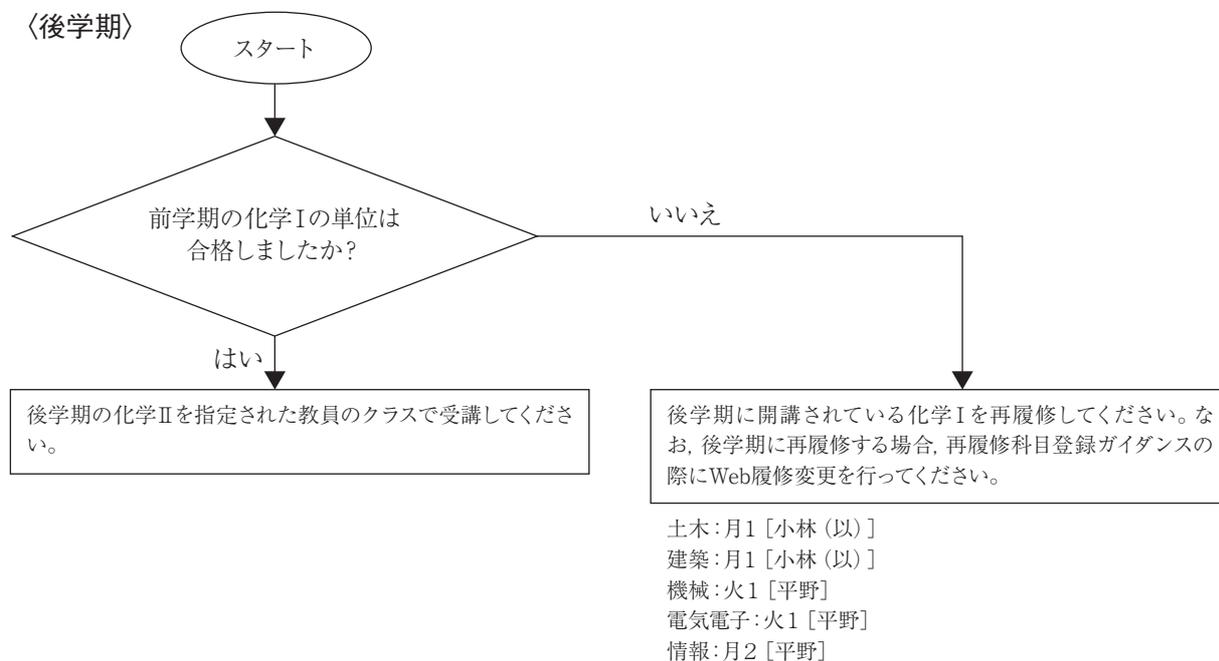
土木工学科，建築学科，機械工学科，電気電子工学科，情報工学科

「化学Ⅰ」及び「化学Ⅱ」を履修登録する場合，以下の説明及び◇内の質問に「はい」，「いいえ」で答え，その結果に従ってWeb履修登録をしてください。

〈前学期〉

「化学Ⅰ」及び「化学Ⅱ」を履修登録をする場合，各自の「プレースメントテスト成績・受講クラス」の表に従ってWeb履修登録をしてください。

〈後学期〉



生命応用化学科

指定されたクラスの「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」を履修してください。これらの科目は，Web履修登録をしてください。化学Ⅰ又は化学Ⅱの単位を前学期で修得できなかった学生は，後学期に開講されている生命応用化学科の「化学Ⅰ」，「化学Ⅱ」を再履修してください。なお，後学期に再履修する場合，再履修科目登録ガイダンスの際にWeb履修変更を行ってください。

B 各学科共通科目

Ⅱ 2～4年次生（29年度カリキュラム）

教 養 科 目

外 国 語 科 目

体 育 科 目

自 然 科 学 科 目

教養科目・外国語科目・体育科目・自然科学科目

下記の授業科目と修得単位数は卒業に必要な要件です。

A 教養科目

自主創造の基礎1（2単位） 自主創造の基礎2（2単位） 日本語表現法（2単位）
哲学Ⅰ（2単位） 哲学Ⅱ（2単位） 心理学Ⅰ（2単位） 心理学Ⅱ（2単位）
日本国憲法（2単位） 経済学Ⅰ（2単位） 経済学Ⅱ（2単位）
日本の文化（2単位）……………留学生のみ履修できる。
の中から必修科目（自主創造の基礎1, 自主創造の基礎2）を含めて12単位以上を修得する。

B 外国語科目

基礎英語（1単位） 英語読解Ⅰ（1単位） 英語読解Ⅱ（1単位）
英語表現法Ⅰ（1単位） 英語表現法Ⅱ（1単位）
英語コミュニケーションⅠ（1単位） 英語コミュニケーションⅡ（1単位）
実用英語Ⅰ（1単位） 実用英語Ⅱ（1単位） 実用英語Ⅲ（1単位） 技術英語（1単位）
基礎日本語Ⅰ（1単位） 基礎日本語Ⅱ（1単位）
日本語講読Ⅰ（1単位） 日本語講読Ⅱ（1単位）……………留学生のみ履修できる。
の中から必修科目を含めて、合計10単位以上を修得する。

C 体育科目

体育・スポーツⅠ（1単位） 体育・スポーツⅡ（1単位）
健康・スポーツ概論（2単位）
の中から必修科目（体育・スポーツⅠ, 体育・スポーツⅡ）を含めて2単位以上を修得する。

D 自然科学科目

工科系数学Ⅰ及び演習（3単位） 工科系数学Ⅱ（2単位） 工科系数学Ⅲ（2単位）
工科系数学Ⅳ（2単位） 工科系数学Ⅴ（2単位） 工科系数学Ⅵ（2単位）
工科系数学Ⅶ（2単位） 物理学Ⅰ（2単位） 物理学Ⅱ（2単位） 物理学Ⅲ（2単位）
物理学Ⅳ（2単位） 物理学実験及び演習（2単位） 化学Ⅰ（2単位） 化学Ⅱ（2単位）
化学実験及び演習（2単位）
の中から各学科で指定する必修科目・指定単位数以上を修得する。

A 教養科目

- ① 教養科目の履修について
教養科目は各学科の時間割に指定されているクラスで履修してください。
- ② 再履修について
教養科目を再履修する学生は、1～3年次生の各学科に開講されている時間割から履修してください。この場合、最初の授業に出席して授業科目担当者の指示に従ってください。ただし、1～3年次生の受講者数や教室の収容人数等の理由で受講できない場合もあります。また、他学科開講科目を履修する場合、上級学年の科目を履修することはできません。なお、教養科目の時間割（p.28）を参考にしてください。
- ③ 「自主創造の基礎1」の再履修について
後学期に開講されている、「自主創造の基礎1」を履修登録してください。

B 外国語科目

- ① 外国語科目の履修について
外国語科目は各学科の時間割に指定されているクラスで履修してください。
(a) 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ（2年次）
・下記の「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ クラス割表」により、自分の学生番号の属するクラスを履修登録してください。

英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ クラス割表

	E 1 C	E 2 C	E 3 C
土木工学科	311001～311055	311056～311110	311111～
建築学科	312001～312075	312076～312149	312150～
機械工学科	313001～313053	313054～313107	313108～
電気電子工学科	314001～314065	314066～314131	314132～
生命応用化学科	315001～315054	315055～	
情報工学科	316001～316065	316066～316129	316130～

* E 1 C～E 3 Cは時間割表上の表記です。

- (b) 実用英語Ⅰ・Ⅱ（2年次）
・下記の「実用英語Ⅰ・Ⅱ クラス割表」により、自分の学生番号の属するクラスを履修登録してください。

実用英語Ⅰ・Ⅱ クラス割表

	E 1 J	E 2 J	E 3 J
土木工学科	311001～311055	311056～311110	311111～
建築学科	312001～312075	312076～312149	312150～
機械工学科	313001～313053	313054～313107	313108～
電気電子工学科	314001～314065	314066～314131	314132～
生命応用化学科	315001～315054	315055～	
情報工学科	316001～316065	316066～316129	316130～

* E 1 J～E 3 Jは時間割表上の表記です。

(c) 実用英語Ⅲ（3年次）

・下記の「実用英語Ⅲ クラス割表」により、自分の学生番号の属するクラスを履修登録してください。

実用英語Ⅲ クラス割表

	E 1 J	E 2 J	E 3 J	E 4 J
土木工学科	301001～311060	301061～301120	301121～	
建築学科	302001～312054	302055～302109	302110～302164	302165～
機械工学科	303001～303059	303060～303119	303120～	
電気電子工学科	304001～304058	304059～304118	304119～	
生命応用化学科	305001～305048	305049～		
情報工学科	306001～306072	306073～306145	306146～	

* E 1 J～E 4 Jは時間割表上の表記です。

(d) 技術英語

各自の所属学科に設置されている科目を必ず履修してください。他学科の科目を修得した場合、総合選択単位として取り扱われます。

② 再履修について

(a) 「基礎英語」, 「英語読解Ⅰ・Ⅱ」, 「英語表現法Ⅰ・Ⅱ」（1年次）

この科目の再履修を希望する学生は、原則として各自の学科に開講されているクラスを履修登録してください。

ただし、アドバンスト・コースは受講できません。

なお、後学期開講の「基礎英語」, 「英語読解Ⅰ」及び「英語表現法Ⅰ」の再履修についてはp.9を参照してください。

(b) 前学期開講の「英語読解Ⅱ」, 「英語表現法Ⅱ」（2年次）

授業時間割表を参照の上、各自の学科に開講されているクラスを履修登録してください。

(c) 後学期開講の「英語コミュニケーションⅠ」, 「実用英語Ⅰ」（2年次）

授業時間割表を参照の上、各自の学科に開講されているクラスを履修登録してください。

(d) 前学期開講の「英語コミュニケーションⅡ」, 「実用英語Ⅱ」（3年次）

授業時間割表を参照の上、各自の学科に開講されているクラスを履修登録してください。

(e) 後学期開講の「実用英語Ⅲ」（3年次）

授業時間割表を参照の上、各自の学科に開講されているクラスを履修登録してください。

C 体育科目

① 「健康・スポーツ概論」（3年次）の履修を希望する学生は、各学科に設置されている授業を受講してください。

② 「体育・スポーツⅠ」, 「体育・スポーツⅡ」の再履修について

(1) 「体育・スポーツⅠ」及び「体育・スポーツⅡ」を再履修する場合は、再履修希望日の第1回授業（運動用の衣服・靴は不要）に出席してください。

(2) 前学期に開講される「体育・スポーツⅠ」のみを再履修する場合は、再履修希望日の第1回授業に出席してください。第1回授業は50号館（武道館の柔道場）で行います。

(3) 後学期に開講される「体育・スポーツⅡ」のみを再履修する場合は、履修者数を調整する都合上、前学期の希望曜日・校時に開講される「体育・スポーツⅠ」の第1回授業に出席してください。その際、種目選択の抽選を行います。ただし、当日、他の授業を受講していて、

「体育・スポーツⅠ」（前学期）の第1回授業に参加できない場合は、事前に後掲の科目担当者表にある体育担当者に連絡して指示を受けてください。種目選択が確定した後、Web履修登録をしてください。

D 自然科学科目

- ① 自然科学科目の履修について
自然科学科目の履修は各学科に設置されている科目を履修してください。
- ② 再履修について
自然科学科目を再履修する学生は次のとおりです。

授 業 科 目	問い合わせ先	指 示 事 項
工科系数学Ⅰ及び演習 工 科 系 数 学 Ⅱ 工 科 系 数 学 Ⅲ	荒木田	1年次または2年次に開講している科目を履修してください。 原則、自分が所属する学科のクラスを受講しますが、時間割上都合がつかない場合には他学科のクラスを受講することができます。その場合、受講希望クラスの担当者に申し出て、許可を得てください。
物 理 学 Ⅰ 物 理 学 Ⅱ 物 理 学 Ⅲ 物 理 学 Ⅳ 物理学実験及び演習	神 馬	所属学科の1年次または2年次に開講している科目を履修してください。
化 学 Ⅰ 化 学 Ⅱ 化学実験及び演習	小林(以)	<p>「化学Ⅰ・Ⅱ」の再履修は指定のクラスで受講してください。</p> <p>【土木】 化学Ⅰ・Ⅱ：他学科開設の「化学Ⅰ・Ⅱ」は履修できません。土木工学科に開設されている「化学Ⅰ・Ⅱ」を履修してください。 化学Ⅰ：前学期・火1〔石原〕 化学Ⅱ：後学期・月1〔佐藤（公）〕 化学実験及び演習：1年次の前学期又は後学期に開講している土木工学科に設置された「化学実験及び演習」を履修してください。</p> <p>【建築、機械、電気、情報】 化学Ⅰ：前学期開講の各自の学科に設置された「化学Ⅰ」を以下の担当者で履修してください。 建築：月1〔市川〕、機械：月1〔佐藤（公）〕、 電気：火1〔児玉〕、情報：月2〔山岸（賢）〕 化学Ⅱ：後学期開講の各自の学科に設置された「化学Ⅱ」を以下の担当者で履修してください。 建築：月1〔佐藤（公）〕、機械：火1〔小林（以）〕、 電気：火1〔小林（以）〕、情報：月2〔小林（厚）〕 化学実験及び演習：1年次の前学期又は後学期に開講している各自の学科に設置された「化学実験及び演習」を履修してください。</p> <p>【生命応用】 化学Ⅰ・Ⅱ：生命応用化学科に開講の前学期又は後学期の該当科目を履修することができますが、前学期の場合はいずれかひとつの履修を希望したとしても「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」の両方を履修しなければいけません（担当のクラスで履修してください）。後学期の場合は不合格になった科目のみ履修することができます。 化学実験及び演習：生命応用化学科の後学期に開講している「化学実験及び演習」、火曜の午前又は午後のいずれかを履修してください。</p>

E その他

- ① 他学科設置科目の専門科目の履修について
- (1) 実験・実習及び製図系の授業科目は履修できません。これ以外の科目についても履修できない場合がありますので、事前に授業科目担当者に相談してください。
 - (2) 各自の所属学科に設置されている専門教育科目，工科系数学Ⅳ～Ⅶ及び技術英語で，同一名称の科目が他学科の科目として設置されている場合，その科目を履修しても，各自の所属学科に設置されている科目としては扱われませんので注意してください（所属学科の科目として履修したい場合は，必ず所属学科に設置されている科目を履修してください）。なお，他学科の科目を修得した場合は，総合選択単位として取り扱われます。
 - (3) 他学科で専門教育科目を履修する場合，定期試験の際には試験日が重複することがありますので，この場合は掲示等で確認して，期間内に教務課窓口に出してください。
- ② やむを得ず，指定日以降に履修登録又は問い合わせをする学生は，以下の担当者の指示を受けてください。

科目分野		担当者
	教 養	菅 原(55号館5階)
外語	英 語	金 (55号館7階)
	体 育	佐久間(智)(55号館7階)
自然科学科目	数 学	荒 木 田(55号館6階)
	物 理 学	神 馬(10号館2階)
	化 学	小 林(以)(14号館1階)

- ③ 「時間割」に関する注意事項

1年次の時間割表で，前学期と同一名称の科目が，後学期にも設置されています。それらの科目を履修する際は，必ず各科目分野の担当教員に確認のうえ登録し，履修してください。

B 各学科共通科目

Ⅲ 5～8年次生（25年度カリキュラム）

教 養 科 目

外 国 語 科 目

体 育 科 目

基 礎 科 目

自然科学科目

教養科目・外国語科目・体育科目・基礎科目・自然科学科目

下記の授業科目と修得単位数は卒業に必要な要件です。

A 教養科目

文学（2単位） 日本語表現法（2単位） 哲学Ⅰ（2単位） 哲学Ⅱ（2単位）
心理学Ⅰ（2単位） 心理学Ⅱ（2単位） 歴史学（2単位） 法学（2単位）
憲法（2単位） 政治学Ⅰ（2単位） 政治学Ⅱ（2単位） 経済学Ⅰ（2単位）
経済学Ⅱ（2単位）

日本の文化（2単位）……………留学生のみ履修できる。

の中から

……………10単位以上

B 外国語科目

英語読解Ⅰ（1単位） 英語読解Ⅱ（1単位） 英語表現法Ⅰ（1単位）
英語表現法Ⅱ（1単位） 英語講読Ⅰ（1単位） 英語講読Ⅱ（1単位）
英語コミュニケーションⅠ（1単位） 英語コミュニケーションⅡ（1単位）
TOEICⅠ（1単位） TOEICⅡ（1単位） TOEICⅢ（1単位） TOEICⅣ（1単位）
ドイツ語入門（1単位） 基礎ドイツ語Ⅰ（1単位） 基礎ドイツ語Ⅱ（1単位）
中国語Ⅰ（1単位） 中国語Ⅱ（1単位）

基礎日本語Ⅰ（1単位） 基礎日本語Ⅱ（1単位）

日本語講読Ⅰ（1単位） 日本語講読Ⅱ（1単位）

……………留学生のみ履修できる。

の中から必修科目（英語読解Ⅰ，英語読解Ⅱ，英語表現法Ⅰ，英語表現法Ⅱ）を含めて，
英語7単位以上，合計10単位以上を修得する。

C 体育科目

体育・スポーツⅠ（1単位） 体育・スポーツⅡ（1単位）

健康・スポーツ概論（2単位）

の中から必修科目（体育・スポーツⅠ，体育・スポーツⅡ）を含めて ……………2単位以上

D 基礎科目

日本語表現基礎（2単位） 基礎の数学（2単位） 基礎の物理学（2単位）

基礎の化学（2単位）

（生命応用化学科のみ，必修科目（基礎の化学）を含めて2単位以上を修得する）

E 自然科学科目

力と運動の物理学Ⅰ（2単位） 物理学実験（1単位） 力と運動の物理学Ⅱ（2単位）

熱とエントロピーの物理学（2単位） 電気と磁気の物理学（2単位） 化学Ⅰ（2単位）

化学Ⅱ（2単位） 化学実験（1単位） 微分Ⅰ（2単位） 微分Ⅱ（2単位）

積分（2単位） 行列・行列式（2単位）

の中から各学科で指定する必修科目を含めて

……………14単位以上

A 教養科目

- ① 教養科目の履修について
教養科目は各学科の時間割に指定されているクラスで履修してください。
- ② 再履修について
教養科目を再履修する学生は、1～3年次生の各学科に開講されている時間割から履修してください。この場合、最初の授業に出席して授業科目担当者の指示に従ってください。ただし、1～3年次生の受講者数や教室の収容人数等の理由で受講できない場合もあります。教養科目の時間割（p.28）を参考にしてください。

B 外国語科目

外国語科目の再履修について

英語

- (a) 「英語読解Ⅰ・Ⅱ」, 「英語表現法Ⅰ・Ⅱ」(1年次)
この科目の再履修を希望する学生は、原則として各自の学科に開講されているクラスを履修登録してください。
ただし、アドバンスト・コースは受講できません。
なお、後学期開講の「英語読解Ⅰ」及び「英語表現法Ⅰ」の再履修についてはp.9を参照してください。
- (b) 前学期開講の「英語読解Ⅱ」, 「英語表現法Ⅱ」(2年次)
授業時間割表を参照の上、各自の学科に開講されているクラスを履修登録してください。
- (c) 「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」(2年次)
授業時間割表を参照の上、各自の学科に開講されているクラスを履修登録してください。
- (d) 「TOEICⅠ・Ⅱ」(2年次)
授業時間割表を参照の上、各自の学科に開講されている「実用英語Ⅰ・Ⅱ」のクラスを履修登録してください。
- (e) 後学期開講の「英語コミュニケーションⅠ」, 「TOEICⅠ」(2年次)
授業時間割表を参照の上、各自の学科に開講されている「英語コミュニケーションⅠ」, 「実用英語Ⅰ」のクラスを履修登録してください。
- (f) 前学期開講の「英語コミュニケーションⅡ」, 「TOEICⅡ」(3年次)
授業時間割表を参照の上、各自の学科に開講されている「英語コミュニケーションⅡ」, 「実用英語Ⅱ」のクラスを履修登録してください。
- (g) 「TOEICⅢ」(3年次)
授業時間割表を参照の上、各自の学科に開講されている前・後学期の「実用英語Ⅲ」のクラスを履修登録してください。
- (h) 「英語講読Ⅰ・Ⅱ」(4年次)
授業時間割表を参照の上、各自の学科に開講されている「英語講読ⅠB・ⅡB」のクラスを履修登録してください。

C 体育科目

- ① 「健康・スポーツ概論」(3年次)の履修を希望する学生は、各学科に設置されている授業を受講してください。
- ② 「体育・スポーツⅠ」,「体育・スポーツⅡ」の再履修について
 - (1) 「体育・スポーツⅠ」及び「体育・スポーツⅡ」を再履修する場合は、再履修希望日の第1回授業(運動用の衣服・靴は不要)に出席してください。
 - (2) 前学期に開講される「体育・スポーツⅠ」のみを再履修する場合は、再履修希望日の第1回授業に出席してください。第1回授業は50号館(武道館の柔道場)で行います。
 - (3) 後学期に開講される「体育・スポーツⅡ」のみを再履修する場合は、履修者数を調整する都合上、前学期の希望曜日・校時に開講される「体育・スポーツⅠ」の第1回授業に出席してください。その際、種目選択の抽選を行います。ただし、当日、他の授業を受講していて、「体育・スポーツⅠ」(前学期)の第1回授業に参加できない場合は、事前に後掲の科目担当者表にある体育担当者に連絡して指示を受けてください。種目選択が確定した後、Web履修登録をしてください。

D 基礎科目

再履修について

基礎の化学

生命応用化学科の学生以外は履修できません。生命応用化学科の学生が再履修する場合は、生命応用化学科に開講されている「基礎の化学B」[沼田]を履修してください。

履修者は前学期ガイダンス中に担当者(沼田)まで連絡してください。

E 自然科学科目

- ① 自然科学科目の履修について
自然科学科目の履修は各学科に設置されている科目を履修してください。
- ② 再履修について
自然科学科目を再履修する学生は次のとおりです。

授 業 科 目	問い合わせ先	指 示 事 項
微 分 I 微 分 II 積 分 行 列 ・ 行 列 式	荒木田	「微分 I」については、1年次に設置された「工科系数学 I 及び演習」を、「積分」については、1年次または2年次に設置された「工科系数学 III」を、「行列・行列式」については、1年次に設置された「工科系数学 II」を履修してください。
力と運動の物理学 I 力と運動の物理学 II 電気と磁気の物理学 熱とエントロピーの物理学 物 理 学 実 験	神 馬	「カリキュラム変更による授業科目対応表(p.27)」に注意し、所属学科の1年次または2年次に開講している科目を履修してください。
化 学 I 化 学 II 化 学 実 験	小林(以)	<p>「化学 I・II」の再履修は指定のクラスで受講してください。</p> <p>【土木】 化学 I・II：他学科開設の「化学 I・II」は履修できません。土木工学科に開設されている「化学 I・II」を履修してください。 化学 I：前学期火 1 [石原] 化学 II：後学期月 1 [佐藤(公)] 化学実験：1年次の前学期又は後学期に開講している土木工学科に設置された「化学実験及び演習」を履修してください。</p> <p>【建築、機械、電気、情報】 化学 I：前学期開講の各自の学科に設置された「化学 I」を以下の担当で履修してください。 建築：月 1 [市川]、機械：月 1 [佐藤(公)]、 電気：火 1 [児玉]、情報：月 2 [山岸(賢)] 化学 II：後学期開講の各自の学科に設置された「化学 II」を以下の担当で履修してください。 建築：月 1 [佐藤(公)]、機械：火 1 [小林(以)]、 電気：火 1 [小林(以)]、情報：月 2 [小林(厚)] 化学実験：1年次の前学期又は後学期に開講している各自の学科に設置された「化学実験及び演習」を履修してください。</p> <p>【生命応用】 化学 I・II：生命応用化学科に開講の前学期又は後学期の該当科目を履修することができますが、前学期の場合はいずれかひとつの履修を希望したとしても「化学 I」と「化学 II」の両方を履修しなければいけません(担当のクラスで履修してください)。後学期の場合は不合格になった科目のみ履修することができます。 化学実験：生命応用化学科の後学期に開講している「化学実験及び演習」、火曜の午前又は午後のいずれかを履修してください。</p>

F その他

- ① 他学科設置科目の専門科目の履修について
- (1) 実験・実習及び製図系の授業科目は履修できません。これ以外の科目についても履修できない場合がありますので、事前に授業科目担当者に相談してください。
 - (2) 各自の所属学科に設置されている専門教育科目，工科系数学Ⅳ～Ⅶ（29カリ）及び技術英語（29カリ）で，同一名称の科目が他学科の科目として設置されている場合，その科目を履修しても，各自の所属学科に設置されている科目としては扱われませんので注意してください（所属学科の科目として履修したい場合は，必ず所属学科に設置されている科目を履修してください）。なお，他学科の科目を修得した場合は，総合選択単位として取り扱われます。
 - (3) 他学科で専門教育科目を履修する場合，定期試験の際には試験日が重複することがありますので，この場合は掲示等で確認して，期間内に教務課窓口に出してください。
- ② やむを得ず，指定日以降に履修登録又は問い合わせをする学生は，以下の担当者の指示を受けてください。

科目分野		担当者
教 養		菅 原(55号館5階)
外語	英 語	金 (55号館7階)
体 育		佐久間(智)(55号館7階)
基礎科目	数 学	荒 木 田(55号館6階)
	物 理 学	神 馬(10号館2階)
	化 学	小 林(以)(14号館1階)

- ③ 「時間割」に関する注意事項

1年次の時間割表で，前学期と同一名称の科目が，後学期にも設置されています。それらの科目を履修する際は，必ず各科目分野の担当教員に確認のうえ登録し，履修してください。

カリキュラム変更による授業科目対応表（5～8年次生用）

25年度カリキュラム (5～8年次生)				29年度カリキュラム (1～4年次生)				備 考
設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	
1	8001	文学	2			・・・・・・・・		開講しない
1	8002	日本語表現法	2	1	10008	日本語表現法	2	
1	8003	哲学Ⅰ	2	1	10009	哲学Ⅰ	2	
1	8004	哲学Ⅱ	2	1	10010	哲学Ⅱ	2	
1	8005	心理学Ⅰ	2	1	10011	心理学Ⅰ	2	
1	8006	心理学Ⅱ	2	1	10012	心理学Ⅱ	2	
1	8009	法学	2			・・・・・・・・		開講しない
1	8010	憲法	2	1	10013	日本国憲法	2	
1	8011	政治学Ⅰ	2			・・・・・・・・		開講しない
1	8012	政治学Ⅱ	2			・・・・・・・・		開講しない
1	8013	経済学Ⅰ	2	1	10014	経済学Ⅰ	2	
1	8014	経済学Ⅱ	2	1	10015	経済学Ⅱ	2	
1	8021	英語読解Ⅰ	1	1	10018	英語読解Ⅰ	1	
1	8022	英語読解Ⅱ	1	1	10019	英語読解Ⅱ	1	
1	8023	英語表現法Ⅰ	1	1	10020	英語表現法Ⅰ	1	
1	8024	英語表現法Ⅱ	1	1	10021	英語表現法Ⅱ	1	
1	8033	ドイツ語入門	1			・・・・・・・・		開講しない
1	8038	基礎日本語Ⅰ	1	1	10033	基礎日本語Ⅰ	1	
1	8039	基礎日本語Ⅱ	1	1	10034	基礎日本語Ⅱ	1	
1	8052	体育・スポーツⅠ	1	1	10037	体育・スポーツⅠ	1	
1	8053	体育・スポーツⅡ	1	1	10038	体育・スポーツⅡ	1	
1	8061	日本語表現基礎	1			・・・・・・・・		開講しない
1	8062	基礎の数学	2			・・・・・・・・		開講しない
1	8063	基礎の物理学	2			・・・・・・・・		開講しない
1	8064	基礎の化学	2			・・・・・・・・		開講しない
1	8071	微分Ⅰ	2	1	10040	工科系数学Ⅰ及び演習	3	
1	8072	微分Ⅱ	2			・・・・・・・・		開講しない
1	8073	積分	2	1	10042	工科系数学Ⅲ	2	
1	8074	行列・行列式	2	1	10041	工科系数学Ⅱ	2	
1	8075	力と運動の物理学Ⅰ	2	1	10058	物理学Ⅰ	2	
1	8076	力と運動の物理学Ⅱ	2	1	10059	物理学Ⅱ	2	
1	8077	電気と磁気の物理学	2	1	10060	物理学Ⅲ	2	
1	8078	熱とエントロピーの物理学	2	1	10061	物理学Ⅳ	2	
1	8079	物理学実験	1	1	10062	物理学実験及び演習	2	
1	8080	化学Ⅰ	2	1	10063	化学Ⅰ	2	
1	8081	化学Ⅱ	2	1	10064	化学Ⅱ	2	
1	8082	化学実験	1	1	10065	化学実験及び演習	2	
2	8008	日本の文化	2	2	10016	日本の文化	2	
2	8025	英語講読Ⅰ	1			・・・・・・・・		4年次開講の「英語講読ⅠB」を履修すること
2	8026	英語講読Ⅱ	1			・・・・・・・・		4年次開講の「英語講読ⅡB」を履修すること
2	8027	英語コミュニケーションⅠ	1	2	10022	英語コミュニケーションⅠ	1	
2	8028	英語コミュニケーションⅡ	1	2	10023	英語コミュニケーションⅡ	1	
2	8029	TOEICⅠ	1	2	10024	実用英語Ⅰ	1	
2	8030	TOEICⅡ	1	2	10025	実用英語Ⅱ	1	
2	8034	基礎ドイツ語Ⅰ	1			・・・・・・・・		開講しない
2	8035	基礎ドイツ語Ⅱ	1			・・・・・・・・		開講しない
2	8036	中国語Ⅰ	1			・・・・・・・・		開講しない
2	8037	中国語Ⅱ	1			・・・・・・・・		開講しない
2	8040	日本語講読Ⅰ	1	2	10035	日本語講読Ⅰ	1	
2	8041	日本語講読Ⅱ	1	2	10036	日本語講読Ⅱ	1	
3	8007	歴史学	2			・・・・・・・・		開講しない
3	8031	TOEICⅢ	1	3	10026	実用英語Ⅲ	1	
3	8032	TOEICⅣ	1			・・・・・・・・		開講しない
3	8051	健康・スポーツ概論	2	3	10039	健康・スポーツ概論	2	
		・・・・・・・・		1	10001	自主創造の基礎Ⅰ	2	新設科目につき代替履修できない
		・・・・・・・・		1	10017	基礎英語	1	新設科目につき代替履修できない

学科により開講学年は異なります

教養科目時間割（1～3年次生）

校時		1	2	3	4	5
曜日						
月	前学期					
	後学期					
火	前学期	[情報2年] 心理学Ⅰ	[機械1年] 日本語表現法Ⅰ 哲学Ⅰ	[土木2年] 哲学Ⅰ		
	後学期	[情報2年] 心理学Ⅱ	[機械1年] 哲学Ⅱ	[土木2年] 哲学Ⅱ		
水	前学期			[土木1年] 日本国憲法Ⅰ 経済学Ⅰ [電気電子2年] 心理学Ⅰ	[電気電子2年] 経済学Ⅰ	[建築3年] 哲学Ⅰ [共通2年] 日本の文化
	後学期		[生命応用1年] 哲学Ⅱ 経済学Ⅱ	[土木1年] 日本語表現法Ⅱ 経済学Ⅱ [電気電子2年] 心理学Ⅱ	[電気電子2年] 経済学Ⅱ	[建築3年] 哲学Ⅱ
木	前学期		[生命応用2年] 日本語表現法Ⅰ 心理学Ⅰ	[建築2年] 経済学Ⅰ	[共通1年] 自主創造の基礎1	
	後学期		[生命応用2年] 日本国憲法Ⅱ 心理学Ⅱ	[建築2年] 経済学Ⅱ		
金	前学期	[土木3年] 心理学Ⅰ [建築2年] 日本国憲法Ⅰ [機械3年] 心理学Ⅰ 経済学Ⅰ [電気電子3年] 日本語表現法Ⅰ	[建築1年] 日本語表現法Ⅰ 心理学Ⅰ [情報1年] 日本国憲法Ⅰ 経済学Ⅰ	[生命応用1年] 哲学Ⅰ 経済学Ⅰ	[電気電子1年] 哲学Ⅰ	
	後学期	[土木3年] 心理学Ⅱ [機械3年] 心理学Ⅱ 経済学Ⅱ [電気電子3年] 日本国憲法Ⅱ	[建築1年] 心理学Ⅱ [情報1年] 日本語表現法Ⅱ 経済学Ⅱ		[機械2年] 日本国憲法Ⅱ [電気電子1年] 哲学Ⅱ	

C 各学科専門科目

土 木 工 学 科

建 築 学 科

機 械 工 学 科

電 氣 電 子 工 学 科

生 命 応 用 化 学 科

情 報 工 学 科

1 土 木 工 学 科

I 1 年次生

- 1 下記の相互関連科目は、履修初年度には同時に履修してください。
「測量学Ⅰ」－「測量実習Ⅰ」

II 2 年次生以上

- 1 社会基盤デザインコースと環境デザインコースの選択は、2年次進級時（4月）に行います。
- 2 下記の相互関連科目は、履修初年度には同時に履修してください。
「構造解析学Ⅰ及び演習」－「構造解析学Ⅱ及び演習」
「水理学Ⅰ及び演習」－「水理学Ⅱ及び演習」
「地盤工学Ⅰ及び演習」－「地盤工学Ⅱ及び演習」
「測量学Ⅱ」－「測量実習Ⅱ」

III 3 年次生以上

- 1 「水質実験」は、クラスをA～Dの4クラスに分け（AとBは1組，CとDは2組），前学期の前半がCクラス，後半がDクラス，後学期の前半がAクラス，後半がBクラスとなります。各クラス分けと入替日程については掲示板で連絡します。
- 2 「社会環境デザイン・スキルズ」は、事前に「製図及び基礎CAD」及び「構造設計論」を履修してください。

IV 4年次生以上（5年次生以上を含む）

- 1 卒業見込みの条件は、下記のとおりです。
100単位以上修得して、卒業研究を履修している者又は修得した者とします。
- 2 卒業研究履修の条件は、下記のとおりです。
4年次生（5年次生以上を含む）の学年初めに100単位以上を修得していなければなりません。
また、その学年で卒業に必要な授業科目をすべて履修できることとします。
- 3 卒業研究の配属は、ガイダンス時に行います。
- 4 卒業研究配属の変更は、原則として認めません。
- 5 卒業研究着手者は、卒業研究審査予稿集原稿及び研究成果を提出し、卒業研究審査会で発表しなければなりません。
上記の原稿と研究成果の提出は、クラス担任及び卒業研究指導教員の指示に従ってください。

氏 名	研究分野	氏 名	研究分野
朝岡良浩	水工学 水文・水資源工学	知野泰明	土木史学 土景観工学
岩城一郎	コンクリート工学 社会基盤保全工学	手塚公裕	水環境工学 水工学
梅村順	地盤工学 地盤防災工学	中野和典	衛生工学 環境生態工学
笠野英行	構造工学	中村晋	地震工学 構造工学
金山進	海岸工学	堀井雅史	交通計画
子田康弘	コンクリート工学	前島拓	道路工学 道舗装工学
仙頭紀明	地盤工学	渡邊英彦	岩盤工学

V 5年次生以上

平成29年度及び平成25年度のカリキュラム変更による授業科目の対応については、カリキュラム変更による授業科目対応表に沿って履修してください。なお、授業科目によっては、授業内容等に指示がある場合がありますので、各授業科目担当者の指示に従って履修してください。

VI 学修・教育目標

平成29年度カリキュラム（平成29年度，平成30年度，平成31年度及び令和2年度入学生に適用），平成25年度カリキュラム（平成25年度，平成26年度，平成27年度及び平成28年度入学生に適用）は，日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定基準を満たす教育プログラムです。履修する際には，特に以下の事項に留意して下さい。

- a) 土木工学科の学生は，学修・教育目標とその達成に関わる科目を良く理解し，日頃の学修に取り組むことが必要です。JABEE修了要件は各学修・教育目標の達成度を評価する基準科目を修得し，卒業要件を満たすことです。
- b) 学修・教育目標とそれぞれの達成に関わる科目は下表のとおりです。なお，土木工学科のホームページには，学修・教育目標の他，それぞれの学修・教育目標の達成に関わる科目及びその達成度の評価方法等が詳しく示されています。
- c) 各科目において単位を修得するためには，原則として全講義に出席し，相応の時間の自己学習（予習・復習など）を行うとともに，すべての試験や課題などを完了しなければなりません。やむを得ない理由で欠席する場合を考慮して，2/3以上の講義に出席することが成績評価の対象となります。ただし，出席条件が異なる科目がありますので，シラバスの確認と共に初回の授業に出席して担当者に確認して下さい。

平成29年度カリキュラムの学修・教育目標とそれぞれの達成に関わる科目

（太字：達成度を評価する基準科目，（ ）付き科目：付随的な科目）

幅広い教養	
（A）技術者としてグローバルな視点を持って人類の幸福に貢献できる人材となるために，幅広い教養を身につける。	
達成に関わる科目	自主創造の基礎1，日本国憲法，日本語表現法，哲学Ⅰ，哲学Ⅱ，心理学Ⅰ，心理学Ⅱ，経済学Ⅰ，経済学Ⅱ，〔日本の文化：留学生のみ〕これらの科目から5科目以上 基礎英語，英語読解Ⅰ，英語読解Ⅱ，英語表現法Ⅰ，英語表現法Ⅱ，英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，実用英語Ⅰ，実用英語Ⅱ，実用英語Ⅲ，技術英語，〔基礎日本語Ⅰ，基礎日本語Ⅱ，日本語講読Ⅰ，日本語講読Ⅱ：留学生のみ〕から，10科目以上 （体育・スポーツⅠ），（体育・スポーツⅡ） （健康・スポーツ概論）
高い倫理観と安全性に関する知識	
（B）土木技術者が地域社会の安全に果たす役割を理解し，職務上の社会的ルールと高い倫理観を身につける。	
達成に関わる科目	社会環境デザイン入門，自主創造の基礎2，技術者倫理
自然科学と情報処理の基礎と応用力	
（C）数学，物理，化学等の自然科学及び情報処理の基礎とそれらを応用する能力を身につける。	
達成に関わる科目	工科系数学Ⅰ及び演習，物理学Ⅰ，物理学実験及び演習，化学Ⅰ，化学実験及び演習，コンピュータリテラシー 工科系数学Ⅱ，工科系数学Ⅲ，工科系数学Ⅳ，物理学Ⅱ，物理学Ⅲ，物理学Ⅳ，化学Ⅱ，基礎力学，環境評価論，基礎プログラミング及び演習，基礎統計学，（製図及び基礎CAD），（社会環境デザイン・スキルズ），（空間情報学）

専門的な基礎	
(D) 土木工学の主要分野である構造工学系、地盤工学系、水理学系、コンクリート工学系、土木計画学系、環境工学系の基礎を身につける。	
達成に関わる科目	基礎構造解析学及び演習、構造解析学Ⅰ及び演習、地盤工学Ⅰ及び演習、水理学Ⅰ及び演習、下水道工学、鋼構造学、コンクリート構造学及び演習、社会基盤計画学 生物と環境の共生概論、水資源工学、国土形成計画史及び景観学、都市及び地域計画、リスクマネジメント及び地震防災工学、建設マネジメント及び施工法、測量学Ⅰ、測量学Ⅱ、構造材料学、交通工学、構造設計論
総合的な課題解決能力	
(E) 社会基盤や環境に関わる実務上の問題を正しく認識し、いままで学んだことを総合し問題を解決する能力を身につける。	
達成に関わる科目	ゼミナール、卒業研究 (社会環境デザイン・スキルズ)
コミュニケーション力	
(F) 学修・研究成果をわかりやすく伝えるために、論理的な文章作成・口頭発表・討論能力を身につける。	
達成に関わる科目	自主創造の基礎1、自主創造の基礎2、ゼミナール、卒業研究
自主的・継続的に学修する能力	
(G) 専門基礎知識の修得を通して、自主的かつ継続的に学修する能力を身につける。	
達成に関わる科目	構造解析学Ⅱ及び演習、地盤工学Ⅱ及び演習、水理学Ⅱ及び演習 環境地盤工学、河川・砂防工学、海岸・港湾工学、空間情報学、道路工学、社会基盤保全工学
専門的な基礎技術	
(H) 実験、実習を通して、チームとして計画・遂行・解析・考察する能力及び時間内に作業を進め、まとめる能力を身につける。	
達成に関わる科目	測量実習Ⅰ、測量実習Ⅱ、材料実験、土質実験 製図及び基礎CAD、社会環境デザイン・スキルズ、水質実験、構造実験、水理実験
資格取得のための基礎的な技術能力	
(I) 卒業後に必要な資格取得を可能にするために、多様な分野の要請に対応できる基礎的な技術能力を身につける。	
達成に関わる科目	測量実習Ⅰ、測量実習Ⅱ、技術者倫理 測量学Ⅰ、測量学Ⅱ、火薬学、(建設マネジメント及び施工法)

平成25年度カリキュラムの学修・教育目標とそれぞれの達成に関わる科目

(太字：達成度を評価する基準科目、() 付き科目：付随的な科目)

幅広い教養	
(A) 技術者としてグローバルな視点を持って人類の幸福に貢献できる人材となるために、幅広い教養を身につける。	
達成に関わる科目	法学、憲法、政治学Ⅰ、政治学Ⅱ、文学、日本語表現法、哲学Ⅰ、哲学Ⅱ、心理学Ⅰ、心理学Ⅱ、経済学Ⅰ、経済学Ⅱ、歴史学、〔日本の文化：留学生のみ〕これらの科目から5科目以上
	英語読解Ⅰ、英語読解Ⅱ、英語表現法Ⅰ、英語表現法Ⅱ 英語講読Ⅰ、英語講読Ⅱ、英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、TOEICⅠ、TOEICⅡ、TOEICⅢ、TOEICⅣ、ドイツ語入門、基礎ドイツ語Ⅰ、基礎ドイツ語Ⅱ、中国語Ⅰ、中国語Ⅱ、〔基礎日本語Ⅰ、基礎日本語Ⅱ、日本語講読Ⅰ、日本語講読Ⅱ：留学生のみ〕から、英語系科目7科目以上、合計10科目以上 日本語表現基礎
	(体育・スポーツⅠ)、(体育・スポーツⅡ) (健康・スポーツ概論)

高い倫理観と安全性に関する知識	
(B) 土木技術者が地域社会の安全に果たす役割を理解し、職務上の社会的ルールと高い倫理観を身につける。	
達成に関わる科目	社会環境デザイン入門Ⅰ，社会環境デザイン入門Ⅱ，技術者倫理及び土木法規
自然科学と情報処理の基礎と応用力	
(C) 数学，物理，化学等の自然科学及び情報処理の基礎とそれらを用いる能力を身につける。	
達成に関わる科目	微分Ⅰ，力と運動の物理学Ⅰ，物理学実験，化学Ⅰ，化学実験，コンピュータリテラシー，基礎力学及び演習 基礎の数学，基礎の物理学，基礎の化学，微分Ⅱ，積分，行列・行列式，力と運動の物理学Ⅱ，熱とエントロピーの物理学，電気と磁気の物理学，化学Ⅱ，リモートセンシング・環境計測法，基礎プログラミング及び演習，基礎解析，基礎統計学，(製図及び基礎CAD)，(社会環境デザイン・スキルズ)，(空間情報学)
専門的な基礎	
(D) 土木工学の主要分野である構造工学系，地盤工学系，水理学系，コンクリート工学系，土木計画学系，環境工学系の基礎を身につける。	
達成に関わる科目	構造解析学Ⅰ及び演習，土の力学及び演習，水理学Ⅰ及び演習，下水道施設工学，鋼構造学，コンクリート構造学及び演習，社会基盤計画学 生物と環境の共生概論，水資源工学，国土形成計画史及び景観学，都市及び地域計画，リスクマネジメント及び地震防災工学，建設マネジメント及び施工法，測量学Ⅰ，基礎弾性力学，測量学Ⅱ，構造材料学，交通工学，構造設計論
総合的な課題解決能力	
(E) 社会基盤や環境に関わる実務上の問題を正しく認識し，いままで学んだことを総合し問題を解決する能力を身につける。	
達成に関わる科目	ゼミナール，卒業研究 (社会環境デザイン・スキルズ)
コミュニケーション力	
(F) 学修・研究成果をわかりやすく伝えるために，論理的な文章作成・口頭発表・討論能力を身につける。	
達成に関わる科目	ゼミナール，卒業研究
自主的・継続的に学修する能力	
(G) 専門基礎知識の修得を通して，自主的かつ継続的に学修する能力を身につける。	
達成に関わる科目	構造解析学Ⅱ及び演習，地盤工学及び演習，水理学Ⅱ及び演習 環境地盤工学，河川・砂防工学，海岸・港湾工学，水処理工学，空間情報学，橋梁工学，道路工学，社会基盤保全工学
専門的な基礎技術	
(H) 実験，実習を通して，チームとして計画・遂行・解析・考察する能力及び時間内に作業を進め，まとめる能力を身につける。	
達成に関わる科目	測量実習Ⅰ，測量実習Ⅱ，材料実験，土質実験 製図及び基礎CAD，社会環境デザイン・スキルズ，水質実験，構造実験，水理実験
資格取得のための基礎的な技術能力	
(I) 卒業後に必要な資格取得を可能にするために，多様な分野の要請に対応できる基礎的な技術能力を身につける。	
達成に関わる科目	測量実習Ⅰ，測量実習Ⅱ，技術者倫理及び土木法規 測量学Ⅰ，測量学Ⅱ，火薬学，(建設マネジメント及び施工法)

カリキュラム変更による授業科目対応表（5～8年次生用）

25年度カリキュラム (5～8年次生)				29年度カリキュラム (1～4年次生)				備 考
設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	
1	8101	コンピュータリテラシー	1	1	10103	コンピュータリテラシー	1	
1	8102	基礎力学及び演習	3	1	10101	基礎力学	2	不足分はレポート等で補う
1	8110	測量学Ⅰ	2	1	10110	測量学Ⅰ	2	
1	8113	測量実習Ⅰ	1	1	10113	測量実習Ⅰ	1	
1	8116	社会環境デザイン入門Ⅰ	1	1	10116	社会環境デザイン入門	1	
1	8117	社会環境デザイン入門Ⅱ	1	1	10002	自主創造の基礎2	2	
1	8125	基礎弾性力学	2	1	10102	基礎構造解析学及び演習	3	「基礎弾性力学」の内容の回を受講する 初回の授業に出席して指示を仰ぐこと
1	8150	生物と環境の共生概論	2	1	10144	生物と環境の共生概論	2	
2	8103	構造解析学Ⅰ及び演習	3	2	10104	構造解析学Ⅰ及び演習	3	
2	8104	土の力学及び演習	3	2	10105	地盤工学Ⅰ及び演習	3	
2	8105	地盤工学及び演習	3	2	10106	地盤工学Ⅱ及び演習	3	
2	8106	水理学Ⅰ及び演習	3	2	10107	水理学Ⅰ及び演習	3	
2	8107	水理学Ⅱ及び演習	3	2	10108	水理学Ⅱ及び演習	3	
2	8108	基礎解析	2	2	10043	工科系数学Ⅳ	2	
2	8109	基礎統計学	2	2	10109	基礎統計学	2	
2	8111	測量学Ⅱ	2	2	10111	測量学Ⅱ	2	
2	8114	測量実習Ⅱ	1	2	10114	測量実習Ⅱ	1	
2	8126	構造材料学	2	2	10122	構造材料学	2	
2	8127	基礎プログラミング及び演習	3	2	10123	基礎プログラミング及び演習	3	
2	8130	構造解析学Ⅱ及び演習	3	2	10126	構造解析学Ⅱ及び演習	3	
2	8141	リモートセンシング・環境計測法	2	2	10136	環境評価論	2	
2	8142	交通工学	2	2	10137	交通工学	2	
2	8145	国土形成計画史及び景観学	2	2	10140	国土形成計画史及び景観学	2	
2	8146	下水道施設工学	2	3	10141	下水道工学	2	
2	8149	水資源工学	2	2	10143	水資源工学	2	
3	8112	空間情報学	2	3	10112	空間情報学	2	
3	8115	火薬学	2	4	10115	火薬学	2	
3	8118	ゼミナール	1	3	10146	ゼミナール	2	
3	8119	製図及び基礎CAD	2	3	10117	製図及び基礎CAD	2	
3	8120	社会環境デザイン・スキルズ	2	3	10118	社会環境デザイン・スキルズ	2	
3	8121	技術者倫理及び土木法規	2	3	10145	技術者倫理	2	
3	8123	リスクマネジメント及び地震防災工学	2	3	10120	リスクマネジメント及び地震防災工学	2	
3	8124	構造設計論	2	3	10121	構造設計論	2	
3	8128	材料実験	2	3	10124	材料実験	2	
3	8129	土質実験	2	3	10125	土質実験	2	
3	8131	鋼構造学	2	3	10127	鋼構造学	2	
3	8132	橋梁工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8133	コンクリート構造学及び演習	3	3	10128	コンクリート構造学及び演習	3	
3	8134	社会基盤保全工学	2	3	10129	社会基盤保全工学	2	
3	8136	環境地盤工学	2	3	10131	環境地盤工学	2	
3	8137	道路工学	2	3	10132	道路工学	2	
3	8138	河川・砂防工学	2	3	10133	河川・砂防工学	2	
3	8139	海岸・港湾工学	2	3	10134	海岸・港湾工学	2	
3	8143	社会基盤計画学	2	3	10138	社会基盤計画学	2	
3	8144	都市及び地域計画	2	3	10139	都市及び地域計画	2	
3	8147	水処理工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8148	水質実験	2	3	10142	水質実験	2	
4	8122	建設マネジメント及び施工法	2	4	10119	建設マネジメント及び施工法	2	
4	8135	構造実験	2	4	10130	構造実験	2	
4	8140	水理実験	2	4	10135	水理実験	2	
4	8151	卒業研究	6	4	10147	卒業研究	6	
2	8901	FE経済分析	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8902	FE流体工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8903	FE静力学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8904	FE材料力学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8905	FE動力学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8906	FE熱力学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8907	FE冷凍・空調	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8908	FE材料科学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8909	FE電気電子工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8910	FE化学・生物	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8911	FEコンピュータ工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
				4	10027	技術英語	1	新設科目につき代替履修できない

土木工学科

修得単位チェック表

I 修得単位チェック表 (29年度カリキュラム)

(1)社会基盤デザインコース

(1～4年次生用)

科目区分		卒業要件		修得単位数	
教 養 科 目	必修科目	4単位	12単位以上	A 1	
	選択科目	8単位以上		A 2	
外 国 語 科 目	必修科目	10単位	10単位以上	A 3	
	選択科目			A 4	
体 育 科 目	必修科目	2単位	2単位以上	A 5	
	選択科目			A 6	
自 然 科 学 科 目	必修科目	11単位	15単位以上	A 7	
	選択科目	4単位以上		A 8	
専門教育科目	専門共通科目	10単位	80単位以上	A 9	
	必修科目	38単位		A 10	
	選択必修科目①	12単位以上		A 11	
	選択必修科目②	4単位以上		A 12	
	選択必修科目③	4単位以上		A 13	
	選 択 科 目		A 14		
他学科専門教育科目				A 15	
教職課程科目 (教科に関する科目)				A 16	
単位互換・相互履修科目				A 17	
合 計		126単位以上		A 18	

1. ガイダンス時に配布された「合格表」をもとに、上表の修得単位数欄に A 1 から A 17 までの単位数を記入してください。
2. A 1 から A 17 までの合計単位数を A 18 に記入してください。
3. 卒業要件と修得単位数を対比し、卒業に必要な単位数を確認してください。

(2)環境デザインコース

(1～4年次生用)

科目区分		卒業要件		修得単位数	
教 養 科 目	必修科目	4単位	12単位以上	A 1	
	選択科目	8単位以上		A 2	
外 国 語 科 目	必修科目	10単位	10単位以上	A 3	
	選択科目			A 4	
体 育 科 目	必修科目	2単位	2単位以上	A 5	
	選択科目			A 6	
自 然 科 学 科 目	必修科目	11単位	15単位以上	A 7	
	選択科目	4単位以上		A 8	
専門教育科目	専門共通科目	10単位	80単位以上	A 9	
	必修科目	38単位		A 10	
	選択必修科目①	12単位以上		A 11	
	選択必修科目②	4単位以上		A 12	
	選択必修科目③	4単位以上		A 13	
	選 択 科 目		A 14		
他学科専門教育科目				A 15	
教職課程科目 (教科に関する科目)				A 16	
単位互換・相互履修科目				A 17	
合 計		126単位以上		A 18	

1. ガイダンス時に配布された「合格表」をもとに、上表の修得単位数欄に A 1 から A 17 までの単位数を記入してください。
2. A 1 から A 17 までの合計単位数を A 18 に記入してください。
3. 卒業要件と修得単位数を対比し、卒業に必要な単位数を確認してください。

修得単位チェック表

Ⅱ 修得単位チェック表 (25年度カリキュラム)

(1)社会基盤デザインコース

(5～8年次生用)

科目区分			卒業要件		修得単位数
教養科目			10単位以上		A 1
外国語科目	英語	必修科目	4単位	10単位以上	A 2
		選択科目	3単位以上		A 3
		選択科目			A 4
体育科目		必修科目	2単位	2単位以上	A 5
		選択科目			A 6
基礎科目					A 7
自然科学科目		必修科目	8単位	14単位以上	A 8
		選択科目	6単位以上		A 9
専門教育科目		必修科目	48単位	80単位以上	A 10
		選択必修科目①	12単位以上		A 11
		選択必修科目②	4単位以上		A 12
		選択必修科目③	4単位以上		A 13
		選択科目			A 14
他学科専門教育科目					A 15
グローバルエンジニア関連科目 (上限10単位)					A 16
教職課程科目 (教科に関する科目)					A 17
単位互換・相互履修科目					A 18
合 計			126単位以上		A 19

1. ガイダンス時に配布された「合格表」をもとに、上表の修得単位数欄に A 1 から A 18 までの単位数を記入してください。
2. A 1 から A 18 までの合計単位数を A 19 に記入してください。
3. 卒業要件と修得単位数を対比し、卒業に必要な単位数を確認してください。

(2)環境デザインコース

(5～8年次生用)

科目区分			卒業要件		修得単位数
教養科目			10単位以上		A 1
外国語科目	英語	必修科目	4単位	10単位以上	A 2
		選択科目	3単位以上		A 3
		選択科目			A 4
体育科目		必修科目	2単位	2単位以上	A 5
		選択科目			A 6
基礎科目					A 7
自然科学科目		必修科目	8単位	14単位以上	A 8
		選択科目	6単位以上		A 9
専門教育科目		必修科目	48単位	80単位以上	A 10
		選択必修科目①	12単位以上		A 11
		選択必修科目②	4単位以上		A 12
		選択必修科目③	4単位以上		A 13
		選択科目			A 14
他学科専門教育科目					A 15
グローバルエンジニア関連科目 (上限10単位)					A 16
教職課程科目 (教科に関する科目)					A 17
単位互換・相互履修科目					A 18
合 計			126単位以上		A 19

1. ガイダンス時に配布された「合格表」をもとに、上表の修得単位数欄に A 1 から A 18 までの単位数を記入してください。
2. A 1 から A 18 までの合計単位数を A 19 に記入してください。
3. 卒業要件と修得単位数を対比し、卒業に必要な単位数を確認してください。

2 建築学科

I 各学年の共通事項

- 1 総合選択単位として他学科設置の専門教育科目を履修する場合は、事前に当該授業科目担当者に相談の上履修してください。
- 2 4年次に「卒業研究」を履修するためには、3年次終了時に100単位以上を修得し、4年次において卒業要件に必要な授業科目をすべて履修できることが必要です。

II 2年次生

- 1 専門教育科目の1組、2組のクラス分けは下表に従って履修してください。

クラス	学生番号	クラス	学生番号
(1)	312001～312113	(2)	312114～
(1)'	312001～ (アーキテクトコースの学生が含まれない)	(2)'	312 ～ (アーキテクトコースの学生が含まれる)

(1)', (2)' の該当科目は、下記のとおりです。

「建築設計演習Ⅱ」, 「応用力学Ⅱ及び演習（演習）」, 「建築計画Ⅱ」

※「建築意匠設計Ⅰ」はアーキテクトコースのみに設置された科目です。

- 2 コース分け・登録について

2年次生後学期はじめに、建築エンジニアリングコース、建築デザインコース、アーキテクトコースのいずれかのコースを選んで登録してください。登録後のコース変更は原則として認めません。

- 3 卒業に必要な修得科目は、コースによって異なるので、注意して履修してください。

Ⅲ 3年次生

- 1 専門教育科目の1組, 2組のクラス分けは下表に従って履修してください。

ク ラ ス	学 生 番 号	ク ラ ス	学 生 番 号
(1)	302001～302109	(2)	302110～
(1)'	302001～302120 (アーキテクトコースの学生が含まれない)	(2)'	302121～ (アーキテクトコースの学生が含まれる)

(1)', (2)' の該当科目は, 下記のとおりです。

「建築測量演習」, 「建築設計演習Ⅲ」, 「建築設計演習Ⅳ」, 「建築実験 (アーキテクト・建築デザインコース)」

※「建築意匠設計Ⅱ」はアーキテクトコースのみに設置された科目です。

- 2 3年次における建築設計演習の履修条件は下記のとおりです。

- ① 「建築設計演習Ⅲ」を履修する学生は, 「建築設計演習Ⅰ」を修得していること。
- ② 「建築設計演習Ⅳ」を履修する学生は, 「建築設計製図Ⅱ」及び「建築設計演習Ⅱ」を修得していること。

- 3 「建築設計演習Ⅳ」の受講について

「建築設計演習Ⅳ」の登録を後学期ガイダンス終了後に行います。

- 4 4年次における卒業研究を履修するには, 3年次終了時に下記に示す科目を修得し, 4年次において卒業条件に必要な授業科目をすべて履修できることが必要です。

「建築設計製図Ⅰ・Ⅱ」, 「建築設計演習Ⅰ・Ⅱ」, 及び「ゼミナール」

- 5 卒業に必要な修得科目は, コースによって異なるので, 注意して履修してください。

- 6 令和3年度卒業研究申し込みについて

- ① 令和3年度卒業研究着手が見込まれる学生は, 「ゼミナール」を履修してください。
「ゼミナール」は, 令和3年度に卒業研究の指導を希望する研究室で履修してください。
- ② 「ゼミナール」の履修要領は配布されたプリントを参照してください。

IV 4年次生（5年次生以上を含む）

1 卒業研究について

- ① 100単位以上修得したものは、卒業研究を履修することができます。ただし、当該年度において卒業要件に必要なすべての授業科目を履修してください。卒業に必要な修得科目は、コースによって異なるので、注意して履修してください。

特に、選択科目については余裕ある履修単位になるよう授業科目を選んでください。

- ② 「卒業研究」の登録は、登録用紙に必要な事項を記入し、4月6日（月）16時までに卒業研究指導教員に提出してください。（別紙「令和2年度卒業研究について」を参照）
- ③ 卒業研究着手者は、卒業研究審査予稿集の原稿及び研究成果品を提出すること。前記の原稿及び成果品の提出がない場合、「卒業研究」の単位は修得できません。

2 建築設計の受講について

- ① 「建築設計（建築デザイン・アーキテクトコース）」を履修するには、「建築設計製図Ⅰ・Ⅱ」, 「建築設計演習Ⅰ・Ⅱ」を修得していること。
- ② 「建築設計（建築デザイン・アーキテクトコース）」の受講登録を4月3日（金）16時から、4年次生ガイダンス教室にて行います。

3 建築実験の受講について

「建築実験（建築エンジニアリングコース）」の受講登録を4月2日（木）13時から、4年次生ガイダンス教室にて行います。

4 令和3年度卒業研究申込について（ゼミナール未修得者のみ）

令和3年度における卒業研究を履修するには、令和2年度終了時に下記に示す科目を修得し、卒業条件に必要な授業科目をすべて履修できることが必要です。

「建築設計製図Ⅰ・Ⅱ」, 「建築設計演習Ⅰ・Ⅱ」, 及び「ゼミナール」

5 ゼミナールについて

- ① 令和3年度卒業研究着手が見込まれる学生は、卒業研究の指導を希望する研究室で、「ゼミナール」を履修してください。
- ② 「ゼミナール」の履修要領は配布されたプリントを参照してください。

6 「建築設計演習Ⅳ」の受講・登録については、3年次生の欄を参照してください。

カリキュラム変更による授業科目対応表（5～8年次生用）

25年度カリキュラム (5～8年次生)				29年度カリキュラム (1～4年次生)				備 考
設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	
1	8 2 0 1	建築環境・設備概論	2	1	10201	建築環境・設備概論	2	
1	8 2 0 2	建築設計製図Ⅰ	2	1	10202	建築設計製図Ⅰ	2	
1	8 2 0 3	建築設計製図Ⅱ	2	1	10203	建築設計製図Ⅱ	2	
1	8 2 3 1	建築構法Ⅰ	2	1	10225	建築構法Ⅰ	2	
1	8 2 3 9	建築計画Ⅰ	2	1	10233	建築計画Ⅰ	2	
1	8 2 4 8	西洋建築史	2	1	10242	西洋建築史	2	
1	8 2 5 6	建築情報処理演習Ⅰ	1	1	10250	建築情報処理演習Ⅰ	1	
1	8 2 5 7	建築情報処理演習Ⅱ	1			・・・・・・・・・・・・・・・・		4年次開講の「建築情報処理演習ⅡB」を受講する
2	8 2 0 4	建築設計演習Ⅰ	2	2	10204	建築設計演習Ⅰ	2	
2	8 2 0 5	建築設計演習Ⅱ	2	2	10205	建築設計演習Ⅱ	2	
2	8 2 0 8	建築意匠設計Ⅰ	1	2	10208	建築意匠設計Ⅰ	1	アーキテクトコースのみの履修科目
2	8 2 1 2	建築材料実験	1	2	10211	建築材料実験	1	
2	8 2 1 4	応用力学Ⅰ	2					
2	8 2 1 5	応用力学Ⅰ演習	1	2	10213	応用力学Ⅰ及び演習	3	応用力学Ⅰ及び演習（講義）を履修 応用力学Ⅰ及び演習（演習）を履修
2	8 2 1 6	応用力学Ⅱ	2					
2	8 2 1 7	応用力学Ⅱ演習	1	2	10214	応用力学Ⅱ及び演習	3	応用力学Ⅱ及び演習（講義）を履修 応用力学Ⅱ及び演習（演習）を履修
2	8 2 1 9	構造力学Ⅰ	2					
2	8 2 2 0	構造力学Ⅰ演習	1	2	10216	構造力学Ⅰ及び演習	3	構造力学Ⅰ及び演習（講義）を履修 構造力学Ⅰ及び演習（演習）を履修
2	8 2 2 1	構造力学Ⅱ	2					
2	8 2 2 2	構造力学Ⅱ演習	1	2	10217	構造力学Ⅱ及び演習	3	構造力学Ⅱ及び演習（講義）を履修 構造力学Ⅱ及び演習（演習）を履修
2	8 2 2 2	建築構法Ⅱ	2	2	10226	建築構法Ⅱ	2	
2	8 2 3 3	建築材料科学Ⅰ	2	2	10227	建築材料科学Ⅰ	2	
2	8 2 3 4	建築材料科学Ⅱ	2	2	10228	建築材料科学Ⅱ	2	
2	8 2 3 8	住宅計画	2	2	10232	住宅計画	2	
2	8 2 4 0	建築計画Ⅱ	2	2	10234	建築計画Ⅱ	2	
2	8 2 4 5	インテリアデザイン	2	1	10239	インテリアデザイン	2	
2	8 2 4 6	建築造形演習	2	2	10240	建築造形演習	2	
2	8 2 4 7	日本建築史	2	3	10241	日本建築史	2	
2	8 2 5 0	建築環境工学Ⅰ	2	2	10244	建築環境工学Ⅰ	2	
2	8 2 5 8	建築情報処理演習Ⅲ	2	2	10251	建築情報処理演習Ⅲ	2	
2	8 2 5 9	建築情報処理演習Ⅳ	2	2	10252	建築情報処理演習Ⅳ	2	
2	8 2 6 2	建築数学	2	2	10044	工科系数学Ⅳ	2	
3	8 2 0 6	建築設計演習Ⅲ	2	3	10206	建築設計演習Ⅲ	2	
3	8 2 0 7	建築設計演習Ⅳ	2	3	10207	建築設計演習Ⅳ	2	
3	8 2 0 9	建築意匠設計Ⅱ	1	3	10209	建築意匠設計Ⅱ	1	アーキテクトコースのみの履修科目
3	8 2 1 3	建築実験	1	3	10212	建築実験	1	建築デザインコース、アーキテクトコース
3	8 2 1 8	木質構造設計法	2	3	10215	木質構造設計法	2	
3	8 2 2 3	構造力学Ⅲ	2					
3	8 2 2 4	構造力学Ⅲ演習	1	3	10218	構造力学Ⅲ及び演習	3	構造力学Ⅲ及び演習（講義）を履修 構造力学Ⅲ及び演習（演習）を履修
3	8 2 2 5	建築振動学	2	3	10219	建築振動学	2	
3	8 2 2 6	建築基礎構造	2	3	10220	建築基礎構造	2	
3	8 2 2 7	鉄筋コンクリート構造	2	3	10221	鉄筋コンクリート構造	2	
3	8 2 2 8	鉄筋コンクリート構造設計法	2	3	10222	鉄筋コンクリート構造設計法	2	
3	8 2 2 9	鋼構造	2	3	10223	鋼構造	2	
3	8 2 3 6	建築施工Ⅰ	2	3	10230	建築施工Ⅰ	2	
3	8 2 3 7	建築施工Ⅱ	2	3	10231	建築施工Ⅱ	2	
3	8 2 4 1	建築計画Ⅲ	2	3	10235	建築計画Ⅲ	2	
3	8 2 4 2	建築計画Ⅳ	2	3	10236	建築計画Ⅳ	2	
3	8 2 4 3	都市計画Ⅰ	2	3	10237	都市計画Ⅰ	2	
3	8 2 4 4	都市計画Ⅱ	2	3	10238	都市計画Ⅱ	2	
3	8 2 4 9	近代建築史	2	3	10243	近代建築史	2	
3	8 2 5 1	建築環境工学Ⅱ	2	3	10245	建築環境工学Ⅱ	2	
3	8 2 5 2	建築設備Ⅰ	2	3	10246	建築設備Ⅰ	2	
3	8 2 5 3	建築設備Ⅱ	2	3	10247	建築設備Ⅱ	2	
3	8 2 5 4	建築人間工学	2	3	10248	建築人間工学	2	
3	8 2 5 5	建築関連法規	2	3	10249	建築関連法規	2	
3	8 2 6 0	建築情報処理演習Ⅴ	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8 2 6 1	建築測量演習	2	3	10253	建築測量演習	2	
3	8 2 6 4	構造力学Ⅳ	2	4	10255	構造力学Ⅳ	2	
3	8 2 6 6	建築ゼミナル	2	3	10260	ゼミナル	2	
3	8 2 6 7	建築倫理	2	3	10259	技術者倫理	2	
3	8 2 6 9	オープンデスク	2	3	10257	オープンデスク	2	
4	8 2 1 0	建築計画設計	2	4	10210	建築設計	2	建築設計（建築デザイン・アーキテクトコースを履修） 建築設計（建築エンジニアリングコースを履修）
4	8 2 1 1	建築構造設計	2					
4	8 2 1 3	建築実験	1	4	10212	建築実験	1	建築エンジニアリングコース
4	8 2 3 0	鋼構造設計法	2	3	10224	鋼構造設計法	2	
4	8 2 3 5	建築材料科学	2	4	10229	建築材料科学	2	
4	8 2 6 3	統計学	2	4	10254	統計学	2	
4	8 2 6 5	特別講義	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
4	8 2 6 8	建築企画	2	4	10256	建築企画	2	アーキテクトコースのみの履修科目
4	8 2 7 0	インターンシップ	2	4	10258	インターンシップ	2	
4	8 2 7 1	卒業研究	6	4	10261	卒業研究	6	
2	8 9 0 1	FE経済分析	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8 9 0 2	FE流体工学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8 9 0 3	FE静力学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8 9 0 4	FE材料力学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8 9 0 5	FE動力学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8 9 0 6	FE熱力学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8 9 0 7	FE冷凍・空調	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
2	8 9 0 8	FE材料科学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
2	8 9 0 9	FE電気電子工学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
2	8 9 1 0	FE化学・生物	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
2	8 9 1 1	FEコンピュータ工学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
				1	10003	自主創造の基礎 2	2	新設科目につき代替履修できない
				4	10028	技術英語	1	新設科目につき代替履修できない

建築学科

修得単位チェック表

次の表を参考に、前学期と後学期のガイダンスで「合格表」を受け取り、卒業に必要な単位の修得状況をチェックしてください。

I 修得単位チェック表 (29年度カリキュラム)

(1～4年生用)

科 目		卒業要件	修得単位数	修得単位数－卒業要件	
教 養 科 目	必 修 科 目	4単位	A 1	$B 1 = A 1 - 4$	
	選 択 科 目	8単位以上	A 2	$B 2 = A 2 - 8$	
外国語科目	必 修 科 目	10単位	A 3	$B 3 = A 3 - 10$	
	選 択 科 目				
体 育 科 目	必 修 科 目	2単位	A 4	$B 4 = A 4 - 2$	
	選 択 科 目				
自然科学科目	必 修 科 目	11単位	A 5	$B 5 = A 5 - 11$	
	選 択 科 目	4単位以上	A 6	$B 6 = A 6 - 4$	
小 計					
専 門 教 育 科 目	専 門 共 通 科 目	10単位	A 7	$B 7 = A 7 - 10$	
	必 修 科 目	47単位	A 8	$B 8 = A 8 - 47$	
	建築エンジニアリングコース	コース必修科目	15単位	A 9	$B 9 = A 9 - 15$
		コース選択必修科目	12単位以上	A 10	$B 10 = A 10 - 12$
		選択科目			
	建築デザインコース	コース必修科目	14単位	A 11	$B 11 = A 11 - 14$
		コース選択必修科目	12単位以上	A 12	$B 12 = A 12 - 12$
		選択科目			
	アーキテクトコース	コース必修科目	14単位	A 13	$B 13 = A 13 - 14$
		コース選択必修科目	12単位以上	A 14	$B 14 = A 14 - 12$
選択科目					
小 計	建築エンジニアリングコース	84単位以上	A 15	$B 15 = A 15 - 84$	
	建築デザインコース アーキテクトコース	83単位以上	A 16	$B 16 = A 16 - 83$	
その他の単位(他学科・互換)					
合 計		130単位以上	A 17	$B 17 = A 17 - 130$	

修得単位チェックの手順

- ガイダンスで配布された「合格表」の最右欄の単位修得状況を基に、上表にある「修得単位数」のA 1～A 17欄に修得単位数を記入します。(専門教育科目は登録コースの修得単位数を記入します)
- 「修得単位数－卒業要件」欄でB 1～B 17欄の求め方は、つぎの例にしたがってください。
例 「 $B 1 = A 1 - 10$ 」欄には、A 1欄の修得単位数から卒業に必要な単位数10を引いた結果を記入します。
- 修得単位チェック表から卒業の可否を確認するには、登録コースにより異なり、下表に示す条件を満たすことです。また、B 17欄が零か正数でも、登録コースの「修得単位数－卒業要件」(B 1～B 16)欄のいずれかに負数の欄があると卒業できないので、注意してください。

建築エンジニアリングコース	B 1～B 6欄, B 7欄, B 8欄, B 9欄, B 10欄, B 15欄及びB 17欄がすべて零か正数です。
建築デザインコース	B 1～B 6欄, B 7欄, B 8欄, B 11欄, B 12欄, B 16欄及びB 17欄がすべて零か正数です。
アーキテクトコース	B 1～B 6欄, B 7欄, B 8欄, B 13欄, B 14欄, B 16欄及びB 17欄がすべて零か正数です。

- 余裕を持って卒業要件を満たすよう、学部要覧の「履修要綱」欄を参照しながら履修計画を立ててください。

修得単位チェック表

次の表を参考に、前学期と後学期のガイダンスで「合格表」を受け取り、卒業に必要な単位の修得状況をチェックしてください。

II 修得単位チェック表 (25年度カリキュラム)

(5～8年次生用)

科 目		卒業要件	修得単位数	修得単位数－卒業要件		
教 養 科 目		10単位以上	A 1	B 1 = A 1 - 10		
外国語科目	英語	必修科目	4単位	10単位以上	A 2	B 2 = A 2 - 4
		選択科目	3単位以上		A 3	B 3 = A 3 - 3
		選択科目			A 4	B 4 = (A 2 + A 3 + A 4) - 10
体育科目		必修科目	2単位	A 5	B 5 = A 5 - 2	
		選択科目				
基礎科目						
自然科学科目		必修科目	6単位	A 8	B 8 = A 8 - 6	
		選択科目	8単位以上	A 9	B 9 = A 9 - 8	
小 計						
専 門 教 育 科 目	必修科目		52単位	A10	B10 = A10 - 52	
	建築エンジニアリングコース	コース必修科目	16単位	A11	B11 = A11 - 16	
		コース選択必修科目	12単位以上	A12	B12 = A12 - 12	
		選択科目				
	建築デザインコース	コース必修科目	16単位	A14	B14 = A14 - 16	
		コース選択必修科目	12単位以上	A15	B15 = A15 - 12	
		選択科目				
	アーキテクトコース	コース必修科目	16単位	A17	B17 = A17 - 16	
		コース選択必修科目	12単位以上	A18	B18 = A18 - 12	
		選択科目				
	小 計		全コース	80単位以上	A20	B20 = A20 - 80
	その他の単位(他学科・グローバル・互換)					
	合 計		126単位以上	A22	B22 = A22 - 126	

修得単位チェックの手順

- ガイダンスで配布された「合格表」の最右欄の単位修得状況を基に、上表にある「修得単位数」のA1～A22欄に修得単位数を記入します。(専門教育科目は登録コースの修得単位数を記入します)
- 「修得単位数－卒業要件」欄でB1～B22欄の求め方は、つぎの例にしたがってください。
例 「B1 = A1 - 10」欄には、A1欄の修得単位数から卒業に必要な単位数10を引いた結果を記入します。
- 修得単位チェック表から卒業の可否を確認するには、登録コースにより異なり、下表に示す条件を満たすことです。また、B22欄が零か正数でも、登録コースの「修得単位数－卒業要件」(B1～B20)欄のいずれかに負数の欄があると卒業できないので、注意してください。

建築エンジニアリングコース	B1～B9欄, B10欄, B11欄, B12欄, B20欄及びB22欄がすべて零か正数です。
建築デザインコース	B1～B9欄, B10欄, B14欄, B15欄, B20欄及びB22欄がすべて零か正数です。
アーキテクトコース	B1～B9欄, B10欄, B17欄, B18欄, B20欄及びB22欄がすべて零か正数です。

- 余裕を持って卒業要件を満たすよう、学部要覧の「履修要綱」欄を参照しながら履修計画を立ててください。

3 機械工学科

I 各学年共通事項

1 カリキュラムの適用

- ① 1～4年次生は「29年度カリキュラム」に従って履修してください。
- ② 5～8年次生は「25年度カリキュラム」に従って履修してください。なお、1～4年次生の科目を履修する場合は、後述の「授業科目対応表（5～8年次生用）」に従い、特に「備考」欄の記載事項にも注意し、履修してください。
- ③ 上級学年に設置されている授業科目は履修できません。

2 総合選択単位について

- ① 「他学科設置の専門教育科目」の履修を希望する場合は、事前にクラス担任及び授業科目担当者に相談の上決定してください。
- ② 「相互履修科目及び単位互換科目」の履修を希望する場合は、「D 単位認定制度」を参照してください。
- ③ 「工科系数学Ⅳ～Ⅵ」・「確率・統計」・「企業実習」・「制御工学」は機械工学科に設置されている科目を履修してください。同一名称であっても、他学科設置の専門教育科目は「総合選択単位」としての取り扱いとなりますので注意してください。

3 卒業研究の履修条件

卒業研究を履修するためには、4年次生または5年次生以上の学年始めに100単位以上を修得していなければなりません。また、その学年で卒業に必要な授業科目がすべて履修できること。

4 卒業見込証明書の発行条件

卒業研究を履修しているか、あるいは卒業研究をすでに修得し、かつその学年で卒業に必要な単位の授業科目をすべて履修していること。

5 製図、実験、実習及びゼミナール系の履修順序について

製図及び実験について次の順序で履修することが望ましい。

25年度カリキュラム

(1年次)	(2年次)	(3年次)	(4年次)
基礎製図	→ 機械製図	→ 機械設計製図	} 卒業研究
	機械工学実験Ⅰ	→ 機械工学実験Ⅱ	
	機械工作実習	→ 機械工学ゼミナール	

29年度カリキュラム

(1年次)	(2年次)	(3年次)	(4年次)
基礎製図	→ 機械製図	→ 機械設計製図	} 卒業研究
	機械工学実習	→ 機械工学実験	
		ゼミナール	

6 修得単位の確認と卒業条件

卒業に必要な単位の修得状況がチェックできるように学部要覧の抜粋と修得単位チェック表を後ろに載せてあります。特に3年次生は卒業見込条件100単位以上、4年次生以上は卒業条件と卒業単位数126単位以上、各々前学期と後学期のガイダンス時に、これらの条件を満たす履修計画であるか確認しながら、履修登録してください。

II 1年次生

1 専門教育科目のクラス分けは以下に従って履修してください。

① 自主創造の基礎2は、2クラス(1)組・(2)組で開講されます。

なお、「教養、外国語、体育、自然科学」における各科目のクラス分け並びに注意事項は、「B 各学科共通科目、I 1年次生(29年度カリキュラム)」の項を参照してください。

② 「機械の基礎解析」の3クラス(A)(B)(C)は、学生番号によるクラス割りを参照してください。

③ 「機械力学I及び演習」の3クラス(A)(B)(C)は、Web履修登録までに掲示します。

④ 「基礎製図」の8クラス(a)~(h)ならびに「数値計算リテラシー」のクラス分けについては、前学期中に周知します。

2 29年度カリキュラムでも以下に示す3つの系における履修モデルを用意し、系統的な学修ができるようにしています。特に3年次生後学期に設置されている「ゼミナール」においては、それぞれの系に分かれ、さらに4年次生の「卒業研究」においては継続して同じ系の特色ある教育を受けます。したがって、進路に併せて2年次以降の科目については、次項に示す履修モデルを基本に、選択してください。

(1) システムダイナミクス系

材料にかかわる科目、制御にかかわる科目などを履修し、機械を構成する材料の特性や評価ならびに、生産工場の自動化で不可欠となっているロボットの基礎や品質管理に関する基礎知識を修得します。

(2) エネルギーシステム系

熱や流れにかかわる科目、エネルギーにかかわる科目などを履修し、エネルギー変換の原理を学ぶことで環境にやさしい熱・流体機械システムやエネルギー・環境問題の基礎知識を修得します。

(3) システムインテグレーション系

ものづくりに直接かかわる機械要素ならびに機械製品の設計や製図、所望の寸法に加工した機械部品の組立てと評価などの生産の流れと情報の流れ及び新しいシステム作りに関する基礎知識を修得します。

29年度カリキュラム 専門教育科目における系別履修モデル

年次	専門教育科目	単位	システムダイ ナミクス系	エネルギー システム系	システムインテ グレーション系
1 年	自主創造の基礎2(教養科目)	2	●	●	●
	機械力学Ⅰ及び演習	3	●	●	●
	ロハス工学Ⅰ	2	●	●	●
	基礎製図	2	◎	◎	◎
	数値計算リテラシー	2	◎	◎	◎
	機械の基礎解析	2	◎	◎	◎
2 年	工科系数学Ⅳ(自然科学科目)	2	●	●	●
	工科系数学Ⅴ(自然科学科目)	2	◎	◎	◎
	材料力学Ⅰ及び演習	3	●	●	●
	材料力学Ⅱ及び演習	3	●	●	●
	機械材料	2	●	●	●
	機械力学Ⅱ及び演習	3	●	●	●
	熱力学Ⅰ及び演習	3	●	●	●
	熱力学Ⅱ及び演習	3	●	●	●
	流れの力学Ⅰ及び演習	3	●	●	●
	機械製図	2	●	●	●
	機械要素設計	2	●	●	●
	ロハス工学Ⅱ	2	●	●	●
	機械工学実習	2	●	●	●
	計測工学	2	○	◎	◎
	電気・電子工学概論	2	○	◎	◎
CAD・CAM	2	◎	○	◎	
確率・統計	2	◎	○	○	
3 年	技術英語(外国語科目)	1	◎	◎	◎
	工科系数学Ⅵ(自然科学科目)	2	◎	◎	◎
	材料加工	2	●	●	●
	流れの力学Ⅱ及び演習	3	●	●	●
	機械設計製図	2	●	●	●
	機械工学実験	2	●	●	●
	技術者倫理(専門共通科目)	2	●	●	●
	ゼミナール(専門共通科目)	2	●	●	●
	材料の強度	2	◎	○	○
	計算力学	2	○	◎	○
	機械製作法	2	○	○	◎
	制御工学	2	◎	◎	◎
	冷凍空調工学	2	○	◎	○
	伝熱工学	2	○	◎	○
	熱機関工学	2	○	◎	○
	流体力学	2	○	◎	○
	流体機械	2	○	◎	○
トライボロジー	2	◎	○	◎	
企業実習	1	◎	◎	◎	
4 年	卒業研究(専門共通科目)	6	●	●	●
	ロボット工学	2	◎	○	○
	エネルギー工学	2	○	◎	○
	航空宇宙工学	2	○	◎	◎
	自動車工学	2	○	◎	◎
	ヒューマンダイナミクス	2	◎	○	○
必修である科目 ●			22科目 56単位	22科目 56単位	22科目 56単位
系の推奨する科目 ◎			15科目 28単位	18科目 34単位	14科目 26単位
領域を広げる科目 ○			11科目 22単位	8科目 16単位	12科目 24単位

Ⅲ 2年次生

- 1 専門基礎科目のクラス分けは、以下に従って履修してください。
 - ① 「機械力学Ⅱ及び演習」, 「材料力学Ⅰ及び演習」, 「熱力学Ⅰ及び演習」のクラス分けは、前学期ガイダンス時に指示します。
 - ② 「流れの力学Ⅰ及び演習」, 「材料力学Ⅱ及び演習」, 「熱力学Ⅱ及び演習」のクラス分けは、前学期又は後学期ガイダンス時に指示します。
 - ③ 「機械力学Ⅰ及び演習」を再履修する学生は、1年次生の時間割に設置された「機械力学Ⅰ及び演習」を受講してください。
- 2 専門教育科目のクラス分けは、下表に従って履修してください。

ク ラ ス	学 生 番 号	ク ラ ス	学 生 番 号
(1)	313001～313083	(2)	313084～

なお、「総合教育科目」のクラス分けは、「B 各学科共通科目、Ⅱ 2年次生 (29年度カリキュラム)」の項を参照してください。

- 3 「機械製図」, 「機械工学実習」について
 授業のクラス分けは前学期ガイダンス時に指示します。なお、オリエンテーションは以下の日程で実施します。

ク ラ ス	機械製図		機械工学実習	
	日時	場所	日時	場所
1組	(A) 9月28日 (月) 13時	4511教室 4512A教室	4月8日 (水) 13時	ガイダンスでお知らせします
	(B) 9月23日 (水) 13時			
2組	(C) 4月13日 (月) 13時		9月23日 (水) 13時	ガイダンスでお知らせします
	(D) 4月8日 (水) 13時			

Web履修登録は、次のように行ってください。

- ① 機械製図
 - ・ 1組の(A)クラスは後学期 月曜日
 - ・ 1組の(B)クラスは後学期 水曜日
 - ・ 2組の(C)クラスは前学期 月曜日
 - ・ 2組の(D)クラスは前学期 水曜日
- ② 機械工学実習
 - ・ 1組の(A)(B)クラスは前学期 月曜日と前学期 水曜日 (それぞれ隔週)
 - ・ 2組の(C)(D)クラスは後学期 月曜日と後学期 水曜日 (それぞれ隔週)

留学生で水曜5校時の前学期「日本の文化」を履修する場合には、上記の2科目は履修できないので注意してください。

Ⅳ 3年次生

- 1 4力学を再履修または履修する学生は、各年次に設置された講義を履修してください。各科目のクラス分けは、前学期ガイダンス時に指示するクラスで受講してください。
- 2 専門教育科目のクラス分けは、下表に従って履修してください。

ク ラ ス	学 生 番 号	ク ラ ス	学 生 番 号
(1)	303001～303091	(2)	303092～

なお、「総合教育科目」のクラス分けは、「B 各学科共通科目、Ⅱ 5～8年次生 (25年度

カリキュラム)」の項を参照してください。

- 3 「機械設計製図」と「機械工学実験」のオリエンテーションは、以下の日程で実施します。
4月10日（金）13時（教室はガイダンスでお知らせします。）
- 4 「機械製図」を再履修又は履修する学生のクラス分けは、前学期ガイダンス時に指示します。また、受講者は2年次生のオリエンテーション（前記Ⅲの3項）に出席してください。
- 5 「ゼミナール」については、前・後学期ガイダンス時に指示がありますので、注意してください。
- 6 「機械要素設計」を再履修する学生は、2年次生の時間割（後学期・火曜・2校時）に設置された「機械要素設計」を受講してください。受講クラスは3年次生の所属クラスと一致させてください。
- 7 「機械工学実習」を再履修又は履修する場合は、次の日程でガイダンスを実施しますので、必ず出席してください。4月6日（月）13：00～（3年次生ガイダンス教室）

V 4年次生

- 1 卒業研究の配属に関するオリエンテーションは、前学期ガイダンス時に指示します。
- 2 3年次生の科目を履修する場合、前記の「IV 3年次生」に記載のとおり履修してください。
- 3 「機械設計製図」又は「機械工学実験」を再履修又は履修する学生のクラス分けは、前学期ガイダンス時に指示します。また受講者は3年次生のオリエンテーション（前記IVの3項）に出席してください。
- 4 教養科目、外国語科目等のクラス分けについては「B 各学科共通科目、II 5～8年次生（25年度カリキュラム）」の項を参照してください。
- 5 「機械要素設計」を再履修する学生は、2年次の時間割（後学期・火曜・2校時）に設置された「機械要素設計」の1組又は2組を選んで受講してください。
- 6 「機械工学実習」を再履修又は履修する学生は、次の日程でガイダンスを実施しますので、必ず出席してください。4月6日（月）13：00～（3年次生ガイダンス教室）

VI 5年次生以上

- 1 5～8年次生は29年度カリキュラム変更に伴い、一部の授業科目において開講されないもの、開講年度の制限や変更があるので、注意して履修計画を立ててください。なお、後述のカリキュラム変更による「授業科目対応表（5～8年次生用）」を参照すること。
- 2 受講免除は、一切認められません。
- 3 卒業研究の配属に関するオリエンテーションは、前学期ガイダンス時に指示します。
- 4 2年次生の「機械製図」を再履修又は履修する学生は、前記「Ⅲ 2年次生の3項」に出席してください。
- 5 3年次生の「機械設計製図」又は「機械工学実験Ⅱ」を再履修又は履修する学生は、前記「IV 3年次生の3項」に出席してください。
- 6 「機械工学実験Ⅰ」（必修2単位）と「機械工作実習」（必修2単位）の科目は29年度カリキュラム変更に伴い、「機械工学実習」（必修2単位）に統合されます。この2科目を履修する場合には、不足単位は夏季及び冬季補講で充足します。

Web履修登録を、「機械工学実験Ⅰ」は後学期、「機械工作実習」は前学期として行ってくだ

さい。

- 7 「機械要素設計」を再履修する学生は、2年次の時間割（後学期・火曜・2校時）に設置された「機械要素設計」の1組又は2組を選んで受講してください。
- 8 「機械工作実習」を再履修又は履修する学生は、次の日程でガイダンスを実施しますので、必ず出席してください。4月6日（月）13：00～（3年次生ガイダンス教室）
- 9 29年度カリキュラム変更に伴い、一部の授業科目において開講されないもの、開講年度の制限や変更があるので、注意して履修計画を立ててください。なお、後述のカリキュラム変更による「授業科目対応表（5～8年次生用）」を参照してください。
- 10 「機械工学実験Ⅰ」を再履修又は履修する学生は、次の日程でガイダンスを実施しますので、必ず出席してください。4月6日（月）13：00～（3年次生ガイダンス教室）

25年度カリキュラム 専門教育科目における系別履修モデル

年次	専門教育科目	単位	システムダイ ナミクス系	エネルギー システム系	システムインテ グレーション系
1 年	機械力学Ⅰ及び演習	3	●	●	●
	ロハス工学Ⅰ	2	●	●	●
	基礎製図	2	○	○	○
	数値計算リテラシー	2	○	○	○
	機械工学入門	2	○	○	○
	機械の基礎解析	2	○	○	○
2 年	材料力学Ⅰ及び演習	3	●	●	●
	材料力学Ⅱ及び演習	3	●	●	●
	機械材料	2	●	●	●
	機械力学Ⅱ及び演習	3	●	●	●
	熱力学Ⅰ及び演習	3	●	●	●
	熱力学Ⅱ及び演習	3	●	●	●
	流れの力学Ⅰ及び演習	3	●	●	●
	機械製図	2	●	●	●
	機械要素設計	2	●	●	●
	ロハス工学Ⅱ	2	●	●	●
	機械工学実験Ⅰ	2	●	●	●
	機械工作実習	2	●	●	●
	計測工学	2	○	○	○
	CAD・CAM	2	○	○	○
	電気・電子工学概論	2	○	○	○
	確率・統計	2	○	○	○
微分方程式	2	○	○	○	
線形代数	2	○	○	○	
3 年	流れの力学Ⅱ及び演習	3	●	●	●
	材料加工	2	●	●	●
	技術者倫理	2	●	●	●
	機械設計製図	2	●	●	●
	機械工学実験Ⅱ	2	●	●	●
	機械工学ゼミナール	2	●	●	●
	材料の強度	2	○	○	○
	機械製作法	2	○	○	○
	制御工学	2	○	○	○
	伝熱工学	2	○	○	○
	冷凍空調工学	2	○	○	○
	熱機関工学	2	○	○	○
	流体力学	2	○	○	○
	流体機械	2	○	○	○
	トライボロジー	2	○	○	○
	計算力学	2	○	○	○
	機械の数学	2	○	○	○
機械技術英語	1	○	○	○	
企業実習	1	○	○	○	
4 年	卒業研究	6	●	●	●
	生産工学	2	○	○	○
	ロボット工学	2	○	○	○
	エネルギー工学	2	○	○	○
	産業財産権法	2	○	○	○
	ヒューマンダイナミクス	2	○	○	○
	自動車工学	2	○	○	○
	航空宇宙工学	2	○	○	○
必修である科目 ●			21科目 54単位	21科目 54単位	21科目 54単位
系の推奨する科目 ○			17科目 32単位	20科目 38単位	17科目 32単位
領域を広げる科目 ○			13科目 26単位	10科目 20単位	13科目 26単位

カリキュラム変更による授業科目対応表（5～8年次生用）

25年度カリキュラム (5～8年次生)				29年度カリキュラム (1～4年次生)				備 考
設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	
1	8303	機械力学Ⅰ及び演習	必修3	1	10303	機械力学Ⅰ及び演習	必修3	
1	8309	機械の基礎解析	2	1	10309	機械の基礎解析	2	
1	8314	機械工学入門	2	1	10004	自主創造の基礎2	必修2	
1	8321	数値計算リテラシー	2	1	10317	数値計算リテラシー	2	
1	8330	基礎製図	2	1	10325	基礎製図	2	
1	8347	ロハス工学Ⅰ	必修2	1	10339	ロハス工学Ⅰ	必修2	
2	8301	材料力学Ⅰ及び演習	必修3	2	10301	材料力学Ⅰ及び演習	必修3	
2	8302	材料力学Ⅱ及び演習	必修3	2	10302	材料力学Ⅱ及び演習	必修3	
2	8304	機械力学Ⅱ及び演習	必修3	2	10304	機械力学Ⅱ及び演習	必修3	
2	8305	熱力学Ⅰ及び演習	必修3	2	10305	熱力学Ⅰ及び演習	必修3	
2	8306	熱力学Ⅱ及び演習	必修3	2	10306	熱力学Ⅱ及び演習	必修3	
2	8307	流れの力学Ⅰ及び演習	必修3	2	10307	流れの力学Ⅰ及び演習	必修3	
2	8310	微分方程式	2	2	10049	工科系数学Ⅴ	2	
2	8311	確率・統計	2	2	10310	確率・統計	2	
2	8312	線形代数	2	2	10045	工科系数学Ⅳ	必修2	
2	8315	機械要素設計	必修2	2	10311	機械要素設計	必修2	
2	8318	機械材料	必修2	2	10314	機械材料	必修2	
2	8319	計測工学	2	2	10315	計測工学	2	
2	8323	CAD・CAM	2	2	10319	CAD・CAM	2	
2	8324	電気・電子工学概論	2	2	10320	電気・電子工学概論	2	
2	8327	機械工学実験Ⅰ	必修2	2	10324	機械工学実習	必修2	1単位不足分を夏季及び冬季補講する
2	8329	機械工作実習	必修2	2	10324	機械工学実習	必修2	1単位不足分を夏季及び冬季補講する
2	8331	機械製図	必修2	2	10326	機械製図	必修2	
2	8348	ロハス工学Ⅱ	必修2	2	10340	ロハス工学Ⅱ	必修2	
3	8308	流れの力学Ⅱ及び演習	必修3	3	10308	流れの力学Ⅱ及び演習	必修3	
3	8313	機械の数学	2	3	10053	工科系数学Ⅵ	2	
3	8316	材料加工	必修2	3	10312	材料加工	必修2	
3	8317	機械製作法	2	3	10313	機械製作法	2	
3	8320	材料の強度	2	3	10316	材料の強度	2	
3	8322	計算力学	2	3	10318	計算力学	2	
3	8325	流体力学	2	3	10321	流体力学	2	
3	8326	企業実習	1	3	10322	企業実習	1	
3	8328	機械工学実験Ⅱ	必修2	3	10323	機械工学実験	必修2	
3	8332	機械設計製図	必修2	3	10327	機械設計製図	必修2	
3	8333	熱機関工学	2	3	10328	熱機関工学	2	
3	8334	冷凍空調工学	2	3	10329	冷凍空調工学	2	
3	8335	流体機械	2	3	10330	流体機械	2	
3	8339	制御工学	2	3	10333	制御工学	2	
3	8340	伝熱工学	2	3	10334	伝熱工学	2	
3	8342	トライボロジー	2	3	10336	トライボロジー	2	
3	8346	機械工学ゼミナール	必修2	3	10342	ゼミナール	必修2	
3	8349	技術者倫理	必修2	3	10341	技術者倫理	必修2	
3	8350	機械技術英語	1	3	10029	技術英語	1	
4	8336	航空宇宙工学	2	4	10331	航空宇宙工学	2	
4	8337	自動車工学	2	4	10332	自動車工学	2	
4	8338	生産工学	2	4		……………		開講しない
4	8341	エネルギー工学	2	4	10335	エネルギー工学	2	
4	8343	ヒューマンダイナミクス	2	4	10337	ヒューマンダイナミクス	2	
4	8344	ロボット工学	2	4	10338	ロボット工学	2	
4	8345	産業財産権法	2	4		……………		開講しない
4	8351	卒業研究	必修6	4	10343	卒業研究	必修6	
2	8901	FE経済分析	2			……………		開講しない
3	8902	FE流体力学	2			……………		開講しない
3	8903	FE静力学	2			……………		開講しない
3	8904	FE材料力学	2			……………		開講しない
3	8905	FE動力学	2			……………		開講しない
3	8906	FE熱力学	2			……………		開講しない
3	8907	FE冷凍・空調	2			……………		開講しない
2	8908	FE材料科学	2			……………		開講しない
2	8909	FE電気電子工学	2			……………		開講しない
2	8910	FE化学・生物	2			……………		開講しない
2	8911	FEコンピュータ工学	2			……………		開講しない

(注) 単位欄の表記で、「必修」は「必修科目」を、単位のみ表記は「選択科目」を示す。

修得単位チェック表

I 修得単位チェック表(29年度カリキュラム)

(1～4年次生用)

1. 「合格表」右端（単位修得状況）に記載の修得数（単位数）を下表の(B)欄に記入する。
2. (B)欄の記入値から(C)欄の数値を計算し記入する。
3. (C)欄の「正」の数値を(D)欄に記入し、その合計を求めて「D17」と「B17」に記入する。
4. (C)欄のいずれかに「負の値」があれば卒業できないことを示すので、「負の値」の該当する「科目群」から、「正の値」になるよう履修科目を選定すること。
5. 詳細は、該当年度の学部要覧に記載の「履修について→科目体系→機械工学科」の項を参照して、必ず卒業条件を十分満足するように、余裕のある履修計画を立てて履修登録をすること。
6. 不明の点がある場合には、クラス担任に相談すること。

C欄の(C 1～C17)に「負の値」があれば卒業できない

合格表より修得単位をB欄に記入

総合選択単位の算出
(C)欄の正の値を記入

修得単位チェック表

科 目		卒 業 要 件 (A)	修 得 単 位 数 (B)	(修得単位数) - (卒業要件) (C) = (B) - (A)	(D)
教養科目	必 修	4単位	B 1	C 1 = B 1 - 4	
	選 択	8単位以上	B 2	C 2 = B 2 - 8	
外国語科目	必 修	10単位	B 3	C 3 = B 3 - 10	
	選 択		B 4	C 4 = B 4	
体育科目	必 修	2単位	B 5	C 5 = B 5 - 2	
	選 択		B 6	C 6 = B 6	
自然科学 科 目	必 修	17単位	B 7	C 7 = B 7 - 17	
	選 択		B 8	C 8 = B 8	
小 計					
専門教育 科 目	専 門 共 通	10単位	B 9	C 10 = B 10 - 54	
	必 修	42単位以上	B 10	C 11 = B 11 - 26	
	選 択	28単位以上	B 11	C 11 = B 11 - 26	
小 計					
そ の 他	他 学 科 選 択 科 目		B 12	C 12 = B 12	
	教 職 科 目 (教科に関する科目)		B 13	C 13 = B 13	
	臨床工学技士課程科目		B 14	C 14 = B 14	
	単位互換相互履修科目		B 15	C 15 = B 15	
合 計		1 2 6 単位以上	B 16	C 16 = B 16 - 126	
総合選択単位		5 単位以上	B 17	C 17 = B 17 - 5	

上記の「正の数」の合計
D17 :

「B17」に記入する (D17 = C17)

修得単位チェック表

II 修得単位チェック表(25年度カリキュラム)

(5～8年次生用)

1. 「合格表」右端（単位修得状況）に記載の修得数（単位数）を下表の(B)欄に記入する。
2. (B)欄の記入値から(C)欄の数値を計算し記入する。
3. (C)欄の「正」の数値を(D)欄に記入し、その合計を求めて「D18」と「B18」に記入する。
4. (C)欄のいずれかに「負の値」があれば卒業できないことを示すので、「負の値」の該当する「科目群」から、「正の値」になるよう履修科目を選定すること。
5. 詳細は、該当年度の学部要覧に記載の「履修について→科目体系→機械工学科」の項を参照して、必ず卒業条件を十分満足するように、余裕のある履修計画を立てて履修登録をすること。
6. 不明の点がある場合には、クラス担任に相談すること。

C欄の(C 1～C18)に「負の値」があれば卒業できない

合格表より修得単位をB欄に記入

修得単位チェック表

科 目		卒 業 要 件 (A)		修 得 単位数(B)	(修得単位数) - (卒業要件) (C) = (B) - (A)	(D)	
教養科目	選 択	10単位以上		B 1	$C 1 = B 1 - 10$		
外国語科目	英 語	必 修	4単位	10単位 以 上	B 2	$C 2 = B 2 - 4$	X
		選 択	3単位以上		B 3	$C 3 = B 3 - 3$	
	選 択		B 4		$C 4 = (B 2 + B 3 + B 4) - 10$		
体育科目	必 修	2単位	2単位	B 5	$C 5 = B 5 - 2$	X	
	選 択		以 上	B 6	$C 6 = B 6$		
基礎科目	選 択			B 7	$C 7 = B 7$		
自然科学 科 目	必 修	6単位	14単位	B 8	$C 8 = B 8 - 6$	X	
	選 択	8単位以上	以 上	B 9	$C 9 = B 9 - 8$		
小 計				X	X	X	
専門教育 科 目	必 修	54単位	80単位	B 10	$C 10 = B 10 - 54$	X	
	選 択	26単位以上	以 上	B 11	$C 11 = B 11 - 26$		
小 計				X	X	X	
そ の 他	他 学 科 選 択 科 目			B 12	$C 12 = B 12$		
	グ ローバルエンジニア 関 連 科 目			B 13	$C 13 = B 13$		
	教 職 科 目 (教科に関する科目)			B 14	$C 14 = B 14$		
	臨床工学技士課程科目			B 15	$C 15 = B 15$		
	単位互換相互履修科目			B 16	$C 16 = B 16$		
合 計		1 2 6 単位以上		B 17	$C 17 = B 17 - 126$		
総 合 選 択 単 位		10単位以上		B 18	$C 18 = B 18 - 10$	上記の「正の数」の合計 D 18 :	

「B18」に記入する (D18 = B18)

4 電気電子工学科

I 各学年共通事項

1 履修上の注意

- ① 入学年度のカリキュラムに従って履修してください。なお、各学年の対象カリキュラムは「履修の手引の見方」（目次の次頁）を参照してください。
- ② カリキュラム変更により、一部の授業科目に科目名の変更や履修年次の変更があるため、後述の授業科目対応表（57頁）をよく確認の上、履修してください。
- ③ 総合選択単位は、できる限り電気電子工学科の科目を履修してください。
- ④ 「工科系数学Ⅳ・同Ⅴ」, 「電気回路Ⅰ・同Ⅱ及び演習」, 「電磁気学Ⅰ・同Ⅱ及び演習」「電気電子計測Ⅰ」及び「電子回路Ⅰ」の8科目については次学期にも同じ名称の再履修科目が設置されています。前の学期に修得できなかった場合に履修することができます。
- ⑤ 「工科系数学Ⅳ～Ⅶ」, 「確率・統計」, 「企業実習」, 「制御工学」は電気電子工学科に設置されている科目を履修してください。他学科に設置されている同じ名称の科目を履修しても専門教育科目の単位になりません。
- ⑥ 卒業後、「電気主任技術者」, 「電気通信主任技術者」, 「電気工事士」, 「特殊無線技士」などの資格が必要になる場合がありますので、資格取得に必要な授業科目（学部要覧参照）を優先して履修してください。

2 学生実験の履修条件

- ① 25年度カリキュラムでは、前学期に設置されている「電気電子製作実習、電気電子基礎実験Ⅰ、エネルギー機器実験又は高周波実験」の3科目を同一年度に履修することはできません。
- ② 29年度カリキュラムでは、前学期に設置されている「電気電子製作実習、電気電子基礎実験Ⅰ、エネルギー機器実験又はエレクトロニクス実験」の3科目を同一年度に履修することはできません。

3 ゼミナール及び卒業研究の履修条件

- ① 「ゼミナール」を履修するためには、「3年次生以上の後学期始めに65単位以上修得していること」が条件です。
- ② 「卒業研究」を履修するためには、「4年次生以上の学年始めに100単位以上を修得し、さらに、その年度で卒業に必要な授業科目をすべて履修できること」が条件です。

Ⅱ 1年次生

- 1 「工科系数学Ⅳ・同Ⅴ」, 「情報リテラシー」及び「Cプログラミング及び演習」のクラス編成は下表に従ってください。なお, 後学期の「工科系数学Ⅳ」は再履修科目です。前学期に修得できなかった場合には, 後学期の再履修科目登録ガイダンスの際に登録してください。

科目名	クラス編成
工科系数学Ⅳ	プレースメントテストによる数学の習熟度クラス編成と同じとします。
工科系数学Ⅴ	後学期ガイダンスの教室又は15号館前の掲示板に掲示します。
情報リテラシー	コンピュータに関する習熟度により3クラスに編成します。
Cプログラミング及び演習	コンピュータに関する習熟度により3クラスに編成します。

- 2 臨床工学技士課程は, 2年次生からのみ履修開始を許可しています。履修するためにはいくつかの条件がありますので, 年に2回行われるガイダンスに出席して, 説明を受けてください。なお, ガイダンスの日程はポータルサイトに掲示しますので, 確認してください。

Ⅲ 2年次生

「電気回路Ⅰ・同Ⅱ及び演習」及び「電磁気学Ⅰ・同Ⅱ及び演習」のクラス編成は下表に従ってください。下表以外の科目は, 正規のクラス割(138頁)に従って履修してください。

科目名	クラス編成
電気回路Ⅰ及び演習	2年次前学期の再履修科目を履修してください。後学期の正規科目を履修する場合は, 1年次に履修したときと同じクラスとします。
電気回路Ⅱ及び演習	前学期ガイダンスの教室又は15号館前の掲示板に掲示します。
電磁気学Ⅰ及び演習	前学期ガイダンスの教室又は15号館前の掲示板に掲示します。
電磁気学Ⅱ及び演習	「電磁気学Ⅰ及び演習」と同じクラス編成とします。

Ⅳ 3年次生

- 1 「ゼミナール」を履修する場合は, 土曜日の6校時に登録してください。「ゼミナール」の研究室配属は, 卒業研究中間発表会直後の配属調査により決定します。卒業研究中間発表会(後学期ガイダンスの前日を予定)に必ず出席し, 配属希望研究室を決めてください。「ゼミナール」で配属される研究室には定員がありますので, 配属希望者が多数の場合は成績順を原則に配属します。
- 2 「企業実習」を履修する場合は, 土曜日の4校時に登録してください。また, 「企業実習」のガイダンスを初回の授業(土曜日の4校時)に行いますので履修予定者は必ず出席してください。

V 4年次生（5年次生以上を含む）

- 1 「卒業研究」を履修する場合は、土曜日の5校時に登録してください。「卒業研究」の所属研究室は、原則として「ゼミナール」の所属研究室になります。「卒業研究」において、「ゼミナール」で所属した研究室と異なる研究室を希望する場合は、「ゼミナール」で所属した研究室と「卒業研究」で所属を希望する研究室の指導教員と学科主任のそれぞれの許可を得、さらに、電気電子工学科教室会議の議を経るものとします。ただし、研究室の所属変更は、変更先の研究室における割当人数内で可能です。
- 2 就職に関するガイダンスを次の日時に行います。
4月2日（木）13時から4年次生のガイダンス教室で実施します。
- 3 卒業研究配属に関するガイダンスを次の日時に行います。
4月2日（木）14時から4年次生のガイダンス教室で実施します。

カリキュラム変更による授業科目対応表（5～8年次生用）

25年度カリキュラム (5～8年次生)				29年度カリキュラム (1～4年次生)				備 考
設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	
1	8401	情報リテラシー	1	1	10401	情報リテラシー	1	
1	8402	産業入門セミナー	2	1	10005	自主創造の基礎2	2	
1	8403	電気電子数学Ⅰ	2	1	10046	工科系数学Ⅳ	2	
1	8404	電気電子数学Ⅱ	2	1	10050	工科系数学Ⅴ	2	
1	8409	電気回路Ⅰ及び演習	3	1	10404	電気回路Ⅰ及び演習	3	
1	8411	Cプログラミング及び演習	2	1	10406	Cプログラミング及び演習	2	
1	8421	電気電子製作実習	1	1	10414	電気電子製作実習	1	
2	8405	電気電子数学Ⅲ	2	2	10054	工科系数学Ⅵ	2	
2	8406	電気電子数学Ⅳ	2	2	10056	工科系数学Ⅶ	2	
2	8407	電磁気学Ⅰ及び演習	3	2	10402	電磁気学Ⅰ及び演習	3	
2	8408	電磁気学Ⅱ及び演習	3	2	10403	電磁気学Ⅱ及び演習	3	
2	8410	電気回路Ⅱ及び演習	3	2	10405	電気回路Ⅱ及び演習	3	
2	8412	離散数学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8413	確率・統計	2	3	10407	確率・統計	2	
2	8414	過渡現象	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8415	伝送回路	2	3	10408	電気回路Ⅲ	2	
2	8419	電気電子計測Ⅰ	2	2	10412	電気電子計測Ⅰ	2	
2	8420	電気電子計測Ⅱ	2	2	10413	電気電子計測Ⅱ	2	
2	8422	半導体デバイス	2	2	10415	半導体デバイス	2	
2	8425	電気機器Ⅰ	2	2	10417	電気機器Ⅰ	2	
2	8426	電気機器Ⅱ	2	2	10418	電気機器Ⅱ	2	
2	8443	実用Cプログラミング及び演習	2	2	10432	実用Cプログラミング及び演習	2	
2	8445	電気電子基礎実験Ⅰ	1	2	10433	電気電子基礎実験Ⅰ	1	
2	8446	電気電子基礎実験Ⅱ	1	2	10434	電気電子基礎実験Ⅱ	1	
2	8449	電気電子設計製図	2	2	10437	電気電子設計製図	2	
2	8450	コンピュータ工学	2	2	10438	コンピュータ工学	2	
3	8416	電子回路Ⅰ	2	2	10409	電子回路Ⅰ	2	
3	8417	電子回路Ⅱ	2	3	10410	電子回路Ⅱ	2	
3	8418	デジタル回路	2	3	10411	デジタル回路	2	
3	8423	電子デバイス	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8424	電気電子材料	2	3	10416	電気電子材料	2	
3	8428	電力工学Ⅰ	2	3	10420	電力工学Ⅰ	2	
3	8429	電力工学Ⅱ	2	3	10421	電力工学Ⅱ	2	
3	8430	電気電子工学技術者倫理	2	3	10442	技術者倫理	2	
3	8434	通信工学Ⅰ	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8435	通信工学Ⅱ	2	3	10425	通信工学	2	
3	8436	電気電子技術英語	1	4	10030	技術英語	1	
3	8437	電磁波工学	2	3	10426	電磁波工学	2	
3	8438	企業実習	1	3	10427	企業実習	1	
3	8439	光エレクトロニクス	2	3	10428	光量子エレクトロニクス	2	
3	8441	電気音響工学	2	3	10430	電気音響工学	2	
3	8442	制御工学	2	3	10431	制御工学	2	
3	8447	高周波実験	2	3	10435	エレクトロニクス実験	2	
3	8448	エネルギー機器実験	2	3	10436	エネルギー機器実験	2	
3	8451	コンピュータネットワーク	2	3	10439	情報通信ネットワーク	2	
3	8452	ゼミナール	2	3	10443	ゼミナール	2	
4	8427	パワーエレクトロニクス	2	3	10419	パワーエレクトロニクス	2	
4	8431	電力応用	2	4	10422	電力応用	2	
4	8432	電気法規・施設管理	2	4	10423	電気法規及び施設管理	2	
4	8433	電波法及び電気通信事業法	2	4	10424	電波法及び電気通信事業法	2	
4	8440	電波電子応用	2	4	10429	電波電子応用	2	
4	8444	システム工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
4	8453	卒業研究	6	4	10444	卒業研究	6	
2	8901	FE経済分析	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8902	FE流体工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8903	FE静力学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8904	FE材料力学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8905	FE動力学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8906	FE熱力学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8907	FE冷凍・空調	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8908	FE材料科学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8909	FE電気電子工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8910	FE化学・生物	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8911	FEコンピュータ工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8912	FE数学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
		・・・・・・・・・・		3	10440	信号処理	2	新設科目につき代替履修できない
		・・・・・・・・・・		3	10441	組込みシステム	2	新設科目につき代替履修できない

修得単位チェック表

前学期と後学期のガイダンスで「合格表」を受け取り、卒業に必要となる単位の修得状況をチェックしてください。

I 修得単位チェック表（29年度カリキュラム）

ガイダンスで「合格表」を受け取り、卒業に必要となる単位の修得状況をチェックしてください。
（1～4年次生用）

単 位 修 得 状 況	科 目		卒 業 要 件		修得単位数	不足単位(修得単位-卒業要件)	
	教 科	養 育 目	必 修 科 目	4 単 位			12単位以上
選 択 科 目			8 単 位 以 上				
外 国 語 科	語 目	必 修 科 目	10単位	10単位以上			
		選 択 科 目					
体 育 科	目	必 修 科 目	2 単 位	2 単 位 以 上			
		選 択 科 目					
自 然 科 学 科	目	必 修 科 目	15単位	21単位以上			
		選 択 科 目	6 単 位 以 上				
専 門 教 育 科 目	専 門 共 通 科 目		10単位				
	必 修 科 目		26単位				
	電 子 情 報 通 信 コース	選 択 必 修 科 目	選 択 必 修 24 単 位 以 上 を 含 め て 34 単 位 以 上				
		選 択 科 目					
	電 気 エ ネ ル ギ ー コース	選 択 必 修 科 目	選 択 必 修 24 単 位 以 上 を 含 め て 34 単 位 以 上				
		選 択 科 目					
そ の 他	他 学 科 専 門 教 育 科 目 等						
	教 職 課 程 科 目 (教 科 に 関 す る 科 目)						
	臨 床 工 学 技 士 課 程 科 目						
	単 位 互 換 ・ 相 互 履 修 科 目						
合 計			125単位以上				

修得単位チェック表

前学期と後学期のガイダンスで「合格表」を受け取り、卒業に必要となる単位の修得状況をチェックしてください。

Ⅱ 修得単位チェック表（25年度カリキュラム）

ガイダンスで「合格表」を受け取り、卒業に必要となる単位の修得状況をチェックしてください。
（5～8年次生用）

科 目		卒 業 要 件		修得単位数	不足単位(修得単位-卒業要件)
教 養 科 目		10単位以上			
外 国 語 科 目	英 語	必 修	4 単 位	英語必修科目+英語選択科目を含めて10単位以上	
		選 択	3 単 位 以 上		
	選 択 科 目				
体 育 科 目	必 修 科 目	2 単 位	2 単 位 以 上		
	選 択 科 目				
基 礎 科 目	選 択 科 目				
自 然 科 学 科 目	必 修 科 目	14 単 位	14 単 位 以 上		
	選 択 科 目				
専 門 教 育 科 目	必 修 科 目	38 単 位			
	電 子 情 報 通 信 コース	選 択 必 修 科 目	選 択 必 修 32 単 位 以 上 を 含 め て 42 単 位 以 上		
		選 択 科 目			
	電 気 エ ネ ル ギ ー コース	選 択 必 修 科 目	選 択 必 修 32 単 位 以 上 を 含 め て 42 単 位 以 上		
選 択 科 目					
そ の 他	他 学 科 選 択 科 目 等				
	グ ロ ー バ ル エ ン ジ ニ ア 関 連 科 目				
	教 職 課 程 科 目 (教 科 に 関 す る 科 目)				
	臨 床 工 学 技 士 課 程 科 目				
	単 位 互 換 ・ 相 互 履 修 科 目				
合 計		126 単 位 以 上			

5 生命応用化学科

I 各学年共通事項

- 1 履修条件について（修得単位は年度始めで数える）
履修条件はカリキュラムにより違うため2～3頁を参照してください。
- 2 卒業研究の履修条件
卒業研究を履修するためには、4年次生（5年次生以上を含む）の学年始めに100単位以上を修得していなければなりません。また、3年次までに設置されている専門実験科目及びゼミナールを修得していること。
- 3 卒業見込証明書の発行条件
卒業見込証明書は、4年次生（5年次生以上を含む）の学年の始めに100単位以上を修得し、卒業研究を履修している学生又は修得した学生に対して発行します。
- 4 3年次生（平成29年度生）は「ゼミナール」を履修すること。
29年次生はゼミナールの単位を修得しないと次年度の卒業研究に着手できません。
- 5 「化学Ⅰ」、「化学Ⅱ」、「化学実験(化学実験及び演習)」を再履修する学生は、他学科の該当科目を再履修することは原則としてできません。生命応用化学科の該当科目を受講してください。
1年次前学期の「化学Ⅰ」、「化学Ⅱ」を不合格となった学生は、後学期の該当科目を受講してください。2年次生以上で再履修する学生は、前学期又は後学期の該当科目を履修することができますが、前学期の場合はいずれかひとつの履修を希望したとしても「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」の両方を履修しなければいけません。後学期の場合は不合格となった科目のみ履修することができます。
- 6 4年次生以上で、「生命応用化学入門」、「化学数学Ⅰ」を再履修する学生は、1年次時間割に設置されている「自主創造の基礎2」、「工科系数学Ⅳ」をそれぞれ履修してください。
- 7 5年次生以上で、「基礎の化学」、「化学情報処理入門」を再履修する学生は、4年次時間割に設置されている「基礎の化学B（集中講義）」、「化学情報処理入門B（集中講義）」をそれぞれ履修してください。
- 8 生命応用化学科では、学修・教育目標(A)～(I)を設定しており、学生は学修・教育目標を常に意識して真剣に学修に取り組むことが必要です。

① 生命応用化学科（25年度カリキュラム）

ア 教育目的

21世紀を切り開く持続可能な社会システムの実現に向け、生命・材料・環境等に広く関わる化学の応用分野の幅広い知識及び実験技術を修得し、高い倫理観と問題解決能力を有し、生命や環境に配慮した化学製品や医薬品などの開発・生産・普及活動及び環境保全・リサイクル活動等に従事・貢献できる応用化学・生命科学技術者、教員、公務員、研究者等を養成する。

イ 教育目標

生命応用化学科では、以下の教育目標(A)～(I)を掲げて上記教育目的を達成させます。

生命応用化学科の学修・教育目標(A)～(I)

(25年度カリキュラム)

(A)：グローバルな視野を身につける。

- ① 本学の教育理念に基づき、幅広い一般教養を身につけることにより、さまざまな文化・伝統・国家間の関係・諸国民の相互依存性を認識し、自分とは異なる見方・手法・発想を認める姿勢を身につける。
- ② 科学技術が人間社会にもたらしてきた功罪を認識し、冷静に評価する力を身につけ、人類の幸福に貢献すべき化学技術のあり方や、地球社会の中で化学技術者が果たす役割について考えることができる。
- ③ 基礎的な外国語読解能力、会話や文章作成力を身につける。

(B)：高い倫理観と環境保全に関する知識を身につける。

- ① 化学物質の有用性と危険性を説明できる。化学物質の取扱方法や保管に関する知識があり、関連する基本的な法規を理解している。
- ② 化学技術者としての職務上の社会的ルールと倫理規範を理解している。
- ③ 化学物質が環境に及ぼす影響と環境保全の意義を説明できる。また、化学物質の廃棄や処理方法を正しく理解している。

(C)：自然科学の基礎とITリテラシーを身につける。

- ① 化学、物理、数学等の自然科学の基礎を理解している。
- ② 化学・物理現象に関する基本的な実験技術を身につけている。それらの実験結果を説明できる。
- ③ 化学技術者に必要な基本ソフトの操作ができる。

(D)：応用化学及び関連する領域の問題解決能力を身につける。

- ① 工学の基礎となる有機化学、無機化学、物理化学、分析化学、生命化学、化学工学、応用数学、情報処理技術の基礎知識を身につけ、問題解決に利用できる。
- ② 種々の機能性化学材料や医学農薬・食品・バイオ材料などのバイオ関連産業生成物の開発・製造あるいは環境計測や環境に配慮した化学品製造・リサイクルプロセスの構築に必要な専門基礎知識及び専門知識を身につけ問題解決に利用できる。

(E)：デザイン能力を身につける。

- ① 研究テーマの経済性、安全性、信頼性、社会及び環境への影響等の背景について理解している。
- ② 与えられた問題を解決するために必要な実験とその実験手順、実験装置及び測定法等を適切にデザインできる。
- ③ 実験結果等を適切に解釈し、問題の解決に必要な対策をデザインできる。

(F)：基礎的な化学技術英語を身につける。

- ① 化学分野の基礎的学術用語を読み書きできる。
- ② 化学分野の英語文献を和訳し理解できる。

(G)：自主的・継続的に学修する力を身につける。

- ① 必要な知識と適切な情報源を選択して、調査報告することができる。
- ② 新しい技術や社会環境について、自主的かつ継続的に学修し、説明することができる。

(H)：コミュニケーション能力を身につける。

- ① 専門用語を含めて適切な言葉を選択し、文法的に適切な日本語でコミュニケーションできる。
- ② 論理的な記述の文章を作成することができる。
- ③ 適切な図や表を使いプレゼンテーションできる。
- ④ 相手の理解度を確認しながら論理的かつ分かりやすく討論できる。

(I)：チームワーク力を身につける。

- ① チーム内における自らの役割を認識し、期限内に任務を遂行できる。
- ② チーム構成員と協調して仕事を進めることができる。

ウ 系の特徴

化学は、持続可能な社会システムの構築に際して、環境保全や生命活動の維持に関わる重要な材料などの生産及び生命や環境に配慮したそれらの活用に深く関わっています。生命応用化学科では、その基盤となる知識や実験技術を幅広く修得するために、次に示す3つの系の履修モデルを用意して、系統的な学修ができるように配慮しています。学生はそれぞれの履修モデルを基本に、各自の関心や将来の希望に応じた科目を選択して履修することにより、化学とその応用を学びます。

(1) 応用化学系

未来の私たちの豊かで便利な生活は、より機能的で人に優しい、新しい化学物質から材料を創製することによって成し遂げられます。また、現代社会においては、化学物質を生命や環境に配慮して生産・活用することが求められています。この履修モデルでは、ポリマーやセラミックス、医薬品、触媒、香料、薄膜、光電子材料等の機能性材料を生命や環境に配慮しながら開発するために必要な知識と実験技術を学びます。

(2) 環境化学系

現代社会においては、数知れない化学物質が地球上に広まり、持続可能な社会システムを実現するために、環境問題は私たちの生活にとって重要な問題です。また、化学物質を造り出すプロセスや化学物質が環境に及ぼす影響を良く理解しなければ、環境に優しい物質を創り出すことはできません。この履修モデルでは、環境汚染物質の処理と評価分析のプロセスを構築し、地球に優しい産業プロセスの創製を考えるために必要な知識と実験技術を学びます。

(3) 生命化学系

近年、生命現象を対象とした科学は急速な発展を遂げ、その成果は新しい学問領域の創出にとどまらず、バイオ産業分野への展開も顕著になっています。なかでも、化学を基盤として生命現象を解明し、医学や環境、工学への応用を行う生命化学の重要性が高まっています。この履修モデルでは、生命化学の応用分野である医薬品、農薬、食品、バイオ材料等の開発に必要な知識と実験技術を中心に学びます。

② 生命応用化学科（29年度カリキュラム）

ア 教育目的

21世紀を切り開く持続可能な社会システムの実現を目指し、生命・材料・環境等に関わる化学の応用分野の幅広い知識及び実験技術を修得し、高い倫理観と問題解決能力を有する人材を育成することで、生命や環境に配慮した化学製品や医薬品などの開発・生産・普及活動及び環境保全・リサイクル活動等に従事・貢献できる応用化学・環境化学・生命化学の技術者、教員、公務員、研究者等を養成する。

イ 教育目標

生命応用化学科では、以下の教育目標(A)～(I)を掲げて上記教育目的を達成させます。

生命応用化学科の学修・教育目標(A)～(I)

(29年度カリキュラム)

(A) グローバルな視野を身につける。

- ① 本学の教育理念に基づき、幅広い一般教養を身につけることにより、さまざまな文化・伝統・国家間の関係・諸国民の相互依存性を認識し、自分とは異なる見方・手法・発想を認める姿勢を身につける。
- ② 科学技術が人間社会にもたらしてきた功罪を認識し、冷静に評価する力を身につけ、人類の幸福に貢献すべき化学技術のあり方や、地球社会の中で化学技術者が果たす役割について考えることができる。
- ③ 基礎的な外国語読解能力、会話や文章作成力を身につける。

(B) 高い倫理観と環境保全に関する知識を身につける。

- ① 化学物質の有用性と危険性を説明できる。化学物質の取扱方法や保管に関する知識があり、関連する基本的な法規を理解している。
- ② 化学技術者としての職務上の社会的ルールと倫理規範を理解している。
- ③ 化学物質が環境に及ぼす影響と環境保全の意義を説明できる。また、化学物質の廃棄や処理方法を正しく理解している。

(C) 自然科学の基礎とITリテラシーを身につける。

- ① 化学、物理、数学等の自然科学の基礎を理解している。
- ② 化学・物理現象に関する基本的な実験技術を身につけている。それらの実験結果を説明できる。
- ③ 化学技術者に必要な基本ソフトの操作ができる。

(D) 応用化学及び関連する領域の問題解決能力を身につける。

- ① 工学の基礎となる有機化学，無機化学，物理化学，分析化学，生命化学，化学工学，応用数学，情報処理技術の基礎知識を身につけ，問題解決に利用できる。
- ② 種々の機能性化学材料や医薬・農薬・食品・バイオ材料などのバイオ関連産業生成物の開発・製造あるいは環境計測や環境に配慮した化学品製造・リサイクルプロセスの構築に必要な専門基礎知識及び専門知識を身につけ，問題解決に利用できる。

(E) デザイン能力を身につける。

- ① 研究テーマの経済性，安全性，信頼性，社会及び環境への影響等の背景について理解している。
- ② 与えられた問題を解決するために必要な実験とその実験手順，実験装置及び測定法等を適切にデザインできる。
- ③ 実験結果等を適切に解釈し，問題の解決に必要な対策をデザインできる。

(F) 基礎的な化学技術英語を身につける。

- ① 化学分野の基礎的学術用語を読み書きできる。
- ② 化学分野の英語文献を和訳し理解できる。

(G) 自主的・継続的に学修する能力を身につける。

- ① 必要な知識と適切な情報源を選択して，調査報告することができる。
- ② 新しい技術や社会環境について，自主的かつ継続的に学修し，説明することができる。

(H) コミュニケーション能力を身につける。

- ① 専門用語を含めて適切な言葉を選択し，文法的に適切な日本語でコミュニケーションできる。
- ② 論理的な記述の文章を作成することができる。
- ③ 適切な図や表を使いプレゼンテーションできる。
- ④ 相手の理解度を確認しながら論理的かつ分かりやすく討論できる。

(I) チームワーク力を身につける。

- ① チーム内における自らの役割を認識し，期限内に任務を遂行できる。
- ② チーム構成員と協調して仕事を進めることができる。

ウ 系の特徴

化学は，持続可能な社会システムの構築に際して，環境保全や生命活動の維持に関わる重要な材料などの生産及び生命や環境に配慮したそれらの活用に深く関わっています。生命応用化学科では，その基盤となる知識や実験技術を幅広く修得するために，次に示す3つの系の履修モデルを用意して，系統的な学修ができるように配慮しています。学生はそれぞれの履修モデルを基本に，各自の関心や将来の希望に応じた科目を選択して履修することにより，化学とその応用を学びます。

(1) 応用化学系

未来の私たちの豊かで便利な生活は、より機能的で人に優しい、新しい化学物質から材料を創製することによって成し遂げられます。また、現代社会においては、化学物質を生命や環境に配慮して生産・活用することが求められています。この履修モデルでは、ポリマーやセラミックス、医薬品、触媒、香料、薄膜、光電子材料等の機能性材料を生命や環境に配慮しながら開発するために必要な知識と実験技術を学びます。

(2) 環境化学系

現代社会においては、数知れない化学物質が地球上に広まり、持続可能な社会システムを実現するために、環境問題は私たちの生活にとって重要な問題です。また、化学物質を造り出すプロセスや化学物質が環境に及ぼす影響を良く理解しなければ、環境に優しい物質を造り出すことはできません。この履修モデルでは、環境汚染物質の処理と評価分析のプロセスを構築し、地球に優しい産業プロセスの創製を考えるために必要な知識と実験技術を学びます。

(3) 生命化学系

近年、生命現象を対象とした科学は急速な発展を遂げ、その成果は新しい学問領域の創出にとどまらず、バイオ産業分野への展開も顕著になっています。なかでも、化学を基盤として生命現象を解明し、医学や環境、工学への応用を行う生命化学の重要性が高まっています。この履修モデルでは、生命化学の応用分野である医薬品、農薬、食品、バイオ材料等の開発に必要な知識と実験技術を中心に学びます。

29年度カリキュラム 専門教育科目における系別履修モデル

設置 学年	学期	科目名	単位	応用化学系	環境化学系	生命化学系
1	前	生命化学Ⅰ	2	●	●	●
1	後	生命化学Ⅱ	2	●	●	●
1	後	無機化学Ⅰ	2	●	●	●
1	後	有機化学Ⅰ	2	●	●	●
1	後	化学工学Ⅰ	2	●	●	●
2	前	分析化学	2	●	●	●
2	前	物理化学	2	●	●	●
2	前	無機化学Ⅱ	2	●	●	●
2	前	有機化学Ⅱ	2	●	●	●
2	前	化学工学Ⅱ	2	●	●	●
2	前	生命応用化学実験及び演習Ⅰ	2	●	●	●
2	前	量子化学	2	○	○	○
2	前	分子生物学	2	○	○	○
2	後	機器分析化学	2	○	○	○
2	後	有機材料化学	2	○	○	○
2	後	無機反応化学	2	○	○	○
2	後	化学統計学	2	○	○	○
2	後	化学熱力学	2	○	○	○
2	後	化学情報処理	2	○	○	○
2	後	有機合成化学	2	○	○	○
2	後	生体物質化学Ⅰ	2	○	○	○
2	後	生命応用化学実験及び演習Ⅱ	2	●	●	●
2	後	生命応用化学実験及び演習Ⅲ	2	●	●	●
3	前	分子構造解析	2	○	○	○
3	前	環境科学	2	○	○	○
3	前	環境プロセス	2	○	○	○
3	前	環境分析化学	2	○	○	○
3	前	応用熱力学	2	○	○	○
3	前	バイオインフォマティクス	2	○	○	○
3	前	細胞生物学	2	○	○	○
3	前	応用熱力学	2	○	○	○
3	前	高分子合成化学	2	○	○	○
3	前	生体物質化学Ⅱ	2	○	○	○
3	前	無機材料化学	2	○	○	○
3	前	物性化学	2	○	○	○
3	前	ケミカルバイオロジー	2	○	○	○
3	前	技術者倫理	2	●	●	●
3	前	生命応用化学実験及び演習Ⅳ	2	●	●	●
3	前	生命応用化学実験及び演習Ⅴ	2	●	●	●
3	後	先端生命工学	2	○	○	○
3	後	有機工業化学	2	○	○	○
3	後	高分子材料	2	○	○	○
3	後	光機能化学	2	○	○	○
3	後	生物反応工学	2	○	○	○
3	後	生命無機化学	2	○	○	○
3	後	分離工学	2	○	○	○
3	前	電気化学	2	○	○	○
3	後	ゼミナール	2	●	●	●
3	後	生命応用化学実験及び演習Ⅵ (卒業研究準備実験及び演習)	2	●	●	●
4	後	技術英語	1	○	○	○
4	通年	卒業研究	6	●	●	●

●：必修科目

○：系が強く履修を推奨する選択科目

○：領域を広げる選択科目

技術英語は全員履修すること。

9 平成29年度カリキュラム（1～4年次生）の卒業に必要な専門科目の必修科目は以下のとおりです。下の表で（ ）内の数字は単位数，[]内の数字は設置学年を意味します。

必修科目	生命化学Ⅰ	(2)	[1]
	生命化学Ⅱ	(2)	[1]
	無機化学Ⅰ	(2)	[1]
	有機化学Ⅰ	(2)	[1]
	化学工学Ⅰ	(2)	[1]
	分析化学	(2)	[2]
	物理化学	(2)	[2]
	無機化学Ⅱ	(2)	[2]
	有機化学Ⅱ	(2)	[2]
	化学工学Ⅱ	(2)	[2]
	生命応用化学実験及び演習Ⅰ	(2)	[2]
	生命応用化学実験及び演習Ⅱ	(2)	[2]
	生命応用化学実験及び演習Ⅲ	(2)	[2]
	生命応用化学実験及び演習Ⅳ	(2)	[3]
	生命応用化学実験及び演習Ⅴ	(2)	[3]
	生命応用化学実験及び演習Ⅵ	(2)	[3]
	ゼミナール	(2)	[3]
	技術者倫理	(2)	[3]
	卒業研究	(6)	[4]
19科目42単位			

ただし、4年次開講の技術英語（1単位）は全員履修すること。

10 平成25年度カリキュラム（5～8年次生）の卒業に必要な専門科目の必修科目は以下のとおりです。下の表で（ ）内の数字は単位数，[]内の数字は設置学年を意味します。

必 修 科 目	生命応用化学入門	(2)	[1]
	化学情報処理入門	(2)	[1]
	無機化学Ⅰ	(2)	[1]
	有機化学Ⅰ	(2)	[1]
	生命化学Ⅰ	(2)	[1]
	化学数学Ⅰ	(2)	[1]
	無機化学Ⅱ	(2)	[2]
	有機化学Ⅱ	(2)	[2]
	生命化学Ⅱ	(2)	[2]
	分析化学	(2)	[2]
	物理化学	(2)	[2]
	化学工学Ⅰ	(2)	[2]
	生命応用化学実験及び演習Ⅰ	(2)	[2]
	生命応用化学実験及び演習Ⅱ	(2)	[2]
	生命応用化学実験及び演習Ⅲ	(2)	[2]
	生命応用化学実験及び演習Ⅳ	(2)	[3]
	生命応用化学実験及び演習Ⅴ	(2)	[3]
	生命応用化学実験及び演習Ⅵ	(2)	[3]
	化学技術者倫理	(2)	[3]
	化学技術英語	(1)	[4]
卒業研究	(6)	[4]	
21科目45単位			

II 2年次生

- 1 「生命応用化学実験及び演習Ⅰ」, 「生命応用化学実験及び演習Ⅱ」及び「生命応用化学実験及び演習Ⅲ」を履修する場合は, 同一年度に受講しなければなりません。
- 2 3年次生以上の授業時間割表に設置されている授業科目は履修できません。

III 3年次生

- 1 「生命応用化学実験及び演習Ⅳ～Ⅵ」を履修する場合は, 同一年度に同時に履修してください。
- 2 「ゼミナール」を履修してください。

IV 4年次生（5年次生以上を含む）

- 1 「技術英語」と「卒業研究」は, 同一年度に同時に履修し, 両授業科目とも同じ指導教員のもとで学ばなければなりません。
- 2 「卒業研究」の履修者（全員）は, 卒業研究発表会で研究の成果を発表し, 卒業研究論文を提出しなければなりません。
- 3 就職のための推薦状（学部長名）は, 卒業見込証明書発行の条件が満たされた学生に発行されます。

別 表

	卒業研究担当室名と研究内容	担当者
環境分析化学	(環境化学計測, 地球環境化学, リサイクル化学, 電気化学, 無機分析化学, 資源環境化学)	佐藤(健)・小林(以)・佐藤(公)
無機材料化学	(高温セラミックス材料, 材料組織制御, 耐環境皮膜)	上野(俊吉)
有機材料化学	(有機合成化学, 高分子合成化学)	根本・市川
分子認識工学	(分子認識材料, 分子認識触媒)	玉井
生命分子工学	(生命化学, 生物科学)	春木
ナノバイオ	(核酸化学, 生物有機化学)	齋藤(義)
生体材料工学	(バイオマテリアル・コロイド化学)	石原
光物理化学	(レーザー分子分光学, 新規分光法開発, 環境放射能測定)	奥山
環境化学工学	(化学工学熱力学, 地球環境工学, 超臨界流体技術)	児玉
環境システム	(環境リサイクル高圧技術, 環境汚染物資処理技術, 廃棄物処理工学)	田中(裕)
分子遺伝学	(細胞周期・細胞内シグナル伝達の制御機構の解明)	岸
生体無機化学	(無機生体材料, 複合材料)	内野
バイオインフォマティクス	(計算化学, 構造生物学, in silico創薬, 量子化学)	山岸(賢)
光エネルギー変換	(反応物理化学, 光化学)	加藤
環境照射化学	(環境リサイクルプロセス, レーザ分析化学)	沼田
酵素学	(蛋白質工学, 合成生物学)	平野(展)
糖質生命化学	(糖質生命化学, 糖鎖工学)	小林(厚)

カリキュラム変更による授業科目対応表（5～8年次生用）

25年度カリキュラム (5～8年次生)				29年度カリキュラム (1～4年次生)				備 考
設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	
1	8502	生命応用化学入門	2	1	10006	自主創造の基礎 2	2	4年次開講の「化学情報処理入門B(集中講義)」を履修する
1	8503	化学情報処理入門	2			・・・・・・・・・・		
1	8507	無機化学Ⅰ	2	1	10505	無機化学Ⅰ	2	
1	8511	有機化学Ⅰ	2	1	10509	有機化学Ⅰ	2	
1	8517	生命化学Ⅰ	2	1	10514	生命化学Ⅰ	2	
1	8535	化学数学Ⅰ	2	1	10047	工科系数学Ⅳ	2	
2	8504	環境科学	2	3	10502	環境科学	2	
2	8505	分析化学	2	2	10503	分析化学	2	
2	8508	無機化学Ⅱ	2	2	10506	無機化学Ⅱ	2	
2	8509	物理化学	2	2	10507	物理化学	2	
2	8510	量子化学	2	2	10508	量子化学	2	
2	8512	有機化学Ⅱ	2	2	10510	有機化学Ⅱ	2	
2	8513	化学工学Ⅰ	2	1	10511	化学工学Ⅰ	2	
2	8514	化学工学Ⅱ	2	2	10512	化学工学Ⅱ	2	
2	8515	基礎固体化学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8516	固体化学	2	2	10513	無機反応化学	2	
2	8518	生命化学Ⅱ	2	1	10515	生命化学Ⅱ	2	
2	8519	生命応用化学実験及び演習Ⅰ	2	2	10516	生命応用化学実験及び演習Ⅰ	2	
2	8520	生命応用化学実験及び演習Ⅱ	2	2	10517	生命応用化学実験及び演習Ⅱ	2	
2	8521	生命応用化学実験及び演習Ⅲ	2	2	10518	生命応用化学実験及び演習Ⅲ	2	
2	8525	環境化学計測	2	2	10522	機器分析化学	2	
2	8529	有機合成化学	2	2	10526	有機合成化学	2	
2	8536	化学数学Ⅱ	2	2	10051	工科系数学Ⅴ	2	
2	8537	化学統計学	2	2	10532	化学統計学	2	
2	8538	化学熱力学	2	2	10533	化学熱力学	2	
2	8541	生体物質化学Ⅰ	2	2	10536	生体物質化学Ⅰ	2	
2	8545	有機材料化学	2	2	10540	有機材料化学	2	
3	8501	化学・バイオ産業セミナー	2	3	10548	ゼミナール	2	
3	8506	無機分析化学	2	3	10504	環境分析化学	2	
3	8522	生命応用化学実験及び演習Ⅳ	2	3	10519	生命応用化学実験及び演習Ⅳ	2	
3	8523	生命応用化学実験及び演習Ⅴ	2	3	10520	生命応用化学実験及び演習Ⅴ	2	
3	8524	生命応用化学実験及び演習Ⅵ	2	3	10521	生命応用化学実験及び演習Ⅵ	2	
3	8526	分子構造解析	2	3	10523	分子構造解析	2	
3	8527	応用無機化学	2	3	10524	生命無機化学	2	
3	8528	有機工業化学	2	3	10525	有機工業化学	2	
3	8530	光機能化学	2	3	10527	光機能化学	2	
3	8531	応用熱力学	2	3	10528	応用熱力学	2	
3	8532	環境プロセス	2	3	10529	環境プロセス	2	
3	8533	化学情報処理Ⅰ	2	2	10530	化学情報処理	2	
3	8534	化学情報処理Ⅱ	2	3	10531	バイオインフォマティクス	2	
3	8539	物性化学	2	3	10534	物性化学	2	
3	8540	電気化学	2	3	10535	電気化学	2	
3	8542	生体物質化学Ⅱ	2	3	10537	生体物質化学Ⅱ	2	
3	8543	生物反応工学	2	3	10538	生物反応工学	2	
3	8544	細胞生物学	2	3	10539	細胞生物学	2	
3	8546	高分子合成化学	2	3	10541	高分子合成化学	2	
3	8547	セラミックス材料	2	3	10542	無機材料化学	2	
3	8548	高分子材料	2	3	10543	高分子材料	2	
3	8549	資源環境化学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8550	化学安全工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8551	分離工学	2	3	10544	分離工学	2	
3	8552	火薬学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8554	化学技術者倫理	2	3	10547	技術者倫理	2	
3	8555	分子生物学	2	2	10545	分子生物学	2	
3	8556	ケミカルバイオロジー	2	3	10546	ケミカルバイオロジー	2	
4	8553	化学技術英語	1	4	10031	技術英語	1	
4	8557	卒業研究	6	4	10549	卒業研究	6	
2	8901	FE経済分析	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8902	FE流体工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8903	FE静力学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8904	FE材料力学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8905	FE動力学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8906	FE熱力学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
3	8907	FE冷凍・空調	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8908	FE材料科学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8909	FE電気電子工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8910	FE化学・生物	2			・・・・・・・・・・		開講しない
2	8911	FEコンピュータ工学	2			・・・・・・・・・・		開講しない
		・・・・・・・・・・		3	10501	先端生命工学	2	新設科目につき代替履修はできない

生命応用化学科

修得単位チェック表

I 修得単位チェック表 (29年度カリキュラム)

(1～4年次生用)

科目区分		必要単位数	修得単位数	修得単位数-必要単位数	不足単位数
教養科目	必修	4単位			
	選択	8単位以上			
外国語科目	必修	10単位			
	選択	1単位			
体育科目	必修	2単位			
	選択				
自然科学科目	必修	15単位			
	選択	4単位以上			
専門教育科目	共通	10単位			
	必修	32単位			
	選択	38単位以上			
他学科専門教育科目					
単位互換・相互履修科目					
合 計		126単位以上			

修得単位-卒業単位が0または正の値の場合、不足単位は0です。その値が負の値の場合、まだ修得しなければならない単位があることを示しています。不足単位はその絶対値です。

例えば教養科目(選択)を6単位修得している場合

$$6 \text{ 単位} - 8 \text{ 単位} = -2 \text{ 単位}$$

よって不足単位は2となります。

修得単位チェック表

II 修得単位チェック表 (25年度カリキュラム)

(5～8年次生用)

科目区分		必要単位数	修得単位数	修得単位数-必要単位数	不足単位数
教養科目		10単位以上			
外国語	英語	必修	4単位		
		選択	3単位以上		
	その他の語学	選択			
語学合計		10単位以上			
体育	体育スポーツI・II	必修	2単位		
	健康スポーツ概論	選択			
基礎科目	基礎の化学	必修	2単位		
		選択			
自然科学科目	必修	10単位			
	選択	4単位以上			
専門教育科目	必修	45単位			
	選択	35単位以上			
他学科専門教育科目					
単位互換・相互履修科目					
合 計		126単位以上			

修得単位-卒業単位が0または正の値の場合、不足単位は0です。その値が負の値の場合、まだ修得しなければならない単位があることを示しています。不足単位はその絶対値です。

例えば教養科目を8単位修得している場合

$$8 \text{ 単位} - 10 \text{ 単位} = -2 \text{ 単位}$$

よって不足単位は2となります。

6 情報工学科

I 各学年共通事項

- 1 上級学年に設置されている授業科目は履修できません。
- 2 当該科目の履修に先立ち単位を修得していなければならない科目又は履修しておくことが望ましい科目があるので、シラバス（個人ポータルサイト上）の履修条件の内容を確認してください。
- 3 履修を制限する科目に関する注意事項
 - ① 「プログラミングの基礎及び演習」を履修するためには、「プログラミング入門及び演習」の単位を修得していなければなりません。
 - ② 「データ構造入門及び演習」を履修するためには、「プログラミングの基礎及び演習」の単位を修得していなければなりません。
 - ③ 「WWWとJavaプログラミング及び演習」を履修するためには、「データ構造入門及び演習」の単位を修得していなければなりません。
 - ④ 「大規模ソフトウェア開発法及び演習」を履修するためには、「WWWとJavaプログラミング及び演習」の単位を修得していなければなりません。
 - ⑤ 「データ構造とプログラミング及び演習」を履修するためには、「WWWとJavaプログラミング及び演習」の単位を修得していなければなりません。
 - ⑥ 「コンパイラ及び演習」を履修するためには、「データ構造入門及び演習」の単位を修得していなければなりません。
 - ⑦ 「画像情報処理及び演習」を履修するためには、「プログラミングの基礎及び演習」の単位を修得していなければなりません。
 - ⑧ 選択必修①の3科目「ネットワーク管理技術及び演習」,「コンピュータビジョン及び演習」及び「デジタル形状処理及び演習」では、履修者数のバランスを考慮して履修を制限する場合があります。その場合、「ネットワーク管理技術及び演習」では情報システムコース,「コンピュータビジョン及び演習」と「デジタル形状処理及び演習」では情報デザインコースの学生の履修を優先します。
 - ⑨ 選択必修②の「情報工学応用演習Ⅰ」を履修する時は、組み込みシステム開発あるいはコンピュータグラフィックスのいずれかの分野を選択して履修してください。同様に、「情報工学応用演習Ⅱ」を履修する時は、データベースあるいは人工知能のいずれかの分野を選択して履修してください。ただし、5年次生以上は、「情報工学応用Ⅰ」では組み込みシステム開発分野,「情報工学応用演習Ⅱ」ではデータベース分野に限り履修することができます。なお、これらの科目では、履修者数のバランスを考慮して履修を制限する場合があります。また、その他の履修上の注意をガイダンス時に指示します。
 - ⑩ 「ゼミナール」を履修登録するためには、以下に示すいずれかの条件を満たしていなければ

なりません。また、その他の履修上の注意をガイダンス時に指示します。

- (a) 本年度の学年始めにおいて、3年次生及び4年次生の場合には52単位以上を、5年次生以上の場合には51単位以上を修得している。
 - (b) 前年度の年間GPAが2.0以上であり、本年度の学年始めにおいて、40単位以上を修得している。
- ⑩ 「卒業研究」を履修するためには、4年次生（5年次以上も含む）の学年始めに100単位以上を修得していなければなりません。また、その学年で卒業に必要な授業科目を履修できることが必要です。
- 4 「プログラミング入門及び演習」, 「プログラミングの基礎及び演習」, 「データ構造入門及び演習」のクラス編成は、学期始めに61号館1階掲示板に掲示、あるいはガイダンス時に指示します。
- 5 3年次生以上で「WWWとJavaプログラミング及び演習」を履修する時は、3年次に設置してある講義と演習を履修してください。
- 6 資格取得のためには他学科に設置されている科目の修得が必要な場合がありますので、資格取得希望者は、学部要覧を参照して履修してください。
- 7 自分の将来の進路を考え、授業科目を選択してください。3年次生までは各学年毎に年間40単位を修得目標として、履修科目の内容を深く修得するように努力してください。自分の進路を考え、選択すべき授業科目は各学年のクラス担任と相談してください。
- 8 各クラスの担任は下表のとおりです。

学 年	担 任 氏 名
2 年	岩 井 俊 哉, 田 中 宏 卓
3 年	若 林 裕 之, 和 泉 勇 治
4 年	源 田 浩 一, 関 澤 俊 弦
5年以上	宮 村 倫 司

II コースについて

情報工学科には、下記の2つのコースが設定されています。卒業に必要な科目はコースごとに異なりますので、各自の関心や希望に応じて計画的に履修してください。

- (1) 情報システムコース
- (2) 情報デザインコース

なお、各コースの詳細は「学部要覧」に記載されていますので参照してください。

III 1年次生

前学期「プログラミング入門及び演習」の単位が修得できなかった時は、後学期「プログラミング入門及び演習」を履修してください。

IV 2年次生

- 1 1年次「プログラミングの基礎及び演習」の単位が修得できなかった時は、前学期「プログラミングの基礎及び演習」を履修してください。
- 2 前学期「プログラミングの基礎及び演習」の単位が修得できなかった時は、1年次後学期に設置してある「プログラミングの基礎及び演習」を履修してください。
- 3 前学期「データ構造入門及び演習」の単位が修得できなかった時は、後学期「データ構造入門及び演習」を履修してください。
- 4 前学期「確率統計及び演習」,「工科系数学Ⅵ」及び「工科系数学Ⅶ」の単位が修得できなかった時は、後学期「確率統計及び演習」,「工科系数学Ⅵ」,「工科系数学Ⅶ」を履修してください。

V 3年次生

- 1 2年次「データベース工学」の単位が修得できなかった時は、3年次前学期に設置してある「データベース工学」を履修してください。

VI 4年次生

- 1 卒業見込証明書は、4年次生の学年始めに100単位以上修得の学生に対して発行します。

VII 5年次生以上

- 1 卒業見込証明書は、の学年始めに100単位以上修得の学生に対して発行します。
- 2 「論理回路」,「論理回路演習」の単位を修得するためには、後述のカリキュラム変更による授業科目対応表を参照してください。

カリキュラム変更による授業科目対応表（5～8年次生用）

25年度カリキュラム (5～8年次生)				29年度カリキュラム (1～4年次生)				備 考
設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	設置 学年	科目 コード	授 業 科 目 名	単 位	
1	8601	コンピュータ入門及び演習	3	1	10601	コンピュータ入門及び演習	3	
1	8602	プログラミング入門及び演習	3	1	10602	プログラミング入門及び演習	3	
1	8603	プログラミングの基礎及び演習	3	1	10603	プログラミングの基礎及び演習	3	
1	8605	線形代数	2	1	10048	工科系数学Ⅳ	2	
1	8606	線形代数演習	1	1	10052	工科系数学Ⅴ	2	
1	8616	コンピュータアーキテクチャ入門	2	1	10612	コンピュータアーキテクチャ入門	2	
2	8604	データ構造入門及び演習	3	2	10604	データ構造入門及び演習	3	
2	8607	離散数学及び演習	3	2	10055	工科系数学Ⅵ	2	
2	8608	確率統計及び演習	3	2	10057	工科系数学Ⅶ	2	
2	8611	情報理論	2	2	10605	確率統計及び演習	3	
2	8614	論理回路	2	2	10608	情報理論	2	
2	8615	論理回路演習	1	2	10611	論理回路及び演習	3	論理回路及び演習（講義）を履修する 論理回路及び演習（演習）を履修する
2	8617	コンピュータアーキテクチャⅠ	2	2	10613	コンピュータアーキテクチャⅠ	2	
2	8618	コンピュータアーキテクチャⅡ	2	2	10614	コンピュータアーキテクチャⅡ	2	
2	8620	データベース工学	2	2	10616	データベース工学	2	
2	8621	WWWとJavaプログラミング及び演習	3	2	10617	WWWとJavaプログラミング及び演習	3	
2	8623	基礎オペレーティングシステム	2	2	10619	基礎オペレーティングシステム	2	
2	8629	符号とセキュリティ	2	2	10625	符号とセキュリティ	2	
2	8636	画像情報処理及び演習	3	2	10631	画像情報処理及び演習	3	
2	8642	情報社会と技術者倫理	2	3	10646	技術者倫理	2	
2	8643	情報と職業	2	2	10635	情報と職業	2	
2	8644	コミュニケーションスキル	2	2	10636	コミュニケーションスキル	2	
2	8646	情報処理演習Ⅰ	1	3	10638	情報処理演習Ⅰ	1	
2	8652	Webコンテンツ及び演習	3	2	10643	Webコンテンツ及び演習	3	
3	8609	数値解析法	2	3	10606	数値解析法	2	
3	8610	数値解析法演習	1	3	10607	数値解析法演習	1	
3	8612	アルゴリズム論	2	3	10609	アルゴリズム論	2	
3	8613	オートマトンと言語及び演習	3	3	10610	オートマトンと言語及び演習	3	
3	8619	ソフトウェア設計法及び演習	3	3	10615	ソフトウェア設計法及び演習	3	
3	8622	コンパイル及び演習	3	3	10618	コンパイル及び演習	3	
3	8624	高度オペレーティングシステム	2	3	10620	高度オペレーティングシステム	2	
3	8625	データ構造とプログラミング及び演習	3	3	10621	データ構造とプログラミング及び演習	3	
3	8626	プログラミング言語	2	3	10622	プログラミング言語	2	
3	8627	大規模ソフトウェア開発法及び演習	3	3	10623	大規模ソフトウェア開発法及び演習	3	
3	8628	情報ネットワーク	2	3	10624	情報ネットワーク	2	
3	8630	コンピュータネットワーク	2	3	10626	コンピュータネットワーク	2	
3	8631	ネットワーク管理技術及び演習	3	3	10627	ネットワーク管理技術及び演習	3	
3	8632	人工知能	2	3	10628	人工知能Ⅰ	2	
3	8633	知能情報処理	2	3	10629	人工知能Ⅱ	2	
3	8634	情報マネジメント	2	3	10630	情報マネジメント	2	
3	8635	生産情報システム工学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8637	コンピュータビジョン及び演習	3	3	10632	コンピュータビジョン及び演習	3	
3	8638	コンピュータグラフィックス	2	3	10633	コンピュータグラフィックス	2	
3	8640	マルチメディア	2	3	10634	マルチメディア	2	
3	8641	オペレーションズリサーチ	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8645	ヒューマンインターフェースと音声	2	3	10637	ヒューマンインターフェースと音声	2	
3	8647	情報処理演習Ⅱ	1	3	10639	情報処理演習Ⅱ	1	
3	8648	企業実習	1	3	10640	企業実習	1	
3	8650	デザインと感性及び演習	3	3	10641	デジタル形状処理及び演習	3	
3	8651	環境と情報	2	3	10642	環境と情報	2	
3	8655	情報工学ゼミナール	2	3	10647	ゼミナール	2	
4	8639	コンピュータグラフィックス演習	1			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
4	8653	組み込みシステム演習	1	4	10644	情報工学応用演習Ⅰ	1	
4	8649	知能情報処理演習	1			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
4	8654	データベース開発演習	1	4	10645	情報工学応用演習Ⅱ	1	
4	8656	卒業研究	6	4	10648	卒業研究	6	
2	8901	FE経済分析	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8902	FE流体工学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8903	FE静力学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8904	FE材料力学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8905	FE動力学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8906	FE熱力学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
3	8907	FE冷凍・空調	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
2	8908	FE材料科学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
2	8909	FE電気電子工学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
2	8910	FE化学・生物	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
2	8911	FEコンピュータ工学	2			・・・・・・・・・・・・・・・・		開講しない
				1	10007	自主創造の基礎2	2	新設科目につき代替履修できない
				4	10032	技術英語	1	新設科目につき代替履修できない

修得単位チェック表

合格表に記載された修得単位数を以下の修得単位チェック表に記入して卒業に必要な単位数を確認してください。

I 修得単位チェック表 (29年度カリキュラム)

(1) 情報システムコース

(1～4年次生用)

科目区分		卒業要件	修得単位数 (合格表の値)	チェック用の値	備考
教養科目	必修科目	4単位以上	A 1	B 1 = A 1 - 4	
	選択科目	8単位	A 2	B 2 = A 2 - 8	
外国語科目	必修科目	10単位	A 3	B 3 = A 3 - 10	
	選択科目		A 4	B 4 = A 4	
体育科目	必修科目	2単位	A 5	B 5 = A 5 - 2	
	選択科目		A 6	B 6 = A 6	
自然科学科目	必修科目	21単位	A 7	B 7 = A 7 - 21	
	選択科目		A 8	B 8 = A 8	
専門教育科目	専門共通科目	10単位	A 9	B 9 = A 9 - 10	
	必修科目	32単位	A 10	B 10 = A 10 - 32	
	選択必修科目①	3単位以上	A 11	B 11 = A 11 - 3	
	選択必修科目②	1単位以上	A 12	B 12 = A 12 - 1	
	選択必修科目③ (コース選択必修科目)	25単位以上	A 13	B 13 = A 13 - 25	
	選 択 科 目		A 14	B 14 = C 1 - 74	C 1 = A 9 + A 10 + A 11 + A 12 + A 13 + A 14
他学科専門教育科目等			A 15	B 15 = A 15	
教職課程科目(教科に関する科目)			A 16	B 16 = A 16	
単位互換・相互履修科目			A 17	B 17 = A 17	
修得単位合計		128単位以上	A 18	B 18 = A 18 - 128	A 18はA 1～A 17の合計
<p>〈チェックの手順〉</p> <p>「修得単位数」欄のA 1～A 17に、ガイダンス時に配布された合格表から、合格した科目の合計単位数を転記する。</p> <p>A 1～A 17の値の合計をA 18に記入する。</p> <p>「チェック用の値」欄に示した式に従ってB 1～B 18の値を計算する。</p> <p>B 1～B 18の値の中に負の値があるときは卒業単位不足である。</p> <p>A 18が100単位未満のときには卒業研究に着手できない。</p> <p>A 18が128単位未満であるときは卒業単位不足である。</p>					

(2) 情報デザインコース

(1～4年次生用)

科目区分		卒業要件	修得単位数 (合格表の値)	チェック用の値	備考
教養科目	必修科目	4単位以上	A 1	$B 1 = A 1 - 4$	
	選択科目	8単位	A 2	$B 2 = A 2 - 8$	
外国語科目	必修科目	10単位	A 3	$B 3 = A 3 - 10$	
	選択科目		A 4	$B 4 = A 4$	
体育科目	必修科目	2単位	A 5	$B 5 = A 5 - 2$	
	選択科目		A 6	$B 6 = A 6$	
自然科学科目	必修科目	21単位	A 7	$B 7 = A 7 - 21$	
	選択科目		A 8	$B 8 = A 8$	
専門 教育 科目	専門共通科目	10単位	A 9	$B 9 = A 9 - 10$	
	必修科目	32単位	A10	$B10 = A10 - 32$	
	選択必修科目①	3単位以上	A11	$B11 = A11 - 3$	
	選択必修科目②	1単位以上	A12	$B12 = A12 - 1$	
	選択必修科目③ (コース選択必修科目)	25単位以上	A13	$B13 = A13 - 25$	
	選択科目		A14	$B14 = C 1 - 74$	$C 1 = A 9 + A10 + A11 + A12 + A13 + A14$
他学科専門教育科目等			A15	$B15 = A15$	
教職課程科目(教科に関する科目)			A16	$B16 = A16$	
単位互換・相互履修科目			A17	$B17 = A17$	
修得単位合計		128単位以上	A18	$B18 = A18 - 128$	A18はA 1～A17の合計
<p>〈チェックの手順〉</p> <p>「修得単位数」欄のA 1～A17に、ガイダンス時に配布された合格表から、合格した科目の合計単位数を転記する。</p> <p>A 1～A17の値の合計をA18に記入する。</p> <p>「チェック用の値」欄に示した式に従ってB 1～B18の値を計算する。</p> <p>B 1～B18の値の中に負の値があるときは卒業単位不足である。</p> <p>A18が100単位未満のときには卒業研究に着手できない。</p> <p>A18が128単位未満であるときは卒業単位不足である。</p>					

修得単位チェック表

合格表に記載された修得単位数を以下の修得単位チェック表に記入して卒業に必要な単位数を確認してください。

II 修得単位チェック表 (25年度カリキュラム)

(1) 情報システムコース

(5～8年次生用)

科目区分		卒業要件	修得単位数 (合格表の値)	チェック用の値	備考
教養科目 (選択科目)		10単位以上	A 1	B 1 = A 1 - 10	
外国語科目	必修科目 (英語)	4 単位	A 2	B 2 = A 2 - 4	
	選択科目	英語	3 単位以上	A 3	B 3 = A 3 - 3
		他外国語	A 4	B 4 = C 1 - 10	C 1 = A 2 + A 3 + A 4
体育科目	必修科目	2 単位	A 5	B 5 = A 5 - 2	
	選択科目		A 6	B 6 = A 6	
基礎科目			A 7	B 7 = A 7	
自然科学科目	必修科目	4 単位	A 8	B 8 = A 8 - 4	
	選択科目		A 9	B 9 = C 2 - 14	C 2 = A 8 + A 9
専門教育科目	必修科目	48単位	A10	B10 = A10 - 48	
	選択必修科目①	4 単位以上	A11	B11 = A11 - 4	
	選択必修科目② (コース選択必修科目)	25単位以上	A12	B12 = A12 - 25	
	選択科目		A13	B13 = C 3 - 80	C 3 = A10 + A11 + A12 + A13
他学科専門教育科目等			A14	B14 = A14	
グローバルエンジニア関連科目			A15	B15 = A15	
教職課程科目 (教科に関する科目)			A16	B16 = A16	
単位互換・相互履修科目			A17	B17 = A17	
修得単位合計		126単位 以上	A18	B18 = A18 - 126	A18はA1～A17の合計
<p>〈チェックの手順〉</p> <p>「修得単位数」欄のA1～A17に、ガイダンス時に配布された合格表から、合格した科目の合計単位数を転記する。</p> <p>A1～A17の値の合計をA18に記入する。</p> <p>「チェック用の値」欄に示した式に従ってB1～B18の値を計算する。</p> <p>B1～B18の値の中に負の値があるときは卒業単位不足である。</p> <p>A18が100未満のときには卒業研究に着手できない。</p> <p>A18が126未満であるときは卒業単位不足である。</p>					

(2) 情報デザインコース

(5～8年次生用)

科目区分		卒業要件	修得単位数 (合格表の値)	チェック用の値	備 考	
教養科目(選択科目)		10単位以上	A 1	$B 1 = A 1 - 10$		
外国語 科目	必修科目(英語)	4単位	A 2	$B 2 = A 2 - 4$		
	選択 科目	英 語	3単位以上	A 3	$B 3 = A 3 - 3$	
		他外国語		A 4	$B 4 = C 1 - 10$	$C 1 = A 2 + A 3 + A 4$
体育科目	必修科目	2単位	A 5	$B 5 = A 5 - 2$		
	選択科目		A 6	$B 6 = A 6$		
基 礎 科 目			A 7	$B 7 = A 7$		
自然 科学 科目	必 修 科 目	4単位	A 8	$B 8 = A 8 - 4$		
	選 択 科 目		A 9	$B 9 = C 2 - 14$	$C 2 = A 8 + A 9$	
専 門 教 育 科 目	必 修 科 目	48単位	A10	$B10 = A10 - 48$		
	選択必修科目①	4単位以上	A11	$B11 = A11 - 4$		
	選択必修科目② (コース選択必修科目)	25単位以上	A12	$B12 = A12 - 25$		
	選 択 科 目		A13	$B13 = C 3 - 80$	$C 3 = A10 + A11 + A12 + A13$	
他学科専門教育科目等			A14	$B14 = A14$		
グローバルエンジニア関連科目			A15	$B15 = A15$		
教職課程科目(教科に関する科目)			A16	$B16 = A16$		
単位互換・相互履修科目			A17	$B17 = A17$		
修得単位合計		126単位 以上	A18	$B18 = A18 - 126$	A18はA1～A17の合計	
<p>〈チェックの手順〉</p> <p>「修得単位数」欄のA1～A17に、ガイダンス時に配布された合格表から、合格した科目の合計単位数を転記する。</p> <p>A1～A17の値の合計をA18に記入する。</p> <p>「チェック用の値」欄に示した式に従ってB1～B18の値を計算する。</p> <p>B1～B18の値の中に負の値があるときは卒業単位不足である。</p> <p>A18が100未満のときには卒業研究に着手できない。</p> <p>A18が126未満であるときは卒業単位不足である。</p>						

学部要覧【抜粋版】

29年度カリキュラム

25年度カリキュラム

29年度カリキュラム
平成29年度入学
平成30年度入学
平成31年度入学
令和2年度入学

土木工学科 社会基盤デザインコース

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（10科目10単位）を含めて、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（5科目11単位）を含めて、**15単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】
- (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（17科目）**38単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目のうちから**20単位以上**を修得しなければならない。ただし、
 - ・選択必修科目①（コース選択必修科目）のうちから**12単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目②のうちから2科目**4単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目③のうちから2科目**4単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**7単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎1 (2)			
		自主創造の基礎2 (2)			
	選択	日本語表現法 (2)	哲学Ⅰ (2)	心理学Ⅰ (2)	
		日本国憲法 (2)	哲学Ⅱ (2)	心理学Ⅱ (2)	
		経済学Ⅰ (2)	日本の文化 (2)		
	経済学Ⅱ (2)				
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーションⅠ (1)	実用英語Ⅲ (1)	
		英語読解Ⅰ (1)	英語コミュニケーションⅡ (1)		
		英語読解Ⅱ (1)	実用英語Ⅰ (1)		
		英語表現法Ⅰ (1)	実用英語Ⅱ (1)		
		英語表現法Ⅱ (1)			
	選択	基礎日本語Ⅰ (1)	日本語講読Ⅰ (1)		技術英語 (1)
		基礎日本語Ⅱ (1)	日本語講読Ⅱ (1)		
体育科目	必修	体育・スポーツⅠ (1)			
		体育・スポーツⅡ (1)			
	選択			健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学Ⅰ及び演習 (3)			
		物理学Ⅰ (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学Ⅰ (2)			
		化学実験及び演習 (2)			
	選択	工科系数学Ⅱ (2)	工科系数学Ⅳ (2)		
		工科系数学Ⅲ (2)	物理学Ⅳ (2)		
		物理学Ⅱ (2)			
		物理学Ⅲ (2)			
		化学Ⅱ (2)			
専門教育科目	専門共通科目			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)
				ゼミナール (2)	
	必修	コンピュータリテラシー (1)	構造解析Ⅰ及び演習 (3)	材料実験 (2)	
		基礎構造解析学及び演習 (3)	構造解析Ⅱ及び演習 (3)	土質実験 (2)	
		測量実習Ⅰ (1)	地盤工学Ⅰ及び演習 (3)	鋼構造学 (2)	
		社会環境デザイン入門 (1)	地盤工学Ⅱ及び演習 (3)	コンクリート構造学及び演習 (3)	
			水理学Ⅰ及び演習 (3)	社会基盤計画学 (2)	
			水理学Ⅱ及び演習 (3)	下水道工学 (2)	
			測量実習Ⅱ (1)		
	選択必修①	生物と環境の共生概論 (2)	構造材料学 (2)	道路工学 (2)	
			交通工学 (2)	社会基盤保全工学 (2)	
			基礎プログラミング及び演習 (3)	構造設計論 (2)	
			国土形成計画史及び景観学 (2)	都市及び地域計画 (2)	
				リスクマネジメント及び地震防災工学 (2)	
	選択必修②			製図及び基礎CAD (2)	建設マネジメント及び施工法 (2)
				社会環境デザイン・スキルズ (2)	
	選択必修③			水質実験 (2)	構造実験 (2)
					水理実験 (2)
	選択	測量学Ⅰ (2)	基礎統計学 (2)	空間情報学 (2)	火薬学 (2)
基礎力学 (2)		測量学Ⅱ (2)	環境地盤工学 (2)		
		水資源工学 (2)	河川・砂防工学 (2)		
		環境評価論 (2)	海岸・港湾工学 (2)		

土木工学科 環境デザインコース

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（10科目10単位）を含めて、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（5科目11単位）を含めて、**15単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】
- (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（17科目）**38単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目のうちから**20単位以上**を修得しなければならない。ただし、
 - ・選択必修科目①（コース選択必修科目）のうちから**12単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目②のうちから2科目**4単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目③のうちから2科目**4単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**7単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎1 (2)			
		自主創造の基礎2 (2)			
	選択	日本語表現法 (2)	哲学Ⅰ (2)	心理学Ⅰ (2)	
		日本国憲法 (2)	哲学Ⅱ (2)	心理学Ⅱ (2)	
		経済学Ⅰ (2)	日本の文化 (2)		
	経済学Ⅱ (2)				
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーションⅠ (1)	実用英語Ⅲ (1)	
		英語読解Ⅰ (1)	英語コミュニケーションⅡ (1)		
		英語読解Ⅱ (1)	実用英語Ⅰ (1)		
		英語表現法Ⅰ (1)	実用英語Ⅱ (1)		
		英語表現法Ⅱ (1)			
	選択	基礎日本語Ⅰ (1)	日本語講読Ⅰ (1)		技術英語 (1)
		基礎日本語Ⅱ (1)	日本語講読Ⅱ (1)		
体育科目	必修	体育・スポーツⅠ (1)			
		体育・スポーツⅡ (1)			
	選択			健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学Ⅰ及び演習 (3)			
		物理学Ⅰ (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学Ⅰ (2)			
		化学実験及び演習 (2)			
	選択	工科系数学Ⅱ (2)	工科系数学Ⅳ (2)		
		工科系数学Ⅲ (2)	物理学Ⅳ (2)		
		物理学Ⅱ (2)			
		物理学Ⅲ (2)			
		化学Ⅱ (2)			
専門教育科目	専門共通科目			ゼミナール (2)	卒業研究 (6)
				技術者倫理 (2)	
	必修	コンピュータリテラシー (1)	構造解析Ⅰ及び演習 (3)	材料実験 (2)	
		基礎構造解析学及び演習 (3)	構造解析Ⅱ及び演習 (3)	土質実験 (2)	
		測量実習Ⅰ (1)	地盤工学Ⅰ及び演習 (3)	鋼構造学 (2)	
		社会環境デザイン入門 (1)	地盤工学Ⅱ及び演習 (3)	コンクリート構造学及び演習 (3)	
			水理学Ⅰ及び演習 (3)	社会基盤計画学 (2)	
			水理学Ⅱ及び演習 (3)	下水道工学 (2)	
			測量実習Ⅱ (1)		
	選択必修①	生物と環境の共生概論 (2)	環境評価論 (2)	環境地盤工学 (2)	
			基礎プログラミング及び演習 (3)	河川・砂防工学 (2)	
			国土形成計画史及び景観学 (2)	海岸・港湾工学 (2)	
			水資源工学 (2)	都市及び地域計画 (2)	
				リスクマネジメント及び地震防災工学 (2)	
	選択必修②			製図及び基礎CAD (2)	建設マネジメント及び施工法 (2)
				社会環境デザイン・スキルズ (2)	
	選択必修③			水質実験 (2)	構造実験 (2)
					水理実験 (2)
	選択	測量学Ⅰ (2)	基礎統計学 (2)	空間情報学 (2)	火薬学 (2)
基礎力学 (2)		測量学Ⅱ (2)	道路工学 (2)		
		構造材料学 (2)	社会基盤保全工学 (2)		
		交通工学 (2)	構造設計論 (2)		

建築学科 建築エンジニアリングコース

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**130単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（10科目10単位）を含めて、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（5科目11単位）を含めて、**15単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】
- (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（30科目）**62単位**を修得しなければならない。ただし、
 - ・必修科目①の23科目**47単位**を修得しなければならない。
 - ・必修科目②(コース必修科目)の7科目**15単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**84単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**7単位以上**を修得しなければならない。

建築学科

授 業 科 目

建築エンジニアリングコース

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎1 (2)			
		自主創造の基礎2 (2)			
	選択	日本語表現法 (2)	日本国憲法 (2)	哲学Ⅰ (2)	
		心理学Ⅰ (2)	経済学Ⅰ (2)	哲学Ⅱ (2)	
		心理学Ⅱ (2)	経済学Ⅱ (2)		
			日本の文化 (2)		
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーションⅠ (1)	実用英語Ⅲ (1)	
		英語読解Ⅰ (1)	英語コミュニケーションⅡ (1)		
		英語読解Ⅱ (1)	実用英語Ⅰ (1)		
		英語表現法Ⅰ (1)	実用英語Ⅱ (1)		
		英語表現法Ⅱ (1)			
	選択	基礎日本語Ⅰ (1)	日本語講読Ⅰ (1)		技術英語 (1)
		基礎日本語Ⅱ (1)	日本語講読Ⅱ (1)		
体育科目	必修	体育・スポーツⅠ (1)			
		体育・スポーツⅡ (1)			
	選択			健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学Ⅰ及び演習 (3)			
		物理学Ⅰ (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学Ⅰ (2)			
		化学実験及び演習 (2)			
	選択	工科系数学Ⅱ (2)	工科系数学Ⅳ (2)		
		工科系数学Ⅲ (2)	物理学Ⅲ (2)		
		物理学Ⅱ (2)			
物理学Ⅳ (2)					
		化学Ⅱ (2)			
専門教育科目	専門共通科目			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)
				ゼミナール (2)	
	必修	建築環境・設備概論 (2)	建築設計演習Ⅰ (2)	建築施工Ⅰ (2)	建築設計 (2)
		建築設計製図Ⅰ (2)	建築設計演習Ⅱ (2)	建築設備Ⅰ (2)	建築実験 (1)
		建築設計製図Ⅱ (2)	建築材料実験 (1)	建築関連法規 (2)	
		建築構法Ⅰ (2)	応用力学Ⅰ及び演習 (3)		
		建築計画Ⅰ (2)	応用力学Ⅱ及び演習 (3)		
		西洋建築史 (2)	構造力学Ⅰ及び演習 (3)		
		建築情報処理演習Ⅰ (1)	構造力学Ⅱ及び演習 (3)		
			建築構法Ⅱ (2)		
			建築材料学Ⅰ (2)		
			住宅計画 (2)		
		建築環境工学Ⅰ (2)			
	必修②		建築材料学Ⅱ (2)	木質構造設計法 (2)	
			建築計画Ⅱ (2)	構造力学Ⅲ及び演習 (3)	
				建築基礎構造 (2)	
				鉄筋コンクリート構造 (2)	
			銅構造 (2)		
	選択		建築造形演習 (2)	建築振動学 (2)	建築材料科学 (2)
			建築情報処理演習Ⅱ (2)	鉄筋コンクリート構造設計法 (2)	構造力学Ⅳ (2)
			鋼構造設計法 (2)		
			建築施工Ⅱ (2)		
			建築計画Ⅲ (2)		
			都市計画Ⅰ (2)		
			日本建築史 (2)		
			建築環境工学Ⅱ (2)		
		建築設備Ⅱ (2)			
選 択	インテリアデザイン (2)	建築情報処理演習Ⅲ (2)	建築設計演習Ⅲ (2)	統計学 (2)	
			建築設計演習Ⅳ (2)	建築企画 (2)	
			建築計画Ⅳ (2)	インターンシップ (2)	
			都市計画Ⅱ (2)		
			近代建築史 (2)		
			建築人間工学 (2)		
		建築測量演習 (2)			
		オープンデスク (2)			

学部要覧「抜粋版」
29年度カリキュラム

建築学科 建築デザインコース

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**130単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（10科目10単位）を含めて、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（5科目11単位）を含めて、**15単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】
- (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（30科目）**61単位**を修得しなければならない。ただし、
 - ・必修科目①の23科目**47単位**を修得しなければならない。
 - ・必修科目②(コース必修科目)の7科目**14単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**83単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**8単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
教養科目	必修	自主創造の基礎1 (2)				
		自主創造の基礎2 (2)				
	選択	日本語表現法 (2)	日本国憲法 (2)	哲学Ⅰ (2)		
		心理学Ⅰ (2)	経済学Ⅰ (2)	哲学Ⅱ (2)		
		心理学Ⅱ (2)	経済学Ⅱ (2)			
			日本の文化 (2)			
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーションⅠ (1)	実用英語Ⅲ (1)		
		英語読解Ⅰ (1)	英語コミュニケーションⅡ (1)			
		英語読解Ⅱ (1)	実用英語Ⅰ (1)			
		英語表現法Ⅰ (1)	実用英語Ⅱ (1)			
		英語表現法Ⅱ (1)				
	選択	基礎日本語Ⅰ (1)	日本語講読Ⅰ (1)		技術英語 (1)	
		基礎日本語Ⅱ (1)	日本語講読Ⅱ (1)			
体育科目	必修	体育・スポーツⅠ (1)				
		体育・スポーツⅡ (1)				
	選択			健康・スポーツ概論 (2)		
自然科学科目	必修	工科系数学Ⅰ及び演習 (3)				
		物理学Ⅰ (2)				
		物理学実験及び演習 (2)				
		化学Ⅰ (2)				
			化学実験及び演習 (2)			
	選択	工科系数学Ⅱ (2)	工科系数学Ⅳ (2)			
		工科系数学Ⅲ (2)	物理学Ⅲ (2)			
		物理学Ⅱ (2)				
物理学Ⅳ (2)						
		化学Ⅱ (2)				
専門教育科目	専門共通科目			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)	
				ゼミナール (2)		
	必修	建築環境・設備概論 (2)	建築設計演習Ⅰ (2)	建築施工Ⅰ (2)	建築設計 (2)	
		建築設計製図Ⅰ (2)	建築設計演習Ⅱ (2)	建築設備Ⅰ (2)		
		建築設計製図Ⅱ (2)	建築材料実験 (1)	建築関連法規 (2)		
		建築構法Ⅰ (2)	応用力学Ⅰ及び演習 (3)	建築実験 (1)		
		建築計画Ⅰ (2)	応用力学Ⅱ及び演習 (3)			
		西洋建築史 (2)	構造力学Ⅰ及び演習 (3)			
		建築情報処理演習Ⅰ (1)	構造力学Ⅱ及び演習 (3)			
			建築構法Ⅱ (2)			
		建築材料学Ⅰ (2)				
		住宅計画 (2)				
		建築環境工学Ⅰ (2)				
	必修②	インテリアデザイン (2)	建築計画Ⅱ (2)	建築設計演習Ⅲ (2)		
				建築設計演習Ⅳ (2)		
				建築計画Ⅲ (2)		
				都市計画Ⅰ (2)		
	選択必修		建築材料学Ⅱ (2)	鉄筋コンクリート構造 (2)		
			建築情報処理演習Ⅱ (2)	鋼構造 (2)		
			建築造形演習 (2)	木質構造設計法 (2)		
		建築情報処理演習Ⅲ (2)	建築基礎構造 (2)			
			建築環境工学Ⅱ (2)			
			建築設備Ⅱ (2)			
			建築人間工学 (2)			
			近代建築史 (2)			
		建築計画Ⅳ (2)				
選択			都市計画Ⅱ (2)			
			構造力学Ⅲ及び演習 (3)	建築材料科学 (2)		
			建築施工Ⅱ (2)	統計学 (2)		
			建築振動学 (2)	インターンシップ (2)		
		建築測量演習 (2)	建築企画 (2)			
		オープンデスク (2)	構造力学Ⅳ (2)			
			鋼構造設計法 (2)			
			鉄筋コンクリート構造設計法 (2)			

建築学科 アーキテクトコース

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**130単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（10科目10単位）を含めて、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（5科目11単位）を含めて、**15単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】
- (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（31科目）**61単位**を修得しなければならない。ただし、
 - ・必修科目①の23科目**47単位**を修得しなければならない。
 - ・必修科目②(コース必修科目)の8科目**14単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**83単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**8単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎1 (2)			
		自主創造の基礎2 (2)			
	選択	日本語表現法 (2)	日本国憲法 (2)	哲学Ⅰ (2)	
		心理学Ⅰ (2)	経済学Ⅰ (2)	哲学Ⅱ (2)	
		心理学Ⅱ (2)	経済学Ⅱ (2)		
			日本の文化 (2)		
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーションⅠ (1)	実用英語Ⅲ (1)	
		英語読解Ⅰ (1)	英語コミュニケーションⅡ (1)		
		英語読解Ⅱ (1)	実用英語Ⅰ (1)		
		英語表現法Ⅰ (1)	実用英語Ⅱ (1)		
		英語表現法Ⅱ (1)			
	選択	基礎日本語Ⅰ (1)	日本語講読Ⅰ (1)		技術英語 (1)
		基礎日本語Ⅱ (1)	日本語講読Ⅱ (1)		
体育科目	必修	体育・スポーツⅠ (1)			
		体育・スポーツⅡ (1)			
	選択			健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学Ⅰ及び演習 (3)			
		物理学Ⅰ (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学Ⅰ (2)			
		化学実験及び演習 (2)			
	選択	工科系数学Ⅱ (2)	工科系数学Ⅳ (2)		
		工科系数学Ⅲ (2)	物理学Ⅲ (2)		
		物理学Ⅱ (2)			
物理学Ⅳ (2)					
		化学Ⅱ (2)			
専門教育科目	専門共通科目			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)
				ゼミナール (2)	
	必修①	建築環境・設備概論 (2)	建築設計演習Ⅰ (2)	建築施工Ⅰ (2)	建築設計 (2)
		建築設計製図Ⅰ (2)	建築設計演習Ⅱ (2)	建築設備Ⅰ (2)	
		建築設計製図Ⅱ (2)	建築材料実験 (1)	建築関連法規 (2)	
		建築構法Ⅰ (2)	応用力学Ⅰ及び演習 (3)	建築実験 (1)	
		建築計画Ⅰ (2)	応用力学Ⅱ及び演習 (3)		
		西洋建築史 (2)	構造力学Ⅰ及び演習 (3)		
		建築情報処理演習Ⅰ (1)	構造力学Ⅱ及び演習 (3)		
			建築構法Ⅱ (2)		
		建築材料学Ⅰ (2)			
		住宅計画 (2)			
		建築環境工学Ⅰ (2)			
	必修②		建築造形演習 (2)	都市計画Ⅰ (2)	建築企画 (2)
			建築意匠設計Ⅰ (1)	日本建築史 (2)	
				建築設計演習Ⅲ (2)	
				建築設計演習Ⅳ (2)	
			建築意匠設計Ⅱ (1)		
	選択必修	インテリアデザイン (2)	建築計画Ⅱ (2)	建築計画Ⅲ (2)	
			建築材料学Ⅱ (2)	鉄筋コンクリート構造 (2)	
		建築情報処理演習Ⅱ (2)	鋼構造 (2)		
		建築情報処理演習Ⅲ (2)	木質構造設計法 (2)		
			建築環境工学Ⅱ (2)		
			建築人間工学 (2)		
			近代建築史 (2)		
			建築計画Ⅳ (2)		
		都市計画Ⅱ (2)			
選択			建築基礎構造 (2)	統計学 (2)	
			建築設備Ⅱ (2)	インターンシップ (2)	
			構造力学Ⅲ及び演習 (3)	構造力学Ⅳ (2)	
			建築施工Ⅱ (2)	建築材料科学 (2)	
			建築測量演習 (2)		
			オープンデスク (2)		
			建築振動学 (2)		
			鋼構造設計法 (2)		
		鉄筋コンクリート構造設計法 (2)			

機械工学科

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（10科目10単位）を含めて、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（8科目17単位）を含めて、**17単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】 (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
(2) 必修科目（17科目）**42単位**を修得しなければならない。
(3) 上記の専門共通科目及び必修科目を含めて、合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、臨床工学技士課程科目、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**5単位以上**を修得しなければならない。

機械工学科

授 業 科 目

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎 1 (2)			
		自主創造の基礎 2 (2)			
	選択	日本語表現法 (2)	日本国憲法 (2)	心理学 I (2)	
		哲学 I (2)	日本の文化 (2)	心理学 II (2)	
	哲学 II (2)		経済学 I (2)		
			経済学 II (2)		
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーション I (1)	実用英語 III (1)	
		英語読解 I (1)	英語コミュニケーション II (1)		
		英語読解 II (1)	実用英語 I (1)		
		英語表現法 I (1)	実用英語 II (1)		
		英語表現法 II (1)			
	選択	基礎日本語 I (1)	日本語講読 I (1)	技術英語 (1)	
	基礎日本語 II (1)	日本語講読 II (1)			
体育科目	必修	体育・スポーツ I (1)			
	選択	体育・スポーツ II (1)		健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学 I 及び演習 (3)	工科系数学 IV (2)		
		工科系数学 II (2)			
		工科系数学 III (2)			
		物理学 I (2)			
		物理実験及び演習 (2)			
		化学 I (2)			
	化学実験及び演習 (2)				
	選択	物理学 II (2)	工科系数学 V (2)	工科系数学 VI (2)	
	物理学 III (2)				
	物理学 IV (2)				
	化学 II (2)				
専門教育科目	専門共通科目(必修)			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)
				ゼミナール (2)	
	必修	機械力学 I 及び演習 (3)	材料力学 I 及び演習 (3)	流れの力学 II 及び演習 (3)	
		ロハス工学 I (2)	材料力学 II 及び演習 (3)	材料加工 (2)	
			機械力学 II 及び演習 (3)	機械工学実験 (2)	
			熱力学 I 及び演習 (3)	機械設計製図 (2)	
			熱力学 II 及び演習 (3)		
			流れの力学 I 及び演習 (3)		
			機械要素設計 (2)		
			機械材料 (2)		
			機械工学実習 (2)		
			機械製図 (2)		
		ロハス工学 II (2)			
	選択	機械の基礎解析 (2)	確率・統計 (2)	機械製作法 (2)	航空宇宙工学 (2)
		数値計算リテラシー (2)	計測工学 (2)	材料の強度 (2)	自動車工学 (2)
		基礎製図 (2)	CAD・CAM (2)	計算法学 (2)	エネルギー工学 (2)
			電気・電子工学概論 (2)	流体力学 (2)	ヒューマンダイナミクス (2)
			企業実習 (1)	ロボット工学 (2)	
			熱機関工学 (2)		
			冷凍空調工学 (2)		
			流体機械 (2)		
		制御工学 (2)			
		伝熱工学 (2)			
		トライボロジー (2)			

電気電子工学科 電子情報通信コース

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**125単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（10科目10単位）を含めて、**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（7科目15単位）を含めて、**21単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】 (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
(2) 必修科目（13科目）**26単位**を修得しなければならない。
(3) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから**24単位以上**を修得しなければならない。
(4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**70単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、臨床工学技士課程科目、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**10単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎1 (2)			
		自主創造の基礎2 (2)			
	選択	哲学Ⅰ (2)	心理学Ⅰ (2)	日本語表現法 (2)	
		哲学Ⅱ (2)	心理学Ⅱ (2)	日本国憲法 (2)	
			経済学Ⅰ (2)		
		経済学Ⅱ (2)			
		日本の文化 (2)			
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーションⅠ (1)	実用英語Ⅲ (1)	
		英語読解Ⅰ (1)	英語コミュニケーションⅡ (1)		
		英語読解Ⅱ (1)	実用英語Ⅰ (1)		
		英語表現法Ⅰ (1)	実用英語Ⅱ (1)		
	選択	英語表現法Ⅱ (1)			
基礎日本語Ⅰ (1)		日本語講読Ⅰ (1)		技術英語 (1)	
	基礎日本語Ⅱ (1)	日本語講読Ⅱ (1)			
体育科目	必修	体育・スポーツⅠ (1)			
	体育・スポーツⅡ (1)				
	選択			健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学Ⅰ及び演習 (3)			
		工科系数学Ⅳ (2)			
		工科系数学Ⅴ (2)			
		物理学Ⅰ (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学Ⅰ (2)			
		化学実験及び演習 (2)			
	選択	工科系数学Ⅱ (2)	工科系数学Ⅵ (2)		
		工科系数学Ⅲ (2)	工科系数学Ⅶ (2)		
		物理学Ⅱ (2)	物理学Ⅳ (2)		
物理学Ⅲ (2)					
	化学Ⅱ (2)				
専門教育科目	専門共通科目			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)
				ゼミナール (2)	
	必修	情報リテラシー (1)	電磁気学Ⅰ及び演習 (3)	エレクトロニクス実験 (2)	
		電気回路Ⅰ及び演習 (3)	電磁気学Ⅱ及び演習 (3)	エネルギー機器実験 (2)	
		Cプログラミング及び演習 (2)	電気回路Ⅱ及び演習 (3)		
		電気電子製作実習 (1)	電子回路Ⅰ (2)		
			電気電子計測Ⅰ (2)		
			電気電子基礎実験Ⅰ (1)		
		電気電子基礎実験Ⅱ (1)			
	選択必修		電気電子計測Ⅱ (2)	電子回路Ⅱ (2)	電波法及び電気通信事業法 (2)
			半導体デバイス (2)	デジタル回路 (2)	電波電子応用 (2)
			電気機器Ⅰ (2)	電気電子材料 (2)	
			電気機器Ⅱ (2)	通信工学 (2)	
			実用Cプログラミング及び演習 (2)	電磁波工学 (2)	
			電気電子設計製図 (2)	光量子エレクトロニクス (2)	
			コンピュータ工学 (2)	電気音響工学 (2)	
				情報通信ネットワーク (2)	
		信号処理 (2)			
選 択			確率・統計 (2)	電力応用 (2)	
			電気回路Ⅲ (2)	電気法規及び施設管理 (2)	
			パワーエレクトロニクス (2)		
			電力工学Ⅰ (2)		
			電力工学Ⅱ (2)		
		企業実習 (1)			
		制御工学 (2)			

電気電子工学科 電気エネルギーコース

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**125単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（10科目10単位）を含めて、**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（7科目15単位）を含めて、**21単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】 (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
(2) 必修科目（13科目）**26単位**を修得しなければならない。
(3) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから**24単位以上**を修得しなければならない。
(4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**70単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、臨床工学技士課程科目、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**10単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎 1 (2)			
		自主創造の基礎 2 (2)			
	選択	哲学 I (2)	心理学 I (2)	日本語表現法 (2)	
		哲学 II (2)	心理学 II (2)	日本国憲法 (2)	
			経済学 I (2)		
		経済学 II (2)			
		日本の文化 (2)			
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーション I (1)	実用英語 III (1)	
		英語読解 I (1)	英語コミュニケーション II (1)		
		英語読解 II (1)	実用英語 I (1)		
		英語表現法 I (1)	実用英語 II (1)		
	選択	英語表現法 II (1)			
基礎日本語 I (1)		日本語講読 I (1)		技術英語 (1)	
	基礎日本語 II (1)	日本語講読 II (1)			
体育科目	必修	体育・スポーツ I (1)			
		体育・スポーツ II (1)			
選択				健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学 I 及び演習 (3)			
		工科系数学 IV (2)			
		工科系数学 V (2)			
		物理学 I (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学 I (2)			
	選択	化学実験及び演習 (2)			
		工科系数学 II (2)	工科系数学 VI (2)		
		工科系数学 III (2)	工科系数学 VII (2)		
		物理学 II (2)	物理学 IV (2)		
	物理学 III (2)				
	化学 II (2)				
専門教育科目	専門共通科目			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)
				ゼミナール (2)	
	必修	情報リテラシー (1)	電磁気学 I 及び演習 (3)	エレクトロニクス実験 (2)	
		電気回路 I 及び演習 (3)	電磁気学 II 及び演習 (3)	エネルギー機器実験 (2)	
		Cプログラミング及び演習 (2)	電気回路 II 及び演習 (3)		
		電気電子製作実習 (1)	電子回路 I (2)		
			電気電子計測 I (2)		
			電気電子基礎実験 I (1)		
	選択必修		電気電子基礎実験 II (1)		
			電気電子計測 II (2)	電気回路 III (2)	電力応用 (2)
			半導体デバイス (2)	電子回路 II (2)	電気法規及び施設管理 (2)
			電気機器 I (2)	電気電子材料 (2)	
			電気機器 II (2)	パワーエレクトロニクス (2)	
			実用 C プログラミング及び演習 (2)	電力工学 I (2)	
			電気電子設計製図 (2)	電力工学 II (2)	
			コンピュータ工学 (2)	電気音響工学 (2)	
選択			制御工学 (2)		
			信号処理 (2)		
			組込みシステム (2)		
			確率・統計 (2)	電波法及び電気通信事業法 (2)	
			デジタル回路 (2)	電波電子応用 (2)	
			通信工学 (2)		
		電磁波工学 (2)			
		企業実習 (1)			
		光量子エレクトロニクス (2)			
		情報通信ネットワーク (2)			

生命応用化学科

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（10科目10単位）を含めて、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（7科目15単位）を含めて、**19単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】 (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
(2) 必修科目（16科目）**32単位**を修得しなければならない。
(3) 上記の専門共通科目及び必修科目を含めて、合計**80単位以上**修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**3単位以上**を修得しなければならない。

生命応用化学科

授 業 科 目

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎 1 (2)			
		自主創造の基礎 2 (2)			
	選択	哲学 I (2)	心理学 I (2)		
		哲学 II (2)	心理学 II (2)		
		経済学 I (2)	日本国憲法 (2)		
	経済学 II (2)	日本語表現法 (2)			
		日本の文化 (2)			
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーション I (1)	実用英語 III (1)	
		英語読解 I (1)	英語コミュニケーション II (1)		
		英語読解 II (1)	実用英語 I (1)		
		英語表現法 I (1)	実用英語 II (1)		
		英語表現法 II (1)			
	選択	基礎日本語 I (1)	日本語講読 I		技術英語 (1)
	基礎日本語 II	日本語講読 II			
体育科目	必修	体育・スポーツ I (1)			
	体育・スポーツ II (1)				
	選択			健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学 I 及び演習 (3)			
		工科系数学 IV (2)			
		物理学 I (2)			
		物理実験及び演習 (2)			
		化学 I (2)			
		化学 II (2)			
	化学実験及び演習 (2)				
	選択	工科系数学 II (2)	工科系数学 V (2)		
	工科系数学 III (2)	物理学 III (2)			
	物理学 II (2)				
	物理学 IV (2)				
専門教育科目	専門共通科目			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)
				ゼミナール (2)	
	必修	無機化学 I (2)	分析化学 (2)	生命応用化学実験及び演習 IV (2)	
		有機化学 I (2)	無機化学 II (2)	生命応用化学実験及び演習 V (2)	
		化学工学 I (2)	物理化学 (2)	生命応用化学実験及び演習 VI (2)	
		生命化学 I (2)	有機化学 II (2)		
		生命化学 II (2)	化学工学 II (2)		
			生命応用化学実験及び演習 I (2)		
		生命応用化学実験及び演習 II (2)			
		生命応用化学実験及び演習 III (2)			
	選択		量子化学 (2)	先端生命工学 (2)	
			無機反応化学 (2)	環境科学 (2)	
			機器分析化学 (2)	環境分析化学 (2)	
			有機合成化学 (2)	分子構造解析 (2)	
			化学情報処理 (2)	生命無機化学 (2)	
			化学統計学 (2)	有機工業化学 (2)	
			化学熱力学 (2)	光機能化学 (2)	
			生体物質化学 I (2)	応用熱力学 (2)	
		有機材料化学 (2)	環境プロセス (2)		
		分子生物学 (2)	バイオインフォマティクス (2)		
			物性化学 (2)		
			電気化学 (2)		
		生体物質化学 II (2)			
		生物反応工学 (2)			
		細胞生物学 (2)			
		高分子合成化学 (2)			
		無機材料化学 (2)			
		高分子材料 (2)			
		分離工学 (2)			
		ケミカルバイオロジー (2)			

情報工学科 情報システムコース

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**128単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（10科目10単位）を含めて、**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（10科目21単位）を含めて、**21単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】
- (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（13科目）**32単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目のうちから**29単位以上**を修得しなければならない。ただし、
 - ・選択必修科目①のうちから**3単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目②のうちから**1単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目③(コース選択必修科目)のうちから**25単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**74単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**9単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎1 (2)			
		自主創造の基礎2 (2)			
	選択	日本語表現法 (2)	哲学Ⅰ (2)		
		日本国憲法 (2)	哲学Ⅱ (2)		
		経済学Ⅰ (2)	心理学Ⅰ (2)		
	経済学Ⅱ (2)	心理学Ⅱ (2)			
		日本の文化 (2)			
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーションⅠ (1)	実用英語Ⅲ (1)	
		英語読解Ⅰ (1)	英語コミュニケーションⅡ (1)		
		英語読解Ⅱ (1)	実用英語Ⅰ (1)		
		英語表現法Ⅰ (1)	実用英語Ⅱ (1)		
		英語表現法Ⅱ (1)			
	選択	基礎日本語Ⅰ (1)	日本語講読Ⅰ (1)		技術英語 (1)
	基礎日本語Ⅱ (1)	日本語講読Ⅱ (1)			
体育科目	必修	体育・スポーツⅠ (1)			
		体育・スポーツⅡ (1)			
	選択			健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学Ⅰ及び演習 (3)	工科系数学Ⅵ (2)		
		工科系数学Ⅱ (2)	工科系数学Ⅶ (2)		
		工科系数学Ⅳ (2)			
		工科系数学Ⅴ (2)			
		物理学Ⅰ (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学Ⅰ (2)			
	化学実験及び演習 (2)				
	選択	工科系数学Ⅲ (2)	物理学Ⅳ (2)		
	物理学Ⅱ (2)				
	物理学Ⅲ (2)				
	化学Ⅱ (2)				
専門教育科目	専門共通科目			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)
				ゼミナール (2)	
	必修	コンピュータ入門及び演習 (3)	データ構造入門及び演習 (3)	ソフトウェア設計法及び演習 (3)	
		プログラミング入門及び演習 (3)	確率統計及び演習 (3)	コンピュータネットワーク (2)	
		プログラミングの基礎及び演習 (3)	コンピュータアーキテクチャⅠ (2)		
		コンピュータアーキテクチャ入門 (2)	データベース工学 (2)		
			基礎オペレーティングシステム (2)		
		情報と職業 (2)			
		コミュニケーションスキル (2)			
	選択必修①			大規模ソフトウェア開発法及び演習 (3)	
				ネットワーク管理技術及び演習 (3)	
				コンピュータビジョン及び演習 (3)	
				デジタル形状処理及び演習 (3)	
	選択必修②				情報工学応用演習Ⅰ (1)
					情報工学応用演習Ⅱ (1)
	選択必修③		情報理論 (2)	アルゴリズム論 (2)	
			論理回路及び演習 (3)	オートマトンと言語及び演習 (3)	
		コンピュータアーキテクチャⅡ (2)	コンパイラ及び演習 (3)		
		WWWとJavaプログラミング及び演習 (3)	高度オペレーティングシステム (2)		
		符号とセキュリティ (2)	データ構造とプログラミング及び演習 (3)		
		画像情報処理及び演習 (3)	プログラミング言語 (2)		
		Webコンテンツ及び演習 (3)	情報ネットワーク (2)		
選択			数値解析法 (2)		
			数値解析法演習 (1)		
			人工知能Ⅰ (2)		
			人工知能Ⅱ (2)		
			情報マネジメント (2)		
			コンピュータグラフィックス (2)		
			マルチメディア (2)		
			ヒューマンインターフェースと音声 (2)		
			情報処理演習Ⅰ (1)		
		情報処理演習Ⅱ (1)			
		企業実習 (1)			
		環境と情報 (2)			

情報工学科 情報デザインコース

卒業要件

卒業するには、次の条件を含めて、**128単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 必修科目（2科目4単位）を含めて、6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（10科目10単位）を含めて、**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（10科目21単位）を含めて、**21単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】
- (1) 専門共通科目（3科目）**10単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（16科目）**32単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目のうちから**29単位以上**を修得しなければならない。ただし、
 - ・選択必修科目①のうちから**3単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目②のうちから**1単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目③(コース選択必修科目)のうちから**25単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**74単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**9単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
教養科目	必修	自主創造の基礎1 (2)			
		自主創造の基礎2 (2)			
	選択	日本語表現法 (2)	哲学Ⅰ (2)		
		日本国憲法 (2)	哲学Ⅱ (2)		
		経済学Ⅰ (2)	心理学Ⅰ (2)		
	経済学Ⅱ (2)	心理学Ⅱ (2)			
		日本の文化 (2)			
外国語科目	必修	基礎英語 (1)	英語コミュニケーションⅠ (1)	実用英語Ⅲ (1)	
		英語読解Ⅰ (1)	英語コミュニケーションⅡ (1)		
		英語読解Ⅱ (1)	実用英語Ⅰ (1)		
		英語表現法Ⅰ (1)	実用英語Ⅱ (1)		
		英語表現法Ⅱ (1)			
	選択	基礎日本語Ⅰ (1)	日本語講読Ⅰ (1)		技術英語 (1)
	基礎日本語Ⅱ (1)	日本語講読Ⅱ (1)			
体育科目	必修	体育・スポーツⅠ (1)			
		体育・スポーツⅡ (1)			
	選択			健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必修	工科系数学Ⅰ及び演習 (3)	工科系数学Ⅵ (2)		
		工科系数学Ⅱ (2)	工科系数学Ⅶ (2)		
		工科系数学Ⅳ (2)			
		工科系数学Ⅴ (2)			
		物理学Ⅰ (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学Ⅰ (2)			
	化学実験及び演習 (2)				
	選択	工科系数学Ⅲ (2)	物理学Ⅳ (2)		
	物理学Ⅱ (2)				
	物理学Ⅲ (2)				
	化学Ⅱ (2)				
専門教育科目	専門共通科目			技術者倫理 (2)	卒業研究 (6)
				ゼミナール (2)	
	必修	コンピュータ入門及び演習 (3)	データ構造入門及び演習 (3)	ソフトウェア設計法及び演習 (3)	
		プログラミング入門及び演習 (3)	確率統計及び演習 (3)	コンピュータネットワーク (2)	
		プログラミングの基礎及び演習 (3)	コンピュータアーキテクチャⅠ (2)		
		コンピュータアーキテクチャ入門 (2)	データベース工学 (2)		
			基礎オペレーティングシステム (2)		
		情報と職業 (2)			
		コミュニケーションスキル (2)			
	選択必修①			大規模ソフトウェア開発法及び演習 (3)	
				ネットワーク管理技術及び演習 (3)	
				コンピュータビジョン及び演習 (3)	
				デジタル形状処理及び演習 (3)	
	選択必修②				情報工学応用演習Ⅰ (1)
					情報工学応用演習Ⅱ (1)
	選択必修③		情報理論 (2)	数値解析法 (2)	
			論理回路及び演習 (3)	数値解析法演習 (1)	
			コンピュータアーキテクチャⅡ (2)	人工知能Ⅰ (2)	
			WWWとJavaプログラミング及び演習 (3)	人工知能Ⅱ (2)	
			符号とセキュリティ (2)	情報マネジメント (2)	
		画像情報処理及び演習 (3)	コンピュータグラフィックス (2)		
		Webコンテンツ及び演習 (3)	マルチメディア (2)		
			ヒューマンインターフェースと音声 (2)		
			環境と情報 (2)		
選択			アルゴリズム論 (2)		
			オートマトンと言語及び演習 (3)		
			コンパイラ及び演習 (3)		
			高度オペレーティングシステム (2)		
			データ構造とプログラミング及び演習 (3)		
			プログラミング言語 (2)		
			情報ネットワーク (2)		
			情報処理演習Ⅰ (1)		
			情報処理演習Ⅱ (1)		
		企業実習 (1)			

25年度カリキュラム
平成25年度入学
平成26年度入学
平成27年度入学
平成28年度入学

土木工学科 社会基盤デザインコース

卒業条件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】** 5科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】** 必修科目（4科目4単位）を含めて、英語7科目**7単位以上**、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】** 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【基礎科目】** 全て選択科目
- 【自然科学科目】** 必修科目（5科目8単位）を含めて、**14単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】**
- (1) 必修科目（21科目）**48単位**を修得しなければならない。
 - (2) 選択必修科目のうちから**20単位以上**を修得しなければならない。ただし、
 - ・選択必修科目①（コース選択必修科目）のうちから**12単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目②のうちから2科目**4単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目③のうちから2科目**4単位以上**を修得しなければならない。
 - (3) 上記の必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】** 教養科目、外国語科目、体育科目、基礎科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、グローバルエンジニア関連科目、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**10単位以上**を修得しなければならない。

土木工学科

授 業 科 目

社会基盤デザインコース

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
教養科目	選 択	法学 (2)	文学 (2)	心理学 I (2)		
		憲法 (2)	日本語表現法 (2)	心理学 II (2)		
		政治学 I (2)	哲学 I (2)	経済学 I (2)		
		政治学 II (2)	哲学 II (2)	経済学 II (2)		
		日本の文化 (2)	歴史学 (2)			
外国語科目	必 修	英語読解 I (1)				
		英語読解 II (1)				
		英語表現法 I (1)				
		英語表現法 II (1)				
	選 択	英 語		英語講読 I (1)	TOEIC III (1)	
				英語講読 II (1)	TOEIC IV (1)	
				英語コミュニケーション I (1)		
				英語コミュニケーション II (1)		
				TOEIC I (1)		
			TOEIC II (1)			
	他 外 国 語	ドイツ語入門 (1)	基礎ドイツ語 I (1)			
		基礎日本語 I (1)	基礎ドイツ語 II (1)			
基礎日本語 II (1)		中国語 I (1)				
		中国語 II (1)				
		日本語講読 I (1)				
		日本語講読 II (1)				
体育科目	必 修	体育・スポーツ I (1)				
	選 択	体育・スポーツ II (1)		健康・スポーツ概論 (2)		
基礎科目	選 択	日本語表現基礎 (2)				
		基礎の数学 (2)				
		基礎の物理学 (2)				
		基礎の化学 (2)				
自然科学科目	必 修	微分 I (2)				
		力と運動の物理学 I (2)				
		物理学実験 (1)				
		化学 I (2)				
		化学実験 (1)				
	選 択	微分 II (2)	熱とエントロピーの物理学 (2)			
		積分 (2)				
		行列・行列式 (2)				
		力と運動の物理学 II (2)				
		電気と磁気の物理学 (2)				
		化学 II (2)				
専門教育科目	必 修	コンピュータリテラシー (1)	構造解析学 I 及び演習 (3)	ゼミナール (1)	卒業研究 (6)	
		基礎力学及び演習 (3)	構造解析学 II 及び演習 (3)	技術者倫理及び土木法規 (2)		
		測量実習 I (1)	土の力学及び演習 (3)	材料実験 (2)		
		社会環境デザイン入門 I (1)	地盤工学及び演習 (3)	土質実験 (2)		
		社会環境デザイン入門 II (1)	水理学 I 及び演習 (3)	鋼構造学 (2)		
			水理学 II 及び演習 (3)	コンクリート構造学及び演習 (3)		
	選 択 必 修 ①		下水道施設工学 (2)	社会基盤計画学 (2)		
			測量実習 II (1)			
		生物と環境の共生概論 (2)	構造材料学 (2)	橋梁工学 (2)		
			交通工学 (2)	道路工学 (2)		
	選 択 必 修 ②		基礎プログラミング及び演習 (3)	社会基盤保全工学 (2)		
			国土形成計画史及び景観学 (2)	構造設計論 (2)		
	選 択 必 修 ③			都市及び地域計画 (2)		
				リスクマネジメント及び地震防災工学 (2)		
	選 択			製図及び基礎CAD (2)	建設マネジメント及び施工法 (2)	
				社会環境デザイン・スキルズ (2)		
				水質実験 (2)	構造実験 (2)	
					水理実験 (2)	
		測量学 I (2)	基礎解析 (2)	空間情報学 (2)		
		基礎弾性力学 (2)	基礎統計学 (2)	火薬学 (2)		
		測量学 II (2)	環境地盤工学 (2)			
		水資源工学 (2)	河川・砂防工学 (2)			
		リモートセンシング・環境計測法 (2)	海岸・港湾工学 (2)			
			水処理工学 (2)			

学部要覧「抜粋版」
25年度カリキュラム

土木工学科 環境デザインコース

卒業条件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】** 5科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】** 必修科目（4科目4単位）を含めて、英語7科目**7単位以上**、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】** 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【基礎科目】** 全て選択科目
- 【自然科学科目】** 必修科目（5科目8単位）を含めて、**14単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】** (1) 必修科目（21科目）**48単位**を修得しなければならない。
(2) 選択必修科目のうちから**20単位以上**を修得しなければならない。ただし、
・選択必修科目①（コース選択必修科目）のうちから**12単位以上**を修得しなければならない。
・選択必修科目②のうちから2科目**4単位以上**を修得しなければならない。
・選択必修科目③のうちから2科目**4単位以上**を修得しなければならない。
(3) 上記の必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】** 教養科目、外国語科目、体育科目、基礎科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、グローバルエンジニア関連科目、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**10単位以上**を修得しなければならない。

土木工学科		授 業 科 目			環境デザインコース	
		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
教養科目	選 択	法学 (2)	文学 (2)	心理学Ⅰ (2)		
		憲法 (2)	日本語表現法 (2)	心理学Ⅱ (2)		
		政治学Ⅰ (2)	哲学Ⅰ (2)	経済学Ⅰ (2)		
		政治学Ⅱ (2)	哲学Ⅱ (2)	経済学Ⅱ (2)		
外国語科目	必 修	英語読解Ⅰ (1)				
		英語読解Ⅱ (1)				
		英語表現法Ⅰ (1)				
		英語表現法Ⅱ (1)				
	選 択	英 語		英語講読Ⅰ (1)	TOEICⅢ (1)	
				英語講読Ⅱ (1)	TOEICⅣ (1)	
				英語コミュニケーションⅠ (1)		
				英語コミュニケーションⅡ (1)		
				TOEICⅠ (1)		
	選 択	他 外 国 語	ドイツ語入門 (1)	基礎ドイツ語Ⅰ (1)		
			基礎日本語Ⅰ (1)	基礎ドイツ語Ⅱ (1)		
			基礎日本語Ⅱ (1)	中国語Ⅰ (1)		
				中国語Ⅱ (1)		
			日本語講読Ⅰ (1)			
体育科目	必 修	体育・スポーツⅠ (1)				
		体育・スポーツⅡ (1)				
基礎科目	選 択			健康・スポーツ概論 (2)		
自然科学科目	必 修	日本語表現基礎 (2)				
		基礎の数学 (2)				
		基礎の物理学 (2)				
		基礎の化学 (2)				
	選 択	微分Ⅰ (2)				
		力と運動の物理学Ⅰ (2)				
		物理学実験 (1)				
		化学Ⅰ (2)				
		化学実験 (1)				
専門教育科目	必 修	微分Ⅱ (2)	熱とエントロピーの物理学 (2)			
		積分 (2)				
		行列・行列式 (2)				
		力と運動の物理学Ⅱ (2)				
		電気と磁気の物理学 (2)				
		化学Ⅱ (2)				
		コンピュータリテラシー (1)	構造解析Ⅰ及び演習 (3)	ゼミナール (1)	卒業研究 (6)	
		基礎力学及び演習 (3)	構造解析Ⅱ及び演習 (3)	技術者倫理及び土木法規 (2)		
	選 択 必 修 ①	測量実習Ⅰ (1)	土の力学及び演習 (3)	材料実験 (2)		
		社会環境デザイン入門Ⅰ (1)	地盤工学及び演習 (3)	土質実験 (2)		
		社会環境デザイン入門Ⅱ (1)	水理学Ⅰ及び演習 (3)	鋼構造学 (2)		
			水理学Ⅱ及び演習 (3)	コンクリート構造学及び演習 (3)		
			下水道施設工学 (2)	社会基盤計画学 (2)		
			測量実習Ⅱ (1)			
			水資源工学 (2)	環境地盤工学 (2)		
選 択 必 修 ②		リモートセンシング・環境計測法 (2)	河川・砂防工学 (2)			
		基礎プログラミング及び演習 (3)	海岸・港湾工学 (2)			
		国土形成計画史及び景観学 (2)	水処理工学 (2)			
			都市及び地域計画 (2)			
選 択 必 修 ③			リスクマネジメント及び地震防災工学 (2)			
			製図及び基礎CAD (2)	建設マネジメント及び施工法 (2)		
			社会環境デザイン・スキルズ (2)			
選 択			水質実験 (2)	構造実験 (2)		
				水理実験 (2)		
		測量学Ⅰ (2)	基礎解析 (2)	空間情報学 (2)		
		基礎弾性力学 (2)	基礎統計学 (2)	火薬学 (2)		
			測量学Ⅱ (2)	橋梁工学 (2)		
		構造材料学 (2)	道路工学 (2)			
		交通工学 (2)	社会基盤保全工学 (2)			
			構造設計論 (2)			

学部要覧「抜粋版」
25年度カリキュラム

建築学科 建築エンジニアリングコース

卒業条件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 5科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（4科目4単位）を含めて、英語7科目**7単位以上**、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【基礎科目】 全て選択科目
- 【自然科学科目】 必修科目（4科目6単位）を含めて、**14単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】 (1) 必修科目（34科目）**68単位**を修得しなければならない。ただし、
・必修科目①の26科目**52単位**を修得しなければならない。
・必修科目②(コース必修科目)の8科目**16単位**を修得しなければならない。
(2) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
(3) 上記の必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、基礎科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、グローバルエンジニア関連科目、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**10単位以上**を修得しなければならない。

建築学科		授 業 科 目				建築エンジニアリングコース	
		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次		
教養科目	選 択	文学 (2)	法学 (2)	哲学Ⅰ (2)			
		日本語表現法 (2)	憲法 (2)	哲学Ⅱ (2)			
		心理学Ⅰ (2)	経済学Ⅰ (2)	政治学Ⅰ (2)			
		心理学Ⅱ (2)	経済学Ⅱ (2)	政治学Ⅱ (2)			
外国語科目	必修 英語	英語読解Ⅰ (1)					
		英語読解Ⅱ (1)					
		英語表現法Ⅰ (1)					
		英語表現法Ⅱ (1)					
	選 択 英語		英語講読Ⅰ (1)	TOEICⅢ (1)			
			英語講読Ⅱ (1)	TOEICⅣ (1)			
			英語コミュニケーションⅠ (1)				
			英語コミュニケーションⅡ (1)				
	他 外 国 語		TOEICⅠ (1)				
			TOEICⅡ (1)				
			ドイツ語入門 (1)	基礎ドイツ語Ⅰ (1)			
			基礎日本語Ⅰ (1)	基礎ドイツ語Ⅱ (1)			
		基礎日本語Ⅱ (1)	中国語Ⅰ (1)				
			中国語Ⅱ (1)				
体育科目	必修	体育・スポーツⅠ (1)					
		体育・スポーツⅡ (1)					
	選 択			健康・スポーツ概論 (2)			
基礎科目	選 択	日本語表現基礎 (2)					
		基礎の数学 (2)					
		基礎の物理学 (2)					
		基礎の化学 (2)					
自然科学科目	必修	力と運動の物理学Ⅰ (2)					
		物理学実験 (1)					
		化学Ⅰ (2)					
		化学実験 (1)					
	選 択	微分Ⅰ (2)	電気と磁気の物理学 (2)				
		微分Ⅱ (2)					
		積分 (2)					
		行列・行列式 (2)					
		力と運動の物理学Ⅱ (2)					
		熱とエントロピーの物理学 (2)					
		化学Ⅱ (2)					
専門教育科目	必修 ①	建築構法Ⅰ (2)	建築構法Ⅱ (2)	建築施工Ⅰ (2)	建築実験 (1)		
		建築計画Ⅰ (2)	応用力学Ⅰ (2)	建築設備Ⅰ (2)	卒業研究 (6)		
		建築環境・設備概論 (2)	応用力学Ⅱ (2)	建築関連法規 (2)			
		建築設計製図Ⅰ (2)	構造力学Ⅰ (2)	建築ゼミナール (2)			
		建築設計製図Ⅱ (2)	構造力学Ⅱ (2)	建築倫理 (2)			
		建築情報処理演習Ⅰ (1)	建築材料学Ⅰ (2)				
		建築情報処理演習Ⅱ (1)	建築環境工学Ⅰ (2)				
		西洋建築史 (2)	住宅計画 (2)				
			建築設計演習Ⅰ (2)				
			建築設計演習Ⅱ (2)				
			建築材料実験 (1)				
	必修 ②		建築材料学Ⅱ (2)	鉄筋コンクリート構造 (2)	建築構造設計 (2)		
			建築計画Ⅱ (2)	鋼構造 (2)			
				木質構造設計法 (2)			
				構造力学Ⅲ (2)			
	選 択 必 修			建築基礎構造 (2)			
			建築情報処理演習Ⅲ (2)	都市計画Ⅰ (2)	建築材料科学 (2)		
			日本建築史 (2)	建築計画Ⅲ (2)	鋼構造設計法 (2)		
			建築造形演習 (2)	建築環境工学Ⅱ (2)			
				建築施工Ⅱ (2)			
				建築設備Ⅱ (2)			
				構造力学Ⅳ (2)			
				建築振動学 (2)			
		鉄筋コンクリート構造設計法 (2)					
		建築情報処理演習Ⅴ (2)					
選 択		応用力学Ⅰ演習 (1)	建築設計演習Ⅲ (2)	特別講義 (2)			
		応用力学Ⅱ演習 (1)	建築設計演習Ⅳ (2)	統計学 (2)			
		構造力学Ⅰ演習 (1)	建築人間工学 (2)	インターンシップ (2)			
		構造力学Ⅱ演習 (1)	近代建築史 (2)				
		建築数学 (2)	構造力学Ⅲ演習 (1)				
		建築情報処理演習Ⅳ (2)	建築測量演習 (2)				
	インテリアデザイン (2)	オープンデスク (2)					

学部要覧「抜粋版」
25年度カリキュラム

建築学科 建築デザインコース

卒業条件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】** 5科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】** 必修科目（4科目4単位）を含めて、英語7科目**7単位以上**、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】** 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【基礎科目】** 全て選択科目
- 【自然科学科目】** 必修科目（4科目6単位）を含めて、**14単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】** (1) 必修科目（34科目）**68単位**を修得しなければならない。ただし、
・必修科目①の26科目**52単位**を修得しなければならない。
・必修科目②(コース必修科目)の8科目**16単位**を修得しなければならない。
(2) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
(3) 上記の必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】** 教養科目、外国語科目、体育科目、基礎科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、グローバルエンジニア関連科目、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**10単位以上**を修得しなければならない。

建築学科		授 業 科 目				建築デザインコース	
		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次		
教養科目	選 択	文学 (2)	法学 (2)	哲学 I (2)			
		日本語表現法 (2)	憲法 (2)	哲学 II (2)			
		心理学 I (2)	経済学 I (2)	政治学 I (2)			
		心理学 II (2)	経済学 II (2)	政治学 II (2)			
外国語科目	必 修	英語読解 I (1)					
		英語読解 II (1)					
		英語表現法 I (1)					
		英語表現法 II (1)					
	選 択	英 語	英語講読 I (1)	TOEIC III (1)	TOEIC IV (1)		
			英語講読 II (1)	TOEIC III (1)			
		英語コミュニケーション I (1)					
		英語コミュニケーション II (1)					
		TOEIC I (1)					
	他 外 国 語	TOEIC II (1)					
		ドイツ語入門 (1)			基礎ドイツ語 I (1)		
		基礎日本語 I (1)			基礎ドイツ語 II (1)		
		基礎日本語 II (1)			中国語 I (1)		
		中国語 II (1)	日本語講読 I (1)	日本語講読 II (1)			
		日本語講読 I (1)					
		日本語講読 II (1)					
		日本語講読 II (1)					
体育科目	必 修	体育・スポーツ I (1)					
		体育・スポーツ II (1)					
	選 択			健康・スポーツ概論 (2)			
基礎科目	選 択	日本語表現基礎 (2)					
		基礎の数学 (2)					
		基礎の物理学 (2)					
		基礎の化学 (2)					
自然科学科目	必 修	力と運動の物理学 I (2)					
		物理学実験 (1)					
		化学 I (2)					
		化学実験 (1)					
	選 択	微分 I (2)	電気と磁気の物理学 (2)				
		微分 II (2)					
		積分 (2)					
		行列・行列式 (2)					
		力と運動の物理学 II (2)					
		熱とエントロピーの物理学 (2)					
化学 II (2)							
専門教育科目	必 修 ①	建築構法 I (2)	建築構法 II (2)	建築施工 I (2)	卒業研究 (6)		
		建築計画 I (2)	応用力学 I (2)	建築設備 I (2)			
		建築環境・設備概論 (2)	応用力学 II (2)	建築関連法規 (2)			
		建築設計製図 I (2)	構造力学 I (2)	建築ゼミナール (2)			
		建築設計製図 II (2)	構造力学 II (2)	建築倫理 (2)			
		建築情報処理演習 I (1)	建築材料学 I (2)	建築実験 (1)			
		建築情報処理演習 II (1)	建築環境工学 I (2)				
		西洋建築史 (2)	住宅計画 (2)				
			建築設計演習 I (2)				
			建築設計演習 II (2)				
		建築材料実験 (1)					
	必 修 ②	建築計画 II (2)	都市計画 I (2)	建築計画設計 (2)			
		インテリアデザイン (2)	建築計画 III (2)				
		日本建築史 (2)	建築設計演習 III (2)				
			建築設計演習 IV (2)				
	選 択 必 修	建築材料学 II (2)	鉄筋コンクリート構造 (2)				
		建築造形演習 (2)	鋼構造 (2)				
		建築情報処理演習 III (2)	木質構造設計法 (2)				
		建築情報処理演習 IV (2)	建築基礎構造 (2)				
			建築環境工学 II (2)				
		建築設備 II (2)					
		建築人間工学 (2)					
		近代建築史 (2)					
		建築計画 IV (2)					
		都市計画 II (2)					
選 択	応用力学 I 演習 (1)	構造力学 III (2)	建築材料科学 (2)				
	応用力学 II 演習 (1)	構造力学 III 演習 (1)	特別講義 (2)				
	構造力学 I 演習 (1)	建築施工 II (2)	統計学 (2)				
	構造力学 II 演習 (1)	建築振動学 (2)	インターンシップ (2)				
	建築数学 (2)	建築測量演習 (2)					
		オープンデスク (2)					

学部要覧「抜粋版」
25年度カリキュラム

建築学科 アーキテクトコース

卒業条件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 5科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（4科目4単位）を含めて、英語7科目**7単位以上**、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【基礎科目】 全て選択科目
- 【自然科学科目】 必修科目（4科目6単位）を含めて、**14単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】 (1) 必修科目（35科目）**68単位**を修得しなければならない。ただし、
・必修科目①の26科目**52単位**を修得しなければならない。
・必修科目②(コース必修科目)の9科目**16単位**を修得しなければならない。
(2) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから6科目**12単位以上**を修得しなければならない。
(3) 上記の必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、基礎科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、グローバルエンジニア関連科目、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**10単位以上**を修得しなければならない。

建築学科		授 業 科 目				アーキテクトコース		
		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次			
教養科目	選 択	文学 (2)	法学 (2)	哲学 I (2)				
		日本語表現法 (2)	憲法 (2)	哲学 II (2)				
		心理学 I (2)	経済学 I (2)	政治学 I (2)				
		心理学 II (2)	経済学 II (2)	政治学 II (2)				
外国語科目	必 修	英語読解 I (1)						
		英語読解 II (1)						
		英語表現法 I (1)						
		英語表現法 II (1)						
	選 択	英語	英語講読 I (1)	TOEIC III (1)				
			英語講読 II (1)	TOEIC IV (1)				
			英語コミュニケーション I (1)					
			英語コミュニケーション II (1)					
			TOEIC I (1)					
			TOEIC II (1)					
	他 外 国 語	ドイツ語入門 (1)	基礎ドイツ語 I (1)					
		基礎日本語 I (1)	基礎ドイツ語 II (1)					
基礎日本語 II (1)		中国語 I (1)						
		中国語 II (1)						
体 育 科 目	必 修	体育・スポーツ I (1)						
		体育・スポーツ II (1)						
	選 択				健康・スポーツ概論 (2)			
基 礎 科 目	選 択	日本語表現基礎 (2)						
		基礎の数学 (2)						
		基礎の物理学 (2)						
		基礎の化学 (2)						
自 然 科 学 科 目	必 修	力と運動の物理学 I (2)						
		物理学実験 (1)						
		化学 I (2)						
		化学実験 (1)						
	選 択	微分 I (2)	電気と磁気の物理学 (2)					
		微分 II (2)						
		積分 (2)						
		行列・行列式 (2)						
専 門 教 育 科 目	必 修 ①	建築構法 I (2)	建築構法 II (2)	建築施工 I (2)	卒業研究 (6)			
		建築計画 I (2)	応用力学 I (2)	建築設備 I (2)				
		建築環境・設備概論 (2)	応用力学 II (2)	建築関連法規 (2)				
		建築設計製図 I (2)	構造力学 I (2)	建築ゼミナール (2)				
		建築設計製図 II (2)	構造力学 II (2)	建築倫理 (2)				
		建築情報処理演習 I (1)	建築材料学 I (2)	建築実験 (1)				
		建築情報処理演習 II (1)	建築環境工学 I (2)					
		西洋建築史 (2)	住宅計画 (2)					
			建築設計演習 I (2)					
			建築設計演習 II (2)					
		建築材料実験 (1)						
	必 修 ②	建築造形演習 (2)	都市計画 I (2)	建築計画設計 (2)				
建築意匠設計 I (1)		建築設計演習 III (2)	建築企画 (2)					
日本建築史 (2)		建築設計演習 IV (2)						
		建築意匠設計 II (1)						
選 択 必 修	建築計画 II (2)	建築計画 III (2)						
	インテリアデザイン (2)	鉄筋コンクリート構造 (2)						
	建築材料学 II (2)	鋼構造 (2)						
	建築情報処理演習 III (2)	木質構造設計法 (2)						
	建築情報処理演習 IV (2)	建築環境工学 II (2)						
		建築人間工学 (2)						
選 択		近代建築史 (2)						
		建築計画 IV (2)						
		都市計画 II (2)						
		応用力学 I 演習 (1)					建築基礎構造 (2)	特別講義 (2)
		応用力学 II 演習 (1)					建築設備 II (2)	統計学 (2)
		構造力学 I 演習 (1)					構造力学 III (2)	インターンシップ (2)
		構造力学 II 演習 (1)					構造力学 III 演習 (1)	
		建築数学 (2)					建築施工 II (2)	
		オープンデスク (2)						
		建築測量演習 (2)						

学部要覧「抜粋版」
25年度カリキュラム

機械工学科

卒業条件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 5科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（4科目4単位）を含めて、英語7科目**7単位以上**、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【基礎科目】 全て選択科目
- 【自然科学科目】 必修科目（4科目6単位）を含めて、**14単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】 必修科目（21科目）**54単位**を含めて、合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、基礎科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、グローバルエンジニア関連科目、教職課程科目（教科に関する科目）、臨床工学技士課程科目、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**10単位以上**を修得しなければならない。

機械工学科

授 業 科 目

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
教養科目	選 択	文学 (2)	法学 (2)	心理学Ⅰ (2)		
		日本語表現法 (2)	憲法 (2)	心理学Ⅱ (2)		
		哲学Ⅰ (2)	政治学Ⅰ (2)	経済学Ⅰ (2)		
		哲学Ⅱ (2)	政治学Ⅱ (2)	経済学Ⅱ (2)		
		日本の文化 (2)	歴史学 (2)			
外国語科目	必 修	英語読解Ⅰ (1)				
		英語読解Ⅱ (1)				
		英語表現法Ⅰ (1)				
		英語表現法Ⅱ (1)				
	選 択	英 語		英語講読Ⅰ (1)	TOEICⅢ (1)	
				英語講読Ⅱ (1)	TOEICⅣ (1)	
				英語コミュニケーションⅠ (1)		
				英語コミュニケーションⅡ (1)		
	選 択	他 外 国 語		TOEICⅠ (1)		
				TOEICⅡ (1)		
			ドイツ語入門 (1)	基礎ドイツ語Ⅰ (1)		
			基礎日本語Ⅰ (1)	基礎ドイツ語Ⅱ (1)		
		基礎日本語Ⅱ (1)	中国語Ⅰ (1)			
			中国語Ⅱ (1)			
			日本語講読Ⅰ (1)			
			日本語講読Ⅱ (1)			
体育科目	必 修	体育・スポーツⅠ (1)				
	選 択	体育・スポーツⅡ (1)		健康・スポーツ概論 (2)		
基礎科目	選 択	日本語表現基礎 (2)				
		基礎の数学 (2)				
		基礎の物理学 (2)				
		基礎の化学 (2)				
自然科学科目	必 修	微分Ⅰ (2)				
		積分 (2)				
		物理学実験 (1)				
		化学実験 (1)				
	選 択	微分Ⅱ (2)	電気と磁気の物理学 (2)			
		行列・行列式 (2)				
		力と運動の物理学Ⅰ (2)				
		力と運動の物理学Ⅱ (2)				
		熱とエントロピーの物理学 (2)				
		化学Ⅰ (2)				
		化学Ⅱ (2)				
専門教育科目	必 修	機械力学Ⅰ及び演習 (3)	材料力学Ⅰ及び演習 (3)	流れの力学Ⅱ及び演習 (3)	卒業研究 (6)	
		ロハス工学Ⅰ (2)	材料力学Ⅱ及び演習 (3)	材料加工 (2)		
			機械材料 (2)	技術者倫理 (2)		
			機械力学Ⅱ及び演習 (3)	機械設計製図 (2)		
			熱力学Ⅰ及び演習 (3)	機械工学実験Ⅱ (2)		
			熱力学Ⅱ及び演習 (3)	機械工学ゼミナール (2)		
			流れの力学Ⅰ及び演習 (3)			
			機械製図 (2)			
			機械要素設計 (2)			
			ロハス工学Ⅱ (2)			
		機械工学実験Ⅰ (2)				
		機械工作実習 (2)				
	選 択	基礎製図 (2)	計測工学 (2)	材料の強度 (2)	生産工学 (2)	
		数値計算リテラシー (2)	CAD・CAM (2)	機械製作法 (2)	ロボット工学 (2)	
		機械工学入門 (2)	電気・電子工学概論 (2)	制御工学 (2)	エネルギー工学 (2)	
		機械の基礎解析 (2)	確率・統計 (2)	伝熱工学 (2)	産業財産権法 (2)	
			微分方程式 (2)	冷凍空調工学 (2)	ヒューマンダイナミクス (2)	
			線形代数 (2)	熱機関工学 (2)	自動車工学 (2)	
				流体工学 (2)	航空宇宙工学 (2)	
				流体機械 (2)		
			トライボロジー (2)			
			計算力学 (2)			
		機械の数学 (2)				
		機械技術英語 (1)				
		企業実習 (1)				

学部要覧「抜粋版」
25年度カリキュラム

電気電子工学科 電子情報通信コース

卒業条件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 5科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（4科目4単位）を含めて、英語7科目**7単位以上**、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【基礎科目】 全て選択科目
- 【自然科学科目】 必修科目（8科目14単位）を含めて、**14単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】 (1) 必修科目（17科目）**38単位**を修得しなければならない。
(2) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから**32単位以上**を修得しなければならない。
(3) 上記の必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、基礎科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、グローバルエンジニア関連科目、教職課程科目（教科に関する科目）、臨床工学技士課程科目、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**10単位以上**を修得しなければならない。

電気電子工学科

授 業 科 目

電子情報通信コース

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
教養科目	選 択	哲学Ⅰ (2)	政治学Ⅰ (2)	文学 (2)		
		哲学Ⅱ (2)	政治学Ⅱ (2)	日本語表現法 (2)		
		心理学Ⅰ (2)	経済学Ⅰ (2)	法学 (2)		
		心理学Ⅱ (2)	経済学Ⅱ (2)	憲法 (2)		
			日本の文化 (2)	歴史学 (2)		
外国語科目	必 修	英語読解Ⅰ (1)				
		英語読解Ⅱ (1)				
		英語表現法Ⅰ (1)				
		英語表現法Ⅱ (1)				
	選 択	英 語		英語講読Ⅰ (1)	TOEICⅢ (1)	
				英語講読Ⅱ (1)	TOEICⅣ (1)	
				英語コミュニケーションⅠ (1)		
				英語コミュニケーションⅡ (1)		
				TOEICⅠ (1)		
				TOEICⅡ (1)		
	選 択	他 外 国 語	ドイツ語入門 (1)	基礎ドイツ語Ⅰ (1)		
			基礎日本語Ⅰ (1)	基礎ドイツ語Ⅱ (1)		
			基礎日本語Ⅱ (1)	中国語Ⅰ (1)		
			中国語Ⅱ (1)			
		日本語講読Ⅰ (1)				
		日本語講読Ⅱ (1)				
体育科目	必 修	体育・スポーツⅠ (1)				
	選 択	体育・スポーツⅡ (1)		健康・スポーツ概論 (2)		
基礎科目	選 択	日本語表現基礎 (2)				
		基礎の数学 (2)				
		基礎の物理学 (2)				
		基礎の化学 (2)				
自然科学科目	必 修	微分Ⅰ (2)				
		積分 (2)				
		行列・行列式 (2)				
		力と運動の物理学Ⅰ (2)				
		電気と磁気の物理学 (2)				
		物理学実験 (1)				
	化学Ⅰ (2)					
	化学実験 (1)					
選 択	微分Ⅱ (2)	熱とエントロピーの物理学 (2)				
	力と運動の物理学Ⅱ (2)					
	化学Ⅱ (2)					
専門教育科目	必 修	電気電子数学Ⅰ (2)	電気回路Ⅱ及び演習 (3)	エネルギー機器実験 (2)	卒業研究 (6)	
		電気電子数学Ⅱ (2)	電磁気学Ⅰ及び演習 (3)	高周波実験 (2)		
		電気回路Ⅰ及び演習 (3)	電磁気学Ⅱ及び演習 (3)	ゼミナール (2)		
		産業入門セミナー (2)	電気電子基礎実験Ⅰ (1)	電気電子工学技術者倫理 (2)		
		情報リテラシー (1)	電気電子基礎実験Ⅱ (1)			
		電気電子製作実習 (1)				
		Cプログラミング及び演習 (2)				
	選 択 必 修	電気電子数学Ⅲ (2)	デジタル回路 (2)	電波法及び電気通信事業法 (2)		
		電気電子数学Ⅳ (2)	コンピュータネットワーク (2)	電波電子応用 (2)		
		実用Cプログラミング及び演習 (2)	通信工学Ⅰ (2)			
		コンピュータ工学 (2)	通信工学Ⅱ (2)			
		伝送回路 (2)	電磁波工学 (2)			
		電気電子計測Ⅰ (2)	電子回路Ⅰ (2)			
		電気電子計測Ⅱ (2)	電子回路Ⅱ (2)			
		過渡現象 (2)	電子デバイス (2)			
	離散数学 (2)	光エレクトロニクス (2)				
	半導体デバイス (2)	電気電子技術英語 (1)				
	選 択	電気機器Ⅰ (2)	電気音響工学 (2)	システム工学 (2)		
		電気機器Ⅱ (2)	電気電子材料 (2)	電気法規・施設管理 (2)		
電気電子設計製図 (2)		電力工学Ⅰ (2)	電力応用 (2)			
確率・統計 (2)		電力工学Ⅱ (2)	パワーエレクトロニクス (2)			
		制御工学 (2)				
	企業実習 (1)					

電気電子工学科 電気エネルギーコース

卒業条件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 5科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（4科目4単位）を含めて、英語7科目**7単位以上**、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【基礎科目】 全て選択科目
- 【自然科学科目】 必修科目（8科目14単位）を含めて、**14単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】 (1) 必修科目（17科目）**38単位**を修得しなければならない。
(2) 選択必修科目（コース選択必修科目）のうちから**32単位以上**を修得しなければならない。
(3) 上記の必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、基礎科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、グローバルエンジニア関連科目、教職課程科目（教科に関する科目）、臨床工学技士課程科目、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**10単位以上**を修得しなければならない。

電気電子工学科

授 業 科 目

電気エネルギーコース

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
教養科目	選 択	哲学Ⅰ (2)	政治学Ⅰ (2)	文学 (2)		
		哲学Ⅱ (2)	政治学Ⅱ (2)	日本語表現法 (2)		
		心理学Ⅰ (2)	経済学Ⅰ (2)	法学 (2)		
		心理学Ⅱ (2)	経済学Ⅱ (2)	憲法 (2)		
		日本の文化 (2)	歴史学 (2)			
外国語科目	必 修	英語読解Ⅰ (1)				
		英語読解Ⅱ (1)				
		英語表現法Ⅰ (1)				
		英語表現法Ⅱ (1)				
	選 択	英 語		英語講読Ⅰ (1)	TOEICⅢ (1)	
				英語講読Ⅱ (1)	TOEICⅣ (1)	
			英語コミュニケーションⅠ (1)			
			英語コミュニケーションⅡ (1)			
			TOEICⅠ (1)			
			TOEICⅡ (1)			
他 外 国 語	ドイツ語入門 (1)	基礎ドイツ語Ⅰ (1)				
	基礎日本語Ⅰ (1)	基礎ドイツ語Ⅱ (1)				
	基礎日本語Ⅱ (1)	中国語Ⅰ (1)				
		中国語Ⅱ (1)				
		日本語講読Ⅰ (1)				
		日本語講読Ⅱ (1)				
体育科目	必 修	体育・スポーツⅠ (1)				
	選 択	体育・スポーツⅡ (1)		健康・スポーツ概論 (2)		
基礎科目	選 択	日本語表現基礎 (2)				
		基礎の数学 (2)				
		基礎の物理学 (2)				
		基礎の化学 (2)				
自然科学科目	必 修	微分Ⅰ (2)				
		積分 (2)				
		行列・行列式 (2)				
		力と運動の物理学Ⅰ (2)				
		電気と磁気の物理学 (2)				
		物理学実験 (1)				
	化学Ⅰ (2)					
	化学実験 (1)					
選 択	微分Ⅱ (2)	熱とエントロピーの物理学 (2)				
	力と運動の物理学Ⅱ (2)					
		化学Ⅱ (2)				
専門教育科目	必 修	電気電子数学Ⅰ (2)	電気回路Ⅱ及び演習 (3)	エネルギー機器実験 (2)	卒業研究 (6)	
		電気電子数学Ⅱ (2)	電磁気学Ⅰ及び演習 (3)	高周波実験 (2)		
		電気回路Ⅰ及び演習 (3)	電磁気学Ⅱ及び演習 (3)	ゼミナール (2)		
		産業入門セミナー (2)	電気電子基礎実験Ⅰ (1)	電気電子工学技術者倫理 (2)		
		情報リテラシー (1)	電気電子基礎実験Ⅱ (1)			
		電気電子製作実習 (1)				
	Cプログラミング及び演習 (2)					
	選 択 必 修		電気電子設計製図 (2)	電力工学Ⅰ (2)	システム工学 (2)	
			電気電子数学Ⅲ (2)	電力工学Ⅱ (2)	電気法規・施設管理 (2)	
			電気電子数学Ⅳ (2)	電子回路Ⅰ (2)	電力応用 (2)	
			実用Cプログラミング及び演習 (2)	電子回路Ⅱ (2)	パワーエレクトロニクス (2)	
			電気機器Ⅰ (2)	電気電子材料 (2)		
			電気機器Ⅱ (2)	制御工学 (2)		
			伝送回路 (2)	電子デバイス (2)		
			電気電子計測Ⅰ (2)	電気電子技術英語 (1)		
			電気電子計測Ⅱ (2)	電気音響工学 (2)		
			過渡現象 (2)			
		半導体デバイス (2)				
	選 択		コンピュータ工学 (2)	光エレクトロニクス (2)	電波法及び電気通信事業法 (2)	
			離散数学 (2)	デジタル回路 (2)	電波電子応用 (2)	
		確率・統計 (2)	電磁波工学 (2)			
			コンピュータネットワーク (2)			
			通信工学Ⅰ (2)			
		通信工学Ⅱ (2)				
		企業実習 (1)				

学部要覧「抜粋版」
25年度カリキュラム

生命応用化学科

卒業条件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 5科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（4科目4単位）を含めて、英語7科目**7単位以上**、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【基礎科目】 必修科目（1科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】 必修科目（6科目10単位）を含めて、**14単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】 必修科目（21科目）**45単位**を含めて、合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、基礎科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、グローバルエンジニア関連科目、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**8単位以上**を修得しなければならない。

生命応用化学科

授 業 科 目

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
教養科目	選 択	法学 (2)	文学 (2)	哲学 I (2)		
		憲法 (2)	日本語表現法 (2)	哲学 II (2)		
		経済学 I (2)	心理学 I (2)	政治学 I (2)		
		経済学 II (2)	心理学 II (2)	政治学 II (2)		
		日本の文化 (2)	歴史学 (2)			
外国語科目	必 修	英語読解 I (1)				
		英語読解 II (1)				
		英語表現法 I (1)				
		英語表現法 II (1)				
	選 択	英 語		英語講読 I (1)	TOEIC III (1)	
				英語講読 II (1)	TOEIC IV (1)	
				英語コミュニケーション I (1)		
				英語コミュニケーション II (1)		
				TOEIC I (1)		
				TOEIC II (1)		
他 外 国 語		ドイツ語入門 (1)	基礎ドイツ語 I (1)			
		基礎日本語 I (1)	基礎ドイツ語 II (1)			
		基礎日本語 II (1)	中国語 I (1)			
			中国語 II (1)			
		日本語講読 I (1)				
		日本語講読 II (1)				
体育科目	必 修	体育・スポーツ I (1)				
	選 択	体育・スポーツ II (1)		健康・スポーツ概論 (2)		
基礎科目	必 修	基礎の化学 (2)				
	選 択	日本語表現基礎 (2)				
		基礎の数学 (2)				
		基礎の物理学 (2)				
自然科学科目	必 修	微分 I (2)				
		力と運動の物理学 I (2)				
		物理学実験 (1)				
		化学 I (2)				
		化学 II (2)				
		化学実験 (1)				
	選 択	微分 II (2)	電気と磁気の物理学 (2)			
		積分 (2)				
		行列・行列式 (2)				
		力と運動の物理学 II (2)				
		熱とエントロピーの物理学 (2)				
専門教育科目	必 修	無機化学 I (2)	無機化学 II (2)	化学技術者倫理 (2)	化学技術英語 (1)	
		有機化学 I (2)	有機化学 II (2)	生命応用化学実験及び演習 IV (2)	卒業研究 (6)	
		生命化学 I (2)	生命化学 II (2)	生命応用化学実験及び演習 V (2)		
		化学数学 I (2)	分析化学 (2)	生命応用化学実験及び演習 VI (2)		
		生命応用化学入門 (2)	物理化学 (2)			
		化学情報処理入門 (2)	化学工学 I (2)			
			生命応用化学実験及び演習 I (2)			
			生命応用化学実験及び演習 II (2)			
		生命応用化学実験及び演習 III (2)				
	選 択	化学数学 II (2)	分子構造解析 (2)			
		基礎固体化学 (2)	無機分析化学 (2)			
		環境化学計測 (2)	化学情報処理 I (2)			
		環境科学 (2)	化学情報処理 II (2)			
		有機材料化学 (2)	電気化学 (2)			
		固体化学 (2)	セラミックス材料 (2)			
		化学統計学 (2)	高分子合成化学 (2)			
有機合成化学 (2)		分子生物学 (2)				
生体物質化学 I (2)	生体物質化学 II (2)					
量子化学 (2)	物性化学 (2)					
化学工学 II (2)	火薬学 (2)					
化学熱力学 (2)	ケミカルバイオロジー (2)					
	環境プロセス (2)					
	応用熱力学 (2)					
	分離工学 (2)					
	応用無機化学 (2)					
	有機工業化学 (2)					
	高分子材料 (2)					
	資源環境化学 (2)					
	細胞生物化学 (2)					
	光機能化学 (2)					
	生物反応工学 (2)					
	化学安全工学 (2)					
	化学・バイオ産業セミナー (2)					

学部要覧「抜粋版」
25年度カリキュラム

情報工学科 情報システムコース

卒業条件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】** 5科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】** 必修科目（4科目4単位）を含めて、英語7科目**7単位以上**、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】** 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【基礎科目】** 全て選択科目
- 【自然科学科目】** 必修科目（3科目4単位）を含めて、**14単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】**
- (1) 必修科目（19科目）**48単位**を修得しなければならない。
 - (2) 選択必修科目のうちから**29単位以上**を修得しなければならない。ただし、
 - ・選択必修科目①のうちから**4単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目②(コース選択必修科目)のうちから**25単位以上**を修得しなければならない。
 - (3) 上記の必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】** 教養科目、外国語科目、体育科目、基礎科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、グローバルエンジニア関連科目、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**10単位以上**を修得しなければならない。

情報工学科

授 業 科 目

情報システムコース

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
教養科目	選 択	政治学Ⅰ (2)	哲学Ⅰ (2)	文学 (2)		
		政治学Ⅱ (2)	哲学Ⅱ (2)	日本語表現法 (2)		
		経済学Ⅰ (2)	心理学Ⅰ (2)	法学 (2)		
		経済学Ⅱ (2)	心理学Ⅱ (2)	憲法 (2)		
			日本の文化 (2)	歴史学 (2)		
外国語科目	必修 英語	英語読解Ⅰ (1)				
		英語読解Ⅱ (1)				
		英語表現法Ⅰ (1)				
		英語表現法Ⅱ (1)				
	選 択 英語		英語講読Ⅰ (1)	TOEICⅢ (1)		
			英語講読Ⅱ (1)	TOEICⅣ (1)		
			英語コミュニケーションⅠ (1)			
			英語コミュニケーションⅡ (1)			
			TOEICⅠ (1)			
			TOEICⅡ (1)			
	選 択 他外国語	ドイツ語入門 (1)	基礎ドイツ語Ⅰ (1)			
		基礎日本語Ⅰ (1)	基礎ドイツ語Ⅱ (1)			
		基礎日本語Ⅱ (1)	中国語Ⅰ (1)			
		中国語Ⅱ (1)				
		日本語講読Ⅰ (1)				
		日本語講読Ⅱ (1)				
体育科目	必修	体育・スポーツⅠ (1)				
		体育・スポーツⅡ (1)				
	選 択			健康・スポーツ概論 (2)		
基礎科目	選 択	日本語表現基礎 (2)				
		基礎の数学 (2)				
		基礎の物理学 (2)				
		基礎の化学 (2)				
自然科学科目	必修	行列・行列式 (2)				
		物理学実験 (1)				
		化学実験 (1)				
	選 択	微分Ⅰ (2)	熱とエントロピーの物理学 (2)			
		微分Ⅱ (2)				
		積分 (2)				
		力と運動の物理学Ⅰ (2)				
		力と運動の物理学Ⅱ (2)				
		電気と磁気の物理学 (2)				
		化学Ⅰ (2)				
化学Ⅱ (2)						
専門教育科目	必修	コンピュータ入門及び演習 (3)	コミュニケーションスキル (2)	ソフトウェア設計法及び演習 (3)	卒業研究 (6)	
		プログラミング入門及び演習 (3)	情報と職業 (2)	コンピュータネットワーク (2)		
		プログラミングの基礎及び演習 (3)	データ構造入門及び演習 (3)	情報工学ゼミナール (2)		
		コンピュータアーキテクチャ入門 (2)	コンピュータアーキテクチャⅠ (2)			
		線形代数 (2)	離散数学及び演習 (3)			
		線形代数演習 (1)	確率統計及び演習 (3)			
			情報社会と技術者倫理 (2)			
			データベース工学 (2)			
			基礎オペレーティングシステム (2)			
		選 択 必修①			コンピュータビジョン及び演習 (3)	知能情報処理演習 (1)
				デザインと感性及び演習 (3)	コンピュータグラフィックス演習 (1)	
				大規模ソフトウェア開発法及び演習 (3)	組み込みシステム演習 (1)	
	選 択 必修②			ネットワーク管理技術及び演習 (3)	データベース開発演習 (1)	
			Webコンテンツ及び演習 (3)	データ構造とプログラミング及び演習 (3)		
			情報理論 (2)	プログラミング言語 (2)		
			画像情報処理及び演習 (3)	オートマトンと言語及び演習 (3)		
			WWWとJavaプログラミング及び演習 (3)	高度オペレーティングシステム (2)		
			符号とセキュリティ (2)	アルゴリズム論 (2)		
			コンピュータアーキテクチャⅡ (2)	コンパイラ及び演習 (3)		
			論理回路 (2)	情報ネットワーク (2)		
			論理回路演習 (1)			
		選 択		情報処理演習Ⅰ (1)	環境と情報 (2)	
				人工知能 (2)		
			情報マネジメント (2)			
			数値解析法 (2)			
			数値解析法演習 (1)			
			知能情報処理 (2)			
			マルチメディア (2)			
			コンピュータグラフィックス (2)			
			ヒューマンインターフェースと音声 (2)			
			生産情報システム工学 (2)			
		オペレーションズリサーチ (2)				
		情報処理演習Ⅱ (1)				
		企業実習 (1)				

学部要覧「抜粋版」
25年度カリキュラム

情報工学科 情報デザインコース

卒業条件

卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【教養科目】 5科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】 必修科目（4科目4単位）を含めて、英語7科目**7単位以上**、合計10科目**10単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【基礎科目】 全て選択科目
- 【自然科学科目】 必修科目（3科目4単位）を含めて、**14単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】 (1) 必修科目（19科目）**48単位**を修得しなければならない。
(2) 選択必修科目のうちから**29単位以上**を修得しなければならない。ただし、
・選択必修科目①のうちから**4単位以上**を修得しなければならない。
・選択必修科目②(コース選択必修科目)のうちから**25単位以上**を修得しなければならない。
(3) 上記の必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】 教養科目、外国語科目、体育科目、基礎科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、グローバルエンジニア関連科目、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**10単位以上**を修得しなければならない。

情報工学科

授 業 科 目

情報デザインコース

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
教養科目	選 択	政治学Ⅰ (2)	哲学Ⅰ (2)	文学 (2)		
		政治学Ⅱ (2)	哲学Ⅱ (2)	日本語表現法 (2)		
		経済学Ⅰ (2)	心理学Ⅰ (2)	法学 (2)		
		経済学Ⅱ (2)	心理学Ⅱ (2)	憲法 (2)		
		日本の文化 (2)	歴史学 (2)			
外国語科目	必 修	英語読解Ⅰ (1)				
		英語読解Ⅱ (1)				
		英語表現法Ⅰ (1)				
		英語表現法Ⅱ (1)				
	選 択	英 語		英語講読Ⅰ (1)	TOEICⅢ (1)	
				英語講読Ⅱ (1)	TOEICⅣ (1)	
				英語コミュニケーションⅠ (1)		
				英語コミュニケーションⅡ (1)		
		他 外 国 語	TOEICⅠ (1)			
			TOEICⅡ (1)			
選 択	ドイツ語入門 (1)	基礎ドイツ語Ⅰ (1)				
	基礎日本語Ⅰ (1)	基礎ドイツ語Ⅱ (1)				
	基礎日本語Ⅱ (1)	中国語Ⅰ (1)				
		中国語Ⅱ (1)				
		日本語講読Ⅰ (1)				
		日本語講読Ⅱ (1)				
体育科目	必 修	体育・スポーツⅠ (1)				
	選 択	体育・スポーツⅡ (1)		健康・スポーツ概論 (2)		
基礎科目	選 択	日本語表現基礎 (2)				
		基礎の数学 (2)				
		基礎の物理学 (2)				
		基礎の化学 (2)				
自然科学科目	必 修	行列・行列式 (2)				
		物理学実験 (1)				
		化学実験 (1)				
	選 択	微分Ⅰ (2)	熱とエントロピーの物理学 (2)			
		微分Ⅱ (2)				
		積分 (2)				
		力と運動の物理学Ⅰ (2)				
		力と運動の物理学Ⅱ (2)				
電気と磁気の物理学 (2)						
化学Ⅰ (2)						
化学Ⅱ (2)						
専門教育科目	必 修	コンピュータ入門及び演習 (3)	コミュニケーションスキル (2)	ソフトウェア設計法及び演習 (3)	卒業研究 (6)	
		プログラミング入門及び演習 (3)	情報と職業 (2)	コンピュータネットワーク (2)		
		プログラミングの基礎及び演習 (3)	データ構造入門及び演習 (3)	情報工学ゼミナール (2)		
		コンピュータアーキテクチャ入門 (2)	コンピュータアーキテクチャⅠ (2)			
		線形代数 (2)	離散数学及び演習 (3)			
		線形代数演習 (1)	確率統計及び演習 (3)			
			情報社会と技術者倫理 (2)			
			データベース工学 (2)			
			基礎オペレーティングシステム (2)			
	選 択 必 修 ①			コンピュータビジョン及び演習 (3)	知能情報処理演習 (1)	
				デザインと感性及び演習 (3)	コンピュータグラフィックス演習 (1)	
				大規模ソフトウェア開発法及び演習 (3)	組み込みシステム演習 (1)	
	選 択 必 修 ②			ネットワーク管理技術及び演習 (3)	データベース開発演習 (1)	
			Webコンテンツ及び演習 (3)	環境と情報 (2)		
			情報理論 (2)	人工知能 (2)		
			画像情報処理及び演習 (3)	情報マネジメント (2)		
			WWWとJavaプログラミング及び演習 (3)	数値解析法 (2)		
			符号とセキュリティ (2)	数値解析法演習 (1)		
		コンピュータアーキテクチャⅡ (2)	知能情報処理 (2)			
		論理回路 (2)	マルチメディア (2)			
	論理回路演習 (1)	コンピュータグラフィックス (2)				
選 択			ヒューマンインターフェースと音声 (2)			
		情報処理演習Ⅰ (1)	データ構造とプログラミング及び演習 (3)			
			プログラミング言語 (2)			
			オートマトンと言語及び演習 (3)			
			高度オペレーティングシステム (2)			
			アルゴリズム論 (2)			
			コンパイラ及び演習 (3)			
			情報ネットワーク (2)			
		生産情報システム工学 (2)				
		オペレーションズリサーチ (2)				
			情報処理演習Ⅱ (1)			
			企業実習 (1)			

D 単位認定制度

I 日本大学相互履修制度

■ 日本大学相互履修制度について

日本大学では、平成7年度から日本大学相互履修に関する規則を制定し、本学学生が在籍する学部以外の学部の授業科目を履修できる相互履修制度を実施しています。

この趣旨は

学生の自主的学修意欲とその多様性に應えるべく、本学の多分野・学際領域にわたる教育・研究上の総合力を発揮して、学生の履修の幅の拡大及び専攻を異にする学生の共同学修による履修の深度の増大と活性化を図るため、全学的規模における相互履修制度を実施することにあります。

1 相互履修科目について

各学部から相互履修科目が指定されます（教務課窓口で閲覧可能）。

2 相互履修科目の単位認定について

履修科目の選択には特に制限を設けていませんが、履修できる単位数は30単位以内です。

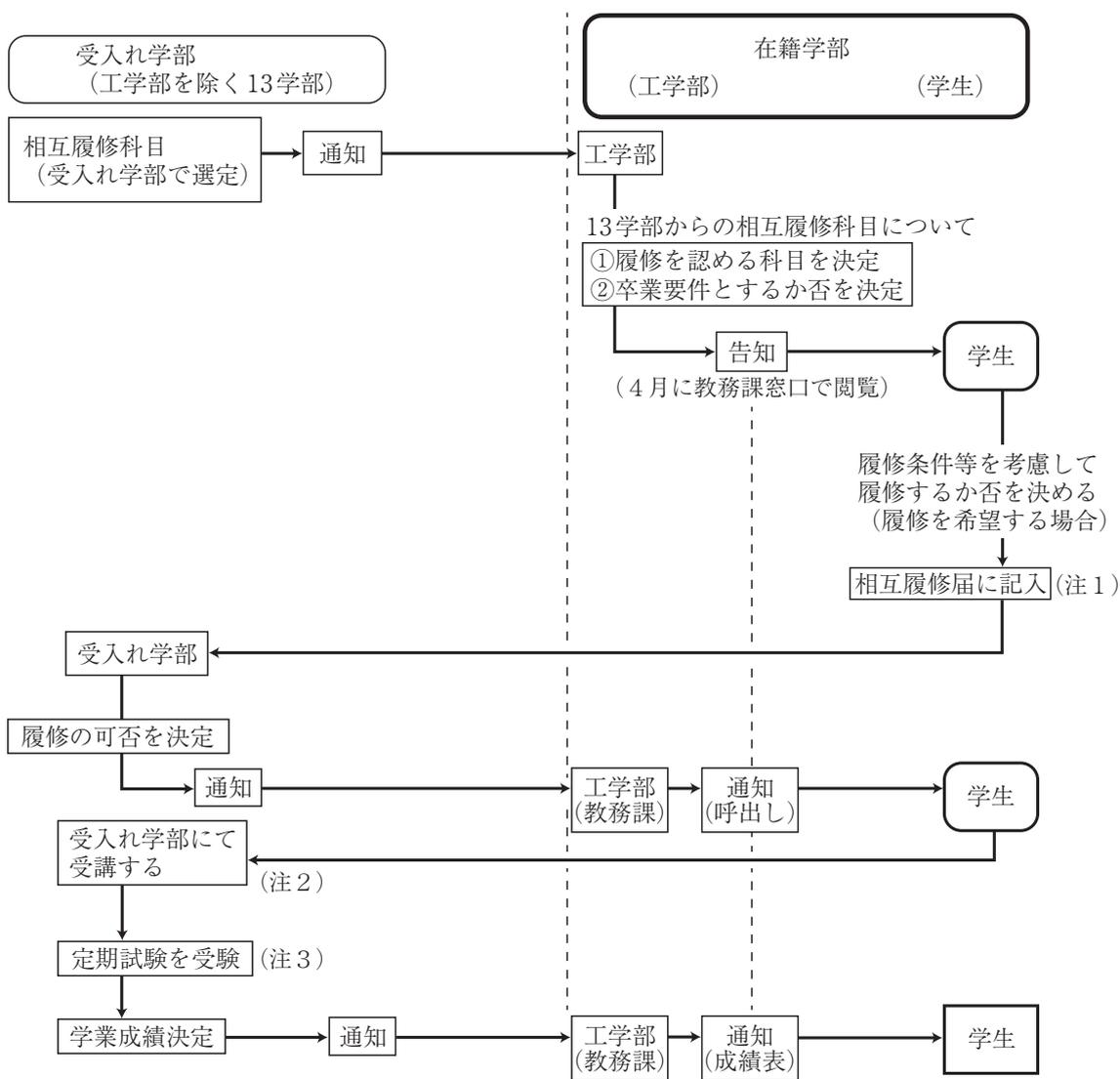
ただし、卒業に必要な単位数の認定条件は下表のとおりです。

入 学 年 度	平成17年度～
カ リ キ ュ ラ ム	25年度／29年度カリキュラム
卒 業 要 件 として 認められる単位数	学科・コース毎に定める総合選択単位数以内
卒 業 要 件	総合選択単位の一部として扱う
成 績	評価基準による成績評価

3 相互履修科目の履修方法について

希望者は下の手順を参考にして相互履修届を提出してください。ただし、受講に際しては、受入れ学部の事情等により承認を得た学生のみでの受講となるので注意してください。

工学部の学生が他学部の相互履修科目を受講する場合の手順



注1 工学部教務課で所定用紙を受取り、必要事項を記入して、受入れ学部が指定する期間内に受入れ学部の教務課に提出すること。また、学部要覧、時間割などは教務課にあるので参照のこと。

相互履修届を提出する以前であっても相互履修科目を受講することができる。

注2 受入れ学部での相互履修科目受講料は徴収しない。

注3 定期試験は、受入れ学部で受験すること。ただし、工学部の定期試験と重なり受験できない場合は、例外措置として在籍学部で受験できる。

定期試験の時間割は、実施2週間前に在籍学部（工学部）に連絡される。

II 単位互換制度

■ 単位互換制度について

この制度は、日本大学工学部と他大学間で相互に協定を締結し、これらの大学に所属する学生が他大学の講義を受講し修得した単位を、その学生の所属する大学の単位として認定できるようにする制度で、アカデミア・コンソーシアムふくしま加盟大学間相互単位互換制度といいます。

1 単位互換科目

受入れ大学（他大学）が指定する授業を受講します。

（教務課窓口で4月上旬から閲覧可能）

2 単位互換科目の単位認定について

卒業に必要な科目として認定される単位数は、下表のとおりです。

入 学 年 度	平成17年度～
カ リ キ ュ ラ ム	25年度／29年度カリキュラム
卒 業 要 件 として 認められる単位数	学科・コース毎に定める総合選択単位数以内
卒 業 条 件	総合選択単位の一部として扱う
成 績	認 定

3 対象学年

学部2年次生以上

4 出願方法・出願期間・出願書類提出場所

希望者は工学部の教務課で所定の申込手続きをしてください。

出願期間は、前学期開講科目・通年科目については、4月上旬です。後学期開講科目の出願期間については、受入れ大学によって4月上旬であったり、9月以降であったりと出願期間が大きく異なる場合がありますので、教務課窓口で単位互換科目を閲覧する際、あわせて確認してください。

提出書類は、「特別聴講学生出願書」を工学部教務課窓口で受取り、必要事項を記入して工学部教務課に提出してください。

なお、受講料等は無料です。

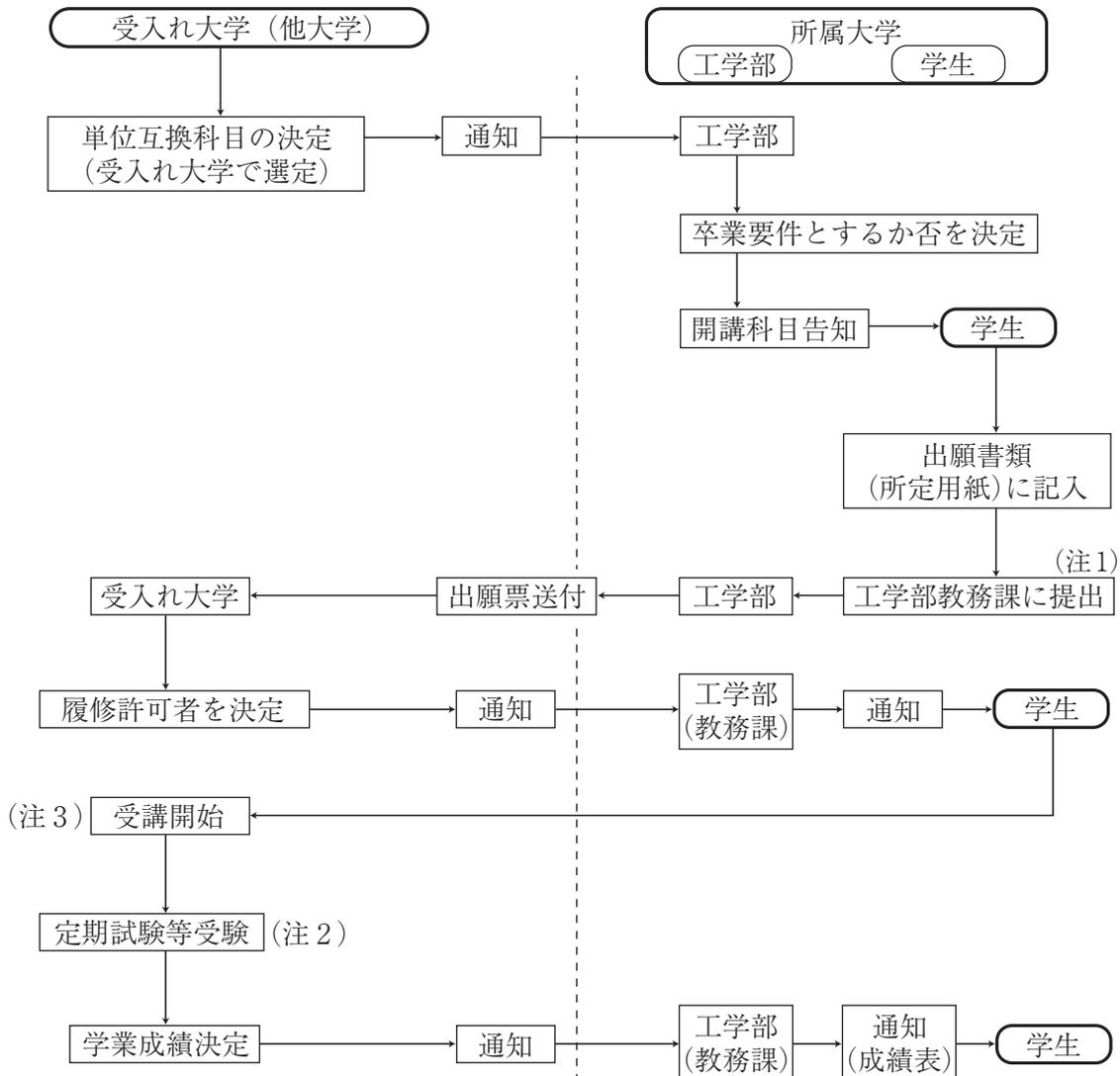
5 履修許可及び履修手続き

【アカデミア・コンソーシアムふくしま単位互換協定校】

日本大学工学部、郡山女子大学及び郡山女子大学短期大学部の他、次の大学、短期大学及び高等専門学校が加盟しています。

- ・会津大学 ・医療創生大学（いわき明星大学） ・東日本国際大学 ・福島学院大学
- ・福島県立医科大学 ・福島大学 ・会津大学短期大学部 ・いわき短期大学
- ・桜の聖母短期大学 ・福島学院大学短期大学部 ・福島工業高等専門学校

工学部の学生が他大学の単位互換科目を受講する場合の手順



注1 教務課で所定用紙を受取り，期限内に提出のこと。また，時間割や講義内容など必要な資料は教務課にあるので参照のこと。なお，受入れ大学と工学部の授業は，重複しての履修登録はできないので注意すること。

注2 定期試験は，受入れ大学で受験すること。ただし，工学部の定期試験等と重なり受験できない場合は，受入れ大学の教務課に申し出て指示を受けること。試験時間割等は受入れ大学の掲示にて連絡する。

注3 他大学には学生駐車場がないので，車等での通学はできません。

Ⅲ 英語検定試験を利用した単位認定制度

平成15年度から英語検定試験を利用した単位認定制度を実施しています。この制度は英語検定試験の結果がある一定水準に達した学生に対し、正課授業（英語）の単位の一部を認定するものです。本制度の内容は以下のとおりです。

1 単位認定に利用できる英語検定試験の種類

以下の3種類とする。

- ① Test of English for International Communication (TOEIC) (TOEIC IPを含む)
- ② Test of English as a Foreign Language (TOEFL) (TOEFL IPを含む)
- ③ 実用英語技能検定試験 (英検)

2 認定基準・認定単位数

以下の表のとおりとする。

レベル	TOEIC	TOEFL (iBT値/CBT値)	英 検	認定単位数
1	750点以上	550(79/213)点以上	準1級以上	6単位を上限とする
2	600～749点	487(57/163)～549(78/212)点		4単位を上限とする
3	500～599点	450(45/133)～486(56/162)点	2級	2単位を上限とする

なお、単位認定の申請は、TOEIC、TOEFL、英検の3つのうち、それぞれのレベルで1つ以上の条件を満たした者ができる。また、下位の基準により単位認定を受けた者が、新たに上位の基準を満たし申請した場合、上位の基準以内で認定する。

3 評価成績

成績はスコアや資格（級位）によらず「認定」とする。

4 認定対象科目

- ① 必修科目・選択科目の区別なく英語の授業科目全てを認定可能な科目とする。
- ② 英語検定試験結果は、検定試験の種類に関係なく、英語の全ての授業科目に利用できる。
- ③ 単位の認定は、単位未修得科目に限って行う。

5 申請方法

- ① 単位認定を受けようとする者は、外国語教室の指導を受けた後、単位認定申請書（別に定める）にスコアや資格（級位）を証明できる書類を添付して、履修中止期間までに教務課に提出する。認定申請科目の受講については、受講しないことも可とする。なお、単位認定は検定試験結果による。
- ② 単位認定を申請する際、それぞれのレベルごとに定められた上限の単位数に達しない範囲で申請した場合、次学期以降、同一レベルで追加して申請することができる。ただし、単位数の合計がそのレベルの上限を超えない範囲とする。管理は教務課が行う。

6 適用

平成15年度以降に入学した者に適用する。

IV 科目等履修生として修得した大学院工学研究科における単位の認定制度

平成19年度から、工学部学生が科目等履修生として修得した大学院工学研究科の単位に関する認定制度を実施しています。

この制度は、科目等履修生として本研究科の授業科目の履修を許可された本学部の学生が修得した単位を、当該学生が本研究科に入学した場合に限り、大学院における修得単位として認定するものです。

1 履修条件

- ・本学部に在学する4年次生で卒業見込みの者
- ・本研究科の授業科目の履修に相応する学力を有する者
- ・本研究科への進学を志望する者

2 履修科目

科目等履修生が履修できる科目は、当該年度に開講する本研究科が認めた科目とし、履修できる科目数と単位数は、3科目6単位以内です。

3 出願方法等

出願書類、出願期間、選考方法等についてはポータルサイトに掲載しますので、内容を確認の上、希望者は教務課で所定の申込手続きをしてください。

なお、選考料及び学費は免除されます。

令和2年度 クラス担任

1年次生

学 科	ク ラ ス 担 任	
	1 組	2 組
土 木 工 学 科	川 崎 和 基・知 野 泰 明	佐久間 智 央・梅 村 順
建 築 学 科	金 里 美・速 水 清 孝	荒木田 英 禎・野 内 英 治
機 械 工 学 科	森 英 嗣・西 本 哲 也	齊 藤 伸・小 熊 靖 之
電 気 電 子 工 学 科	齊 藤 浩 一・高 梨 宏 之	高 野 秀 路・石 川 瑞 恵
生 命 応 用 化 学 科	植 竹 大 輔・奥 山 克 彦	菅 原 潤・児 玉 大 輔
情 報 工 学 科	乙 藤 隆 史・金 子 正 人	宮 田 公 治・大 山 勝 徳

2年次生以上

学科	学年	クラス	学生番号	クラス担任
土 木 工 学 科	2年	1	311001～311083	○笠 野 英 行
	2年	2	311084～	前 島 拓
	3年	1	301001～301091	○中 野 和 典
	3年	2	301092～	子 田 康 弘
	4年	1	291001～291093	○金 山 進
	4年	2	291094～	手 塚 公 裕
	5年以上			○朝 岡 良 浩
建 築 学 科	2年	1	312001～312113	○山 田 義 文
	2年	2	312114～	山 岸 吉 弘
	3年	1	302001～302109	○齋 藤 俊 克
	3年	2	302110～	日 比 野 巧
	4年	1	292001～292127	○千 葉 正 裕
	4年	2	292128～	堀 川 真 之
	5年以上			○宮 崎 涉
機 械 工 学 科	2年	1	313001～313083	○片 岡 則 之
	2年	2	313084～	田 中 三 郎
	3年	1	303001～303091	○岡 部 宏
	3年	2	303092～	伊 藤 耕 祐
	4年	1	293001～293100	○武 藤 伸 洋
	4年	2	293101～	佐々木 直 栄
	5年以上			○齋 藤 明 徳
電 気 電 子 工 学 科	2年	1	314001～314099	○乾 成 里
	2年	2	314100～	高 橋 竜 太
	3年	1	304001～304087	○千 葉 玲 一
	3年	2	304088～	羽 田 野 剛 司
	4年	1	294001～294091	○鳶 田 聡
	4年	2	294092～	道 山 哲 幸
	5年以上			○西 田 豪
生 命 応 用 化 学 科	2年	1	315001～315054	○岸 努
	2年	2	315055～	小 林 以 弦
	3年	1	305001～305049	○上 野 俊 吉
	3年	2	305050～	平 野 展 孝
	4年	1	295001～295053	○石 原 務
	4年	2	295054～	佐 藤 公 俊
	5年以上			○田 中 裕 之
情 報 工 学 科	2年	1	316001～316098	○岩 井 俊 哉
	2年	2	316099～	田 中 宏 卓
	3年	1	306001～306110	○若 林 裕 之
	3年	2	306111～	和 泉 勇 治
	4年	1	296001～296105	○源 田 浩 一
	4年	2	296106～	関 澤 俊 弦
	5年以上			○宮 村 倫 司

令和2年度 教務日程

月	日	行事内容	
		1年次生	2年次生以上
令和2年	4月1日(水)	工学部入学式 オリエンテーションⅠ	
	4月2日(木)	プレースメントテスト 専門学科オリエンテーション	ガイダンス(2年次生以上) 再履修科目登録ガイダンス(2・3年次生)
	4月3日(金)	総合教育オリエンテーションⅡ 学外研修	ガイダンス(2年次生以上) 再履修科目登録ガイダンス(2・3年次生)
	4月4日(土)	学外研修	ガイダンス(2年次生以上)
	4月6日(月)	健康診断 コンピュータ設定相談	教職課程ガイダンス 臨床工学技士課程ガイダンス
	4月7日(火)	総合教育オリエンテーションⅢ (Web履修登録)	ガイダンス(2年次生)
	4月8日(水)	前学期授業開始 Web履修登録変更開始(4月26日まで)	
	4月29日(水)	昭和の日(水曜授業実施日)	
	5月4日(月)	みどりの日(月曜授業実施日)	
	5月5日(火)	こどもの日(火曜授業実施日)	
	5月6日(水)	振替休日(水曜授業実施日)	
	5月18日(月)～5月24日(日)	前学期履修中止手続期間	
	7月21日(火)	前学期授業終了	
	7月22日(水)	補習・再試験	
	7月23日(木)	夏季休業開始	
	9月16日(水)	夏季休業終了	
	9月17日(木)	後学期ガイダンス 再履修科目登録ガイダンス	
	9月18日(金)	後学期授業開始 Web履修登録変更(後学期)開始(9月30日まで)	
	10月4日(日)	日本大学創立記念日	
	10月9日(金)	9月卒業・修了学位記授与式	
	10月11日(日)	自主創造の基礎2(ワールドカフェ)	
	10月18日(日)	自主創造の基礎2(ワールドカフェ)【予備日】	
	10月19日(月)～10月25日(日)	後学期履修中止手続期間	
	10月30日(金)	振替授業(土曜授業) ※ ただし、午後休講	
	11月1日(土)～11月2日(日)	北桜祭(休講)	
	11月18日(水)	振替授業(金曜授業) ※	
	11月26日(木)	振替授業(月曜授業) ※	
	12月5日(土)	学術研究報告会	
	12月26日(土)	補習	
	12月27日(日)	冬季休業開始	
令和3年	1月11日(月)	冬季休業終了	
	1月12日(火)	授業開始	
	1月15日(金)	休講	
	1月16日(土)	大学入学共通テスト(休講)	
	1月26日(火)	後学期授業終了	
	1月27日(水)～1月29日(金)	補習・再試験期間	
	1月30日(土)	予備日	
	3月11日(木)	令和2年度卒業・修了者発表	
	3月25日(木)	日本大学卒業式	

※ 当日は、振替曜日の時間割で授業を行います。

日程は都合により変更する場合があります。変更等の連絡については、ポータルサイトにその都度掲示します。

